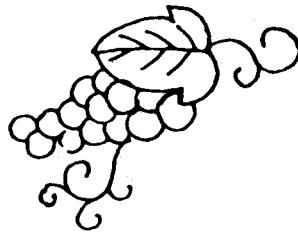


支都ほり



社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部



シンキングデー (H 11. 2. 21) 山梨英和短期大学グリーンバンクホール
シンキングカードの交換、おともだちになりましょう !!
ワーイ、また、あたらしいおともだちふえちゃった。

スカウト運動の特徴は、ほほえみと善行である。今日世界で起こっているいろいろな紛争のたねは、みんなの間に、このほほえみと善行が足りなかつたために起こっている、といってよいであろう。

- B. Pのことば -



看板 さまざま



(シンキングファンド、たくさん入れよう!!)



(みんなでソング)

今年のシンキングデーは風邪引きさんが多かったけれど、311人あつまりました。記念品のポストカードは、お友達に送ってもらえたかしら。みんなでうたったうた楽しかったね。

名刺交換ではたくさん
のお友達作れたしね。



クリスマス会、
サンタクロース
もやってきて、
リーダーサンタ
もおどりだし、
おもしろい。



おなかに力を入れて
ガンバッテ !!
たのしいヨ
やっぱり一番がいい。
(シニア、レンジャーの集いより)



ナイトハイクに参加して



3団川端友子

私はナイトハイクに行くのは初めてで、いったことのある子から話を聞いていたので、だいたいの事はわかっていたけれど、どんなことをするのかな、と思っていました。

歩いた所は勝山村の道の駅からふれあいドームまで20キロメートルでした。途中、暗い道や山道があってこわかったです。それに自分達で地図をみながら、道をみたりしてとても大変でした。チェックポイントでは、木の名前やロープ結びを問題で出されたりして、とても勉強になりました。眠い、寒いの連続でした。が、最後までがんばったことで、チームワークや新しい友達ができるので、とても思い出にのこりました。ボイイスカウトのお母さんたちが作ってくれたトン汁も最高においしかったです。

また、きかいがあったら参加したいです。



恒例のお茶会
ちょっと緊張
するけれど、
先生にほめら
れたりするとすごくうれし
い。あいさつもだんだんじょ
うずになつたって!!
ちょっとにがいけど、日本の
文化を伝えるお茶、私は好き
です。毎年お茶会はすごーく
たのしみ。



(全国ギャザリング) 全国の仲間とワイワイ、ガヤガヤたのしいよ、これがガールの良さです。話し合いもいっぱいいたし、ネパールにも学校建てるため支部内で呼びかけをはじめました。全国の仲間と刺激しあいながら社会の役に立ちたいと思います。



山梨県第1団 甘利未来

全国ギャザリングの3日間は、私にとってとても楽しく貴重な時間でした。分散会という今までにない話し合いの形式ではじめのうちはとまどいもありました。でも議長さんの巧みな話の進め方で私達はそれぞれ自分の考えを発表しL. B. M.を見つけることができました。中間報告会や全体会など大きな話し合いになればなるほどうまくいかなかつたことは残念でしたが分散会はとても良かったです。みんなの活動や考えを聞くことだけでなく議長の話の進め方も私にはとても勉強になりました。

全国ギャザリングに参加して私はとても多くのものを得ることができました。ガールスカウトの仲間とは、学校の友達とは話せないようなことを熱く語ることができます。それを今までより広い全国という輪で行えてとても良かったです。今回見つけたL. B. M.を積み重ねてこれからも楽しくガールスカウト活動を続けていきたいです。



リーダーもがんばってます。
すてきな焼物
できたでしょ?
自慢の器で、
どんなお料理
入れようかな?
(リーダースクラブより)



おいしいケーキを作りました。みてください。おいしそうでしょ? パフェもおいしかったし、みんなで作って、たのしかったよ。





H.O.T. Badge

Heritage, Our Treasure

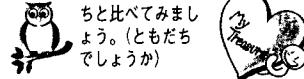
(遺産は私たちのたから)

課題1 自分の住んでいる町(地域)のたからもの(自慢)をしましょう。

Br → ①と⑥
Jr → ①と②と⑤
Sr → ①と⑥と⑦
Rn → ①～⑦すべて

たからもの種類	具体例	選んだ理由
①自然のたからもの	ふじ山 あかふじ	ふじ山はとなりのしづかがんがも見えますが、かしょしがらんっぽかほどきれいで
②文化歴史のたからもの		
③教育のたからもの		
④産業のたからもの		
⑤人のたからもの		
⑥自分のたからもの	①石②ボールペン③はじめてしょうじょうをもらったときのしゃしん	石はきれいな石や大きな石があってとてもおもしろいです。
⑦その他のたからもの		

課題2 これからも大切にしていきたい、あなたの「たからもの」は何ですか? 3つあげて下さい。友だちと比べてみましょう。(ともだちでどうか)



あなたのたからもの	まいさん Aさん	さやか Bさん
①おもちゃ	とけい	オルゴール
②おにぎょう	おもちゃ	にわの花
③オルゴール	おにぎょう	しょうじょう



6団 ブラウニーのとり組み

わたしのたからものはなんでしょう?

「いっぱいあるよ!」「ぬいぐるみ」「ピアノ」「賞状」「おとうさん」「おかあさん」「アルバム」「オルゴール」「お金」... たくさんたからものがありました。お友だちとみせあつたり、どうしてたからものなのか、おしゃいました。

また、自然のたからものも、みつかりました。「富士山」「山中湖」「あかふじ」...

「富士山はとなりの静岡県からも見えますが、富士吉田から見た方が、よほどきれいです」 Br 1年ふみか
「富士山は、日本にしかない山です」 Br 1年のりえ
「朝の富士山に日があたると、すごくきれいです」

Br 2年めぐみ

「富士山は東京ではあまりみえない」 Br 2年なつき

いつも集会をしている3階の大きな窓いっぱいの富士山を、あらためてながめました。ブラウニーと自然のたからものを実感しました。



6団は、ブラウニーからレンジャーまでが、ホットバッジに全員で挑戦しました。すてきな、H.O.T. Badgeノートを作成し部門ごとの課題を書き込み、自分のまわりから、イギリスまで、目に向けるいいきっかけにし、たのしい活動をしたそうです。

UKデーに参加して

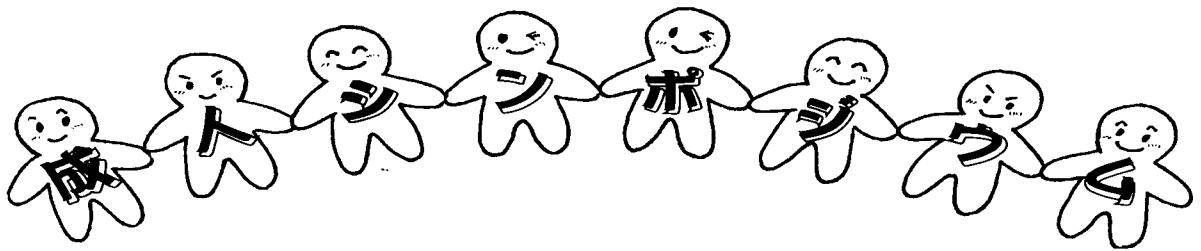
10団 程 原 有華利

1月31日に、UKデーにさんかしました。わたしは、行くまえからとても楽しみでした。なぜならUKデーってなんだろうと思ったことと、東京へ行けるからです。朝お母さんにおべんとうを作ってもらい、リーダーたちと電車にのり東京へゆきました。人がたくさんいて、こんでいました。やっと中にはいれました。中には、イギリスのしゃしんや、こう茶がありました。まずしゃしんを見に行きました。きれいなけしきのしゃしんばかりでした。しゃしんにはコインがついていて、みんなでコインをもらってきました。こう茶はとてもおいしかったです。つぎにイギリスのあそびをしましたが、えい語でわかりずらかったけど、なんとかわかりました。おもしろかったです。イギリスのことがすこしわかつてよかったです。わたしは、えいごをべんきょうして、イギリスへ行ってみたいです。UKデーはとても楽しかったです。



東京オリンピックセンターで、イギリスのこと、たくさん学んだヨ。ミルクティーおいしかったなあ~。

10団は、全部門で取り組み、クリスマス会に発表会をしました。Jr以上はH 11年度に持ち越し、町の宝物さがしを深める予定です。



指導者委員長 古屋文子

より良い話し合いは？より良いチームワークはどのようにして？世界連盟と私達の関りは？などをテーマに甲府市東公民館で第3回成人シンポジウムが開かれました。平成11年2月7日(日)のことです。あいにくインフルエンザが流行って十名以上の欠席者でしたが、参加された方々は、ワークショップを中心に、楽しく充実した一日を過ごされました。参加の保護者の方が、その後で開催された指導者養成講習会を受講されました。喜びと感謝をもって皆様にお知らせ致します。当日の活発な場面をちょっとご紹介します。「楽しい集会」「少女の宝もの」のいずれか一つのテーマで、パトロール毎に自分達の考えを絵に表現しました。展示された他のパトロールの絵に何がこめられているかを想像しました。発表された実際の意図を知り、当たったこと、異なったこと等種々で、驚いたり、叫んだり、うなずいたり、感情の表現も様々でした。参加者全員が話し合い、自分達で考え学ぶことができました。

参加者の感想 「今日一番良かったのは『絵で表現する』という方法を体験できたこと。こういう会は参加すると必ず、得るものがある。」「傾聴を新しく知った。人と話す時傾聴を心がけたい。」シンポジウムの内容のご希望、ご意見をお寄せ下さい。次回は貴女も参加しましょう。



「支部役員研修会に参加して」

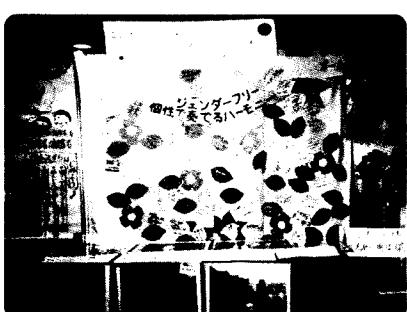
河野可津子

全国から122名の支部役員参加のもと、11月21、22、23日にかけ、オリンピック青少年センターで行われました。支部運営の活性化を目指して行われる3年継続事業の第2回目は昨年を踏まえて、問題意識、参加意識があり、活発な情報交換が出来たように思います。

分科会では、私は「財政の確保」のところに参加しました。その中で安定した財源を確保するためには常に時代を見据えて、長期計画を立て、地道な活動を継続的に努力して行く事が大事であること、又全体会では3年目に向けての方向性をさぐり、支部の大小にかかわらず、独自の取り組む方向性を出して支部に持ち帰りどう反映していくのかが参加者の声としてまとめました。私自身この研修会でガールスカウト運動の意義と、役員としての任務を再確認出来た良い機会がありました。

ジェンダーフリーをめざすスカウティング

男女共生社会に向けて、基本法が制定されようとしています。男も女も人として、個性を生かし、生き生き生活する事が目的です。スカウティングは、その目的そのものであり、エンパワーメントをつける活動そのものです。女性が人として、社会に役立つ資質を育て、自己の頭で考え、自己のことばで発言することの訓練をしているわけですから、その訓練を生かして、私達スカウトは、もっと社会に目を向け、社会の一員として、政治に関心を示し、参画して行きたいものです。そして、まず家庭や団の中からジェンダーフリーを確立しましょう。そんな意味で、女性センターフェスティバルの私達の発表や展示は意味深い内容だったと思います。



女性センターフェスティバル

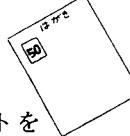
☆☆事務だより☆☆

-支部事業平成11年度予定-

- 5月 5日 子どもまつり(愛宕山こどもの国)
(雨天9日) ~
- 23日 子どもまつり(河口湖)
(雨天決行)
- 15日 第24回定期総会
- 6月 6日 カブラリー(石和清流公園)
- 26、27日 支部ギャザリング
ジュニア6年生のつどい
- 8月 29日 ブラウニーラリー
- 9月 4、5日 南関東指導者研修会
(ハッ岳少年自然の家)



いま、私たちは
「ネパールに学校を建てる」
プロジェクトを続けるため、
あなたの愛と協力を必要としてます



東京、千葉、神奈川のスカウトと連携し、「ネパールに学校を建てる」プロジェクトを促進させてています。

資金を集めため、テレホンカード、書き損じはがきを、回収しています。

興味をもった方は、一報ください。

でんわ 055(233)5823
南関東ギャザリング実行委員 中村 小百合

支部25周年記念事業アンケート報告

記念式典	46	海外派遣	45
記念誌発行	45	海外植樹活動	20
支部キャンプ	48	平和活動	27
部門キャンプ	20	ネパールに学校建設	31
国際キャンプ	44	富士登山	52
南関東地区キャンプ	26	戸隠キャンプ場見学	45
支部ラリー	35	ハケ岳牧場体験	43
部門ラリー	15	発表会	28
G・S・B・S合同ラリー	26	ふれあいスカウト祭	60

会員の皆様に協力いただいたアンケートは152名の方より寄せられました。25周年記念事業準備委員会を発足させ、皆様の声を参考にいい企画をしたいと思います。リーダーの意見では記念誌発行、Sr、Rrは海外派遣、Jrは牧場体験などの希望が多く出されました。それぞれの部門の特長がしっかりとでていましたので、その点も考慮したいと思っています。

ピースパック	92箱(460袋)
ユニセフ募金	¥385,350
シンキングファンド	¥66,914
緑の基金	¥161,000
キャブセンター寄付金	¥802,800

おめでとう

- 1団 40周年 昭和34年7月22日 発団
4団 30周年 昭和44年5月1日 発団
13団 20周年 昭和53年5月9日 発団

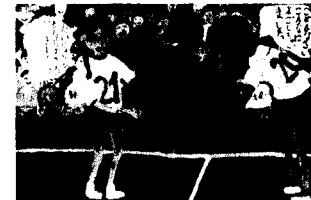
県立学校英語暗唱弁論大会

弁論の部 1位 (将来の夢や日ごろ感じている事を訴える)
1団 Rr2年 新海 さやか

県「家庭の日」

標語の部 優秀賞 「ボランティア 平和な世界へお手伝い」

6団 Sr1年 三浦 满寿実



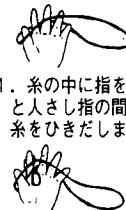
国際交流マンガ大賞

最高賞
自治大臣賞
19団 Br2年
渡辺英里子

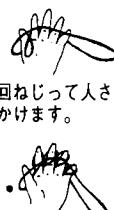
Let's Try

指ぬき

1. 糸の中に指を入れて親指と人さし指の間の向う側の糸をひきだします。

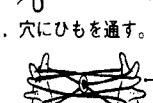


2. 1回ねじって人さし指にかけます。



3. 人さし指と中指の間の糸をぬき出し、1回ねじって中指にかけます。同様にして小指まで順にかけます。

1. 穴にひもを通す。



4. ●の親指の糸をはずし、▲のところをひっばると糸は指からぬけてしまします。

ぜにぬき

1. 穴にひもを通す。
2. ●を中指でとりあう。
3. パンとたたいて→のゆびのほかをいっぺんにはなす。
4. 硬貨はぬけおちます。

編集後記

桜の花びらが、春風に踊って野外での集会に最適な季節になりました。各団とも入門コースにと忙しい事と思います。今年度は、ガールスカウト活動紹介のパネル15枚、ピースパック紹介パネル8枚を作成しました。どうぞご利用下さい。

支部だより41号への寄稿下さった方々に感謝致します。

広報委員会

支部祭り



社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部



H.11.8.29 ブラウニーラリー

ガールスカウトは、苦しいときにブツブツいったり、お互に泣き
ごとをいったりせず、不愉快なことがあっても顔に出さない。

—— B.Pのことば ——

B.Pとは創始者ベーデン・ポウエルの頭文字の略

平成11、12年度 支部役員

再任にあたり

『21世紀の扉の鍵を握るあなたへ』 支部長 星野豊子

皆様のご信任に感謝いたしますとともに今後もなお一層のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年度も前年度に引き続き、時代の変化に適応した教育活動を推進し「世界市民の育成」を図り「平和・環境・心の教育」を内外にむかって具体的に推進することを重点目標とし、よりよい支部運営をめざしてまいります。

1999年いよいよ21世紀の扉を開く年。また日本連盟においては「やくそくとおきて」をはじめ大きな教育改革が行われる年。その上2000年は日本連盟80周年、支部25周年と歴史の上でも大きな節目を迎えます。支部25周年にむけての記念事業も実行委員会で計画中でございます。スカウトをはじめ全会員の皆様の参加により成功させていただきたいと思います。

このように、意義ある年に支部運営に携わる誇りと責任を持って支部一層の前進のため、役員一同心をこめて努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

■支部役員紹介■

・支 部 長	星野豊子	・教育活動委員長	山田幸子
・副 支 部 長	古屋知子 山本千代子	・指導者委員長	佐藤秀子
・書 記	平井始子 天野十九代	・組織委員長	名取あき子
・会 計	河野可津子 小池すみ子	・財務委員長	和田京子
・監 事	保坂春子 神宮司昭子	・広報委員長	渡辺とし江
		・庶務委員長	武川恵子

平成11年度
支部アピール文

“むすぼう友情 地域から世界へ”

各団アピール文

- 1回 ふやそう友達 楽しいガールスカウト
- 2回 宝物を探そう
- 3回 広げよう スカウトの輪!リーダーの輪!(ほしいお母さんリーダー)
- 4回 「ガールスカウトで でっかい挑戦!」
- 5回 地域に仲間を増やそう
- 6回 「輝いてボランティア つくろう心のたからもの」
- 9回 楽しいプログラムで増やそうスカウト
- 10回 エンパワーメントで活動全開スカウト旋風巻き起こそう
- 12回 明るく楽しく元気にチャレンジ!
- 13回 「自指そう素敵なスカウティング そして増やそうスカウトを!」
- 15回 あつめよう「アルミ缶」ふやそう「幸せの贈り物(ピースパック)」
- 17回 語ろう 歩こう 広がる夢をおいかけて
- 18回 育てよう思いやりの心を
- 19回 明るく楽しくみんなで一步

ようこそ!! ブラウニーアイランドへ

ブラウニーラリー
(H.11.8.29 富士吉田パインズパーク)

「いいもの みい~つけた!」



しゅわのうたが
たのしかった。

1年 けいこ



きつねの
しっぽとりが
たのしかった。

3年 ゆうこ

星野リーダーがまじょに
なって三りん車にのって、
さかからおりてきて、す
ごくおもしろかったです。

3年 なつき

『南関東ギャザリングに参加して』 2団 Rr 森川佳央里

今回で4回目の参加となった、南関東ギャザリングでしたが、昨年に比べて全体会での話し合いのテーマがつかみにくく、あまり良くなかったという感想をもちました。それぞれの分科会ではとても良い話し合いがもてたと思いますが、全体会では戸隠キャンプセンターの板に刻む言葉を決めただけで終わってしまい具体的に分科会での話し合いを基に意見交換や討論出来なくて残念でした。

また、今回は千葉県鴨川という非常に遠い場所だった為、約20人ほどのスカウトで電車で移動するのはかなり大変な事だったと思います。リーダーや、周囲の人々に迷惑をかけない為にも、もっととべきばき行動する事の重要さを実感しました。

プログラムでは、まさかキャンプファイヤーをやるとは思っていなかった為本当に驚きました。他県のレンジャーから様々なハンドゲーム教えてもらえて、とても楽しかったです。山梨のスカウトは非常に盛り上がり、こんなに楽しかったキャンプファイヤーは初めてでした。

今回のギャザリングで学んだ事、考えた事を他のスカウトに伝えて、ガールスカウトの活動だけに留まらず多くの場面で役立てていきたいと思います。



南関東地区ギャザリング
In
千葉
(H.11.8.20~8.22)

南関東一 美人三姉妹?!



626ヤング街頭 キャンペーン

H.11.6.26

河口湖ショッピングセンター
ベルにて

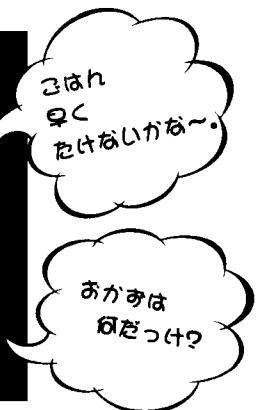


〈カブラリー〉

H.11.6.6

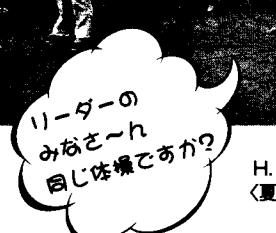
石和町清流公園

ただいま
キャンプ中



H.11.9.11

〈いきいき山梨ねんりんピック'99〉



ユニセフ募金
活動中

わっ
かわいい!

ありがとうございます。



トルコ大地震
支援募金
活動中

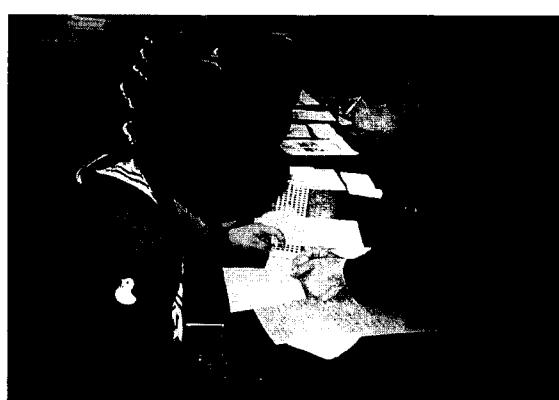
ありがとうございます。
ございました。

元気に活動中!

みさん東側に
カメラ目線です。
1日がんばりました。



.8.5
巡回ラジオ体操会



おのの機器中
早く文書が
作れるようにな
がんばります。

翼にのせて

(海外派遣だより)

創始者の足跡

〈H.11.7.29~8.14 イギリス パックスロッジ〉 〈H.11.8.10~8.23 スイス アワシャレー〉



■4団レンジャー 守屋美由紀■

私は今年の夏、7月29日から8月14日までの17日間、「創始者の足跡」というセッションに参加するため、イギリスにあるパックスロッジへ行ってきました。参加者は、日本、ニュージーランド、パックスロッジのスタッフという小人数であり、大規模なキャンプを想像していた私は、初め驚いてしまったけれど、小規模だったからこそ全員と親しくなり、中身の濃い、人の暖かさが伝わってくるキャンプになったと思います。そして、楽しむということは与えられるのを待っているのではなく、自分で作り上げるものだということを実感しました。このセッションでは、歴史的な場所でキャンプを行い、たくさんの貴重な体験ができ、様々な事を学びました。

そして私たちは、日本連盟の会員であると同時に、世界連盟の会員であるということを強く実感することができました。

セッション9

〈H.11.8.10~8.23 スイス アワシャレー〉



■10団レンジャー 小俣智慧■

私は8月10日から8月23日まで、スイスに行ってきました。始めの約1週間は、みんなで自由企画の観光をしました。スイスは日本とは違って都市でも多くの自然があり、ベルンで見た街の風景は「魔女の宅急便」に出てくるような感じで、とてもきれいでした。15日からアワシャレーでセッション9が始まりました。一緒に参加したのはアメリカのスカウトとイギリスのガイドでした。両国とも英語圏ですからセッション中も英語なので仲間に入れるのかすごく心配していました。けれど、スカウトやガイドが声をかけてくれたり、スタッフの方々もゆっくりと分かりやすく話してくれました。もっと英語が話せれば、たくさんのが話せたと思いました。でもゲームをしたり、ハイキングをしたり、食事を一緒にとったりしているうちに言葉が無くても通じ合えるようになりました。今回このセッションに参加して、良い経験ができ、多くの事を学ぶことができて良かったです。

届け！平和の願い

日本からアフガン難民の子供たちへ

6団リーダー 渡辺千津子



私達派遣団7名は4月5日から17日までパキスタンを訪れました。日本は春なのに、パキスタンでは毎日30度以上。中でも難民キャンプは砂漠の街にありました。木もほとんど無く景色は土の色ばかり。難民の人達の家も学校も土で出来ています。

学校によって少し違いますが、教室は暗く机や椅子も粗末なもので。唯一子供達は嬉しくて輝いているように見えました。一つの学校の配付が終わると次々移動して大勢の人達に手渡してきたのですが、その帰り道、最初の学校でピースパックをもらった男の子達がなわとびをしながら私達の車を待っていました。暑い中、何時間後に通るか分からぬ私達の車が来るまで彼らはお礼の気持ちを表したくて、そこに居たのです。直接言葉を交わさなくとも充分に伝わった彼らの喜びそれをピースパックを作ったすべての人達に伝えることが、私達派遣団の仕事です。難民の子供達にとって生涯に一度のプレゼントになるかもしれないピースパック。作っている皆の気持ちは、しっかり伝わっているんですよ。そしてまだまだたくさんもらえるのを楽しみに待っている人達がいることを忘れないでほしいと思います。

今回の派遣で私は“世界市民”としての自覚をさらに強く持ちました。そしてお世話をなったすべての方々にお礼が言いたいと思います。

『南関東地区指導者研修会に参加して』

10団 佐藤ひとみ

9月4日、5日の二日間「心を育むスカウティングを目指して」をテーマに南関東地区指導者研修会が八ヶ岳少年自然の家で開催され、多くの先輩リーダー達と共に参加させて頂きました。

全体研修会では、末先生の講演、山梨の言葉の文化と「小川正子の生涯」の講談を聞き、言葉を語る楽しさを教えて頂きました。又オマタツロウ氏の「森のコンサート」では、野外の演奏とはなりませんでしたが、タツロウ氏の口元から流れる美しい音色が、初秋を感じさせる八ヶ岳の峰々や、高原の中に響き渡っていく様で自然との共生を感じずにはいられませんでした。

色々な研修会の中、夜遅くまで、難民に送る「ピースパック」の意義や重要性についてパトロールで語り合いスカウトや父母達に伝えていくことの大切さを、再認識させて頂くことが出来ました。

研修会を通して、勉強していくことの大切さを教えて頂いた二日間でした。



選択研修A フィールドワークより



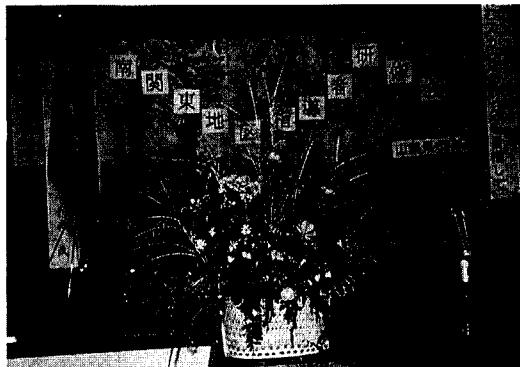
選択研修B 萌木の村にて

南関東地区 指導者研修会

心を育む
スカウティングを目指して

期日 平成11年9月4日～5日

場所 山梨県八ヶ岳少年自然の家



選択研修C 金田一春彦ことばの資料館にて

9月4日(土)

・開会式

・全体研修A

講演 語る楽しさ

「文学講談 小川正子の生涯」

小川正子記念館館長

末利光氏

・全体研修B

「森のコンサート」

笛奏者 オマタツロウ氏

・ワークショップ

9月5日(日)

・選択研修

A. フィールドワーク

B. 萌木の村散策

C. 金田一春彦ことばの資料館見学

・閉会式

☆☆☆委員会だより☆☆☆

■教育活動委員会より

「Sr.Rrの集い
Jrパトロールリーダートレーニング」
平成12年1月15日～16日
愛宕山少年自然の家

■庶務委員会より

- ◎「知事と明日を語る青年のつどい」
平成12年2月5日(土)
開催予定です。奮ってご参加ください。
- ◎需品半袖ポロシャツのサイズ150、多数の在庫があり取り扱い中です。活動しやすいポロシャツ、いかがですか。

■事務局よりお知らせ

「事務局の開館日が変わりました」
毎週水・金曜日 PM1:30～4:00
に開館しています。利用してください♡

インターネットにアクセスしてみよう!!

ガールスカウト日本連盟公式ホームページが
5月22日より公開されています。建築中の戸
隠キャンプセンターの様子や、クラフト紹介、
クッキング等いろいろな情報が盛り沢山!

<http://www.girlscout.or.jp> です。
みんなインターネットにアクセスしてみよう!!

H.11.10現在
世界連盟加盟国 140ヶ国
世界連盟会員数
およそ10,000,000人
日本連盟会員数 71,630人
山梨県支部会員数 822人

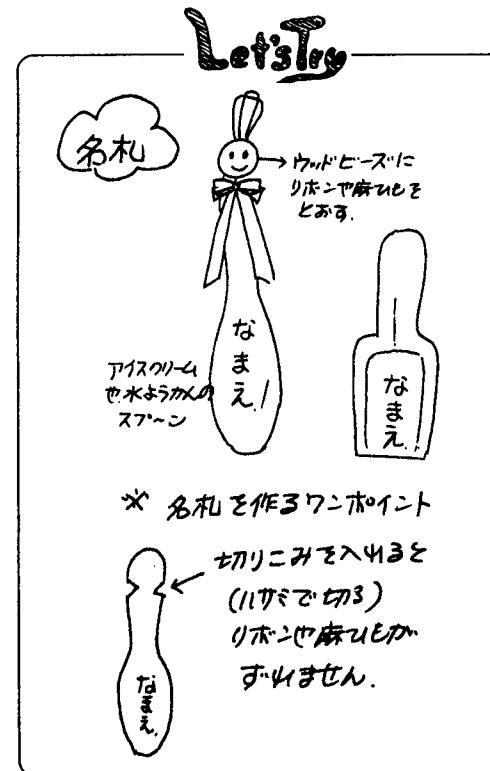
2000年は支部25周年

おめでとう

平成10年度
日本連盟表彰受賞者

《功労賞》

菊章 山田 幸子 第1団
梅章 嘉村 茂子 第10団
梅章 大塚 郁子 第13団



編 集 後 記

さまざまな活動の取材をしましたが、生き生きとしたみなさんの様子を紙面でお伝えするのはなかなかむずかしく、力不足、勉強不足を痛切に感じています。
ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

渡 辺

支那祭り



社団法人 ガールスカウト日本連盟山梨県支部



ジュニアパトロールリーダートレーニング(人間智恵の輪ゲーム)

友情はブーメランのようなもの、あなたが友情を次々と多くの人に与えれば、それは必ずあなたの所へ帰ってくる。

—— B.P のことば ——

B.Pとは創始者ベーデン・ポウエルの頭文字の略

新「やくそくとおきて」 〈全文〉

やくそく

(プラウニー、ジュニア、シニア、レンジャー、成人会員)

私は

神(仏)に対するつとめを行い
地域と国と世界への責任を果たし
人に役立つことを心がけ
ガールスカウトのおきてを守ります。

おきて

(ジュニア、シニア、レンジャー、成人会員)

1. 私はいつも明るく、勇気をもちます。
2. 私はいのちあるものを大切にします。
3. 私はすべての人の友達となり、他のガールスカウトとは姉妹です。
4. 私は礼儀を正しくします。
5. 私は時間と資源を大切に使います。
6. 私は自分で考え行動します。
7. 私は言葉と行動に責任をもちます。
8. 私は誠実であるように努めます。

おきて

(プラウニー)

1. 私はいつも明るく、勇気をもちます。
2. 私はいのちあるものを大切にします。
3. 私はすべての人の友達となり、他のガールスカウトとは姉妹です。



※平成12年4月1日より施行

※プラウニーもサイン(礼)は3指

「21世紀を創るガールスカウト運動」への移行

◆今後のとりくみ◆

1999年10月15日 新「やくそくとおきて」決定(臨時総会にて)

2000年 2月27日 「21世紀を創るガールスカウト運動」新プログラム(概要発表)

4月～ 新「やくそくとおきて」施行

4月～ 「試行用新教材」配布

4月30日 「試行用教材」説明会(各支部より代表トレーナー1人出席)

5月～ 地区、支部にて「試行用新教材」説明会の開催(予定)

6月5日 試行希望締め切り→2001年3月実施報告

2001年 1月 新「指導者養成講習資料」の頒布開始(予定)

4月～ テンダーフット部門設置、新プログラムへの移行

「リーダーの友」No.209、「スカウトグラフ」No.64にて新「やくそくとおきて」を取り上げています。

2000年 シニア・レンジャーの集い、ジュニアパトロールリーダートレーニング開催

期 日 平成12年1月15日(土)～16日(日) 1泊2日

場 所 山梨県立愛宕山少年自然の家

参加者 ジュニア5年生 58名 リーダー 12名

シニア 29名 スタッフ 9名

レンジャー 8名 計 116名



ジュニア 道しるべ出発前



シニア、レンジャー 南関東ギャザリング参加報告



1989年(平成元年)8月に当地で開催された
ジュニアラリーの際に埋めたタイムカプセル
が掘り起こされ、開封されました。



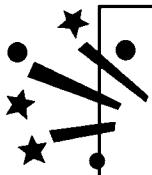
タイムカプセル開封
各団の代表に渡されました。お姉さんたちに届けて
下さいね。



タイムカプセル開封
「キャッ、佐藤リーダー ワカイ！」



「友情の輪」
みんな、ありがとう。また会おうね。



山梨県支部25周年記念事業



テーマ『輝いて25! とびだせ一歩』



「今日から明日へ、小さな手でつくる自然環境」

～地球にいいことみんなでしよう～

- ・魔法の植物ケナフを育てる
- ・どんぐりの苗木を育てる



記念支部キャンプ

テーマ「富士のふもとで 夢にチャレンジ」

～自然がいっぱい・楽しさいっぱい～

舍宮 平成12年8月3日(木)～5日(土) 2泊3日

野宮 平成12年8月3日(木)～6日(日) 3泊4日

場所 山中湖村村営山中湖キャンプ場



山梨県・四川省友好植樹事業派遣

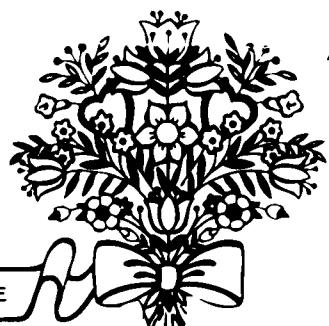
平成12年8月26日(土)～31日(木) 予定

スカウト5名派遣



記念誌発行

平成12年11月発行予定



記念感謝のつどい

平成13年2月予定

2000年は支部25周年



ネパールに「SAMEガールスカウト山梨スクール」建設支援

- ・使い終ったテレホンカード集め
- ・書き損じはがき集め
- ・その他募金活動

25周年記念ロゴ大賞決定！

ガールスカウト山梨県支部25周年記念ロゴに各団から69点が寄せられました。ご応募ありがとうございました。

どの作品にも応募された方の願いが込められて楽しい作品ばかりでした。
支部役員会・実行委員会にてBr部門、Jr部門、Sr・Rr・成人部門の
3部門に分けて投票が行われ各3点を入選とし、更にその中から2点を
大賞とし、次の方々の作品が選ばれました。

〈入選作品〉



6団シニア 渡辺 知勢



6団ブラウニー 壁谷 瑞穂



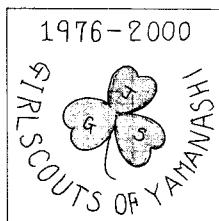
4団ブラウニー 坂本 奥紀



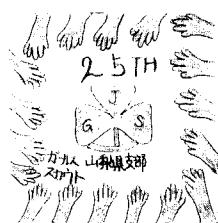
6団ブラウニー 中村 文香



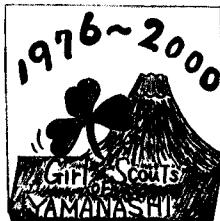
1団ジュニア 倉鹿野 萌子



17団ジュニア 小池 礼恵



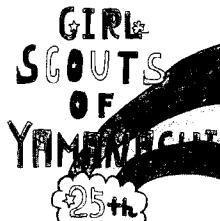
17団ジュニア 山田 秀香



3団シニア 小林 亜矢

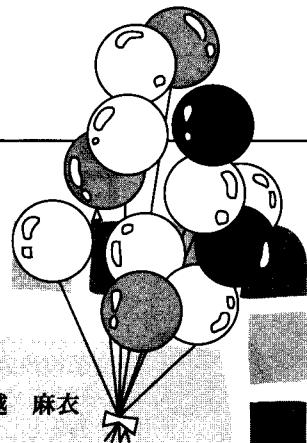


1団シニア 三枝 紗里



全国中学生人権作文コンテスト

山梨県大会奨励賞受賞



『差別のない社会』

御坂町立御坂中学校1年 竹越 麻衣

私は、小学校1年生のときからガールスカウトに入っています。そこでは、学校で学べないようないろんな体験をしてきました。

例えば、ユニセフ募金をして街頭で大きな声を出してお願いをしたり、老人ホームを訪問して、おじいちゃんやおばあちゃんのお世話をしたり、外国人の人たちと交流して、ホームステイをさせてもらったり、どれも貴重な体験だったと思います。その中で一番心の中に残っているのは、障害者との交流でした。私たちは毎日の生活の中で目が見えたり、耳が聞こえたりするのは、あたりまえだと思っています。だからそういう人たちの気持ちが全くわからないで今まで生きてきました。しかし、目かくしをして白いつえを使って、歩いてみたり、階段の、上り降りをしてみたら、とても怖くて2、3段のぼるのが、せいいっぱいでした。車いすを使って前に進もうとしたときも、ふだん何気なくのぼっている、ゆるやかな坂道もかなり力を入れないと前に進むことができませんでした。私はそのとき、

「なんて大変なんだろう。」と、つくづく感じてしまいました。今まで車いすの人や目の見えない人を見ても、しらんぶりしていた自分がはずかしくなってしました。

家に帰ってその日の出来事をお母さんに話したら、お母さんが、

「障害者だって同じ人間だよ。みんなよりちょっとだけ話しがおそかったり、歩き方がゆっくりだったりするけど、考えていることや感じることは同じだよ。だから特別の目でみちゃだめだよ。」と、お母さんはなんだか反省したようにいいました。実は昔、お母さんが買い物に行ったときに車いすの人が、お店においてあるパンフレットをとろうとしていたけれど、手が不自由でなかなかそれなかったのを見てて、とってやろうかどうしようかすごく迷って結局、通りすぎてしまったと言っていました。そのあとお母さんは、

「なんで手伝ってあげなかつたんだろう。」と、ずっと後悔していたそうです。

私たちは無意識のうちに障害者を、かわいそうだと思いこみ、特別扱いし、差別しているのではないかでしょうか。実際私も以前は、

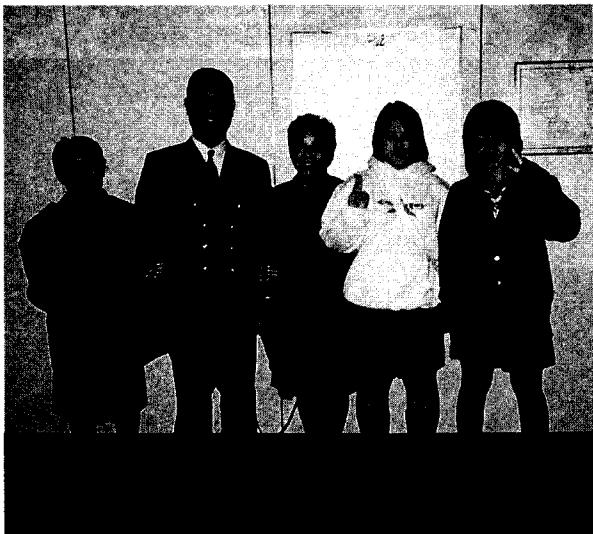
「話しかけられたらどうしよう。」という気持ちがありました。でも本当は、私たち以上にとても明るくて素直な心を持った人たちです。にっこり笑いかけると必ず相手も笑いかけてくれます。そういうときは、心がつうじあっているんだなと思いとてもうれしい気持ちになります。

これから生活していくなかで、どんなときでも勇気を出して、助け合ったり協力していきたいです。そして私と同じ気持ちの人がひとりでもふえていくことを願っています。



上記は13回シニアの竹越麻衣さんがスカウト活動の経験をもとに書き、みごとに入選した作文です。初めて読んだ時に、何だか、とてもうれしくなりました。胸の中が熱くなりました。これからスカウトやリーダーの活動の参考になればと思い掲載しました。

『かながわ・スカウトの船』に参加して 10団 シニア 平井 まどか



私は3月24日から27日間の4日間、神奈川県支部結成45周年記念「かながわ・スカウトの船」に参加しました。大きな船には乗った事があるので、船酔いの心配はまったくしませんでした。それよりも、友達をたくさん作って、4日間を楽しく過ごすことばかり考えていました。

絶対に船酔いはないと思っていたのですが、船がだんだん太平洋に出るにつれて、横、縦と揺れがものすごくなりました。その中で式典が始まりましたが、スカウト・リーダー合わせて3分の2の人達が気分が悪く参加できませんでした。私も、

がまんをして出ましたが、これから、3日間どうなるんだろうと、それしか、思いませんでした。

2日目は、波もおさまり、みんな元気になり、高知県の土佐清水港に入港し、四万十川や足摺周辺の観光をしました。四万十川では小さな船に乗って上流に行き、鮎の取り方を見ました。

3日目は那智大社や橋杭岩を観光したり、三重県支部との交流会もありました。交流会では、船中をゲームをしながら回り、とても、楽しかったです。

今回、この船に参加して、たくさんの友達を作ることができました。これからも連絡をとり、ずっと仲良くしていきたいと思いました。

歴史と文化をチョッピリ知ろう!

国中地区リーダースクラブ

【日】平成12年2月27日

【場所】増穂町商工会

あおやぎ宿活性館
(増穂町青柳222-1)

銀細工粘土のアクセサリーを作りました。
粘土が焼き上がるのを待つ間に増穂の登
り窯を見学。思い出の逸品? 一品? が
完成しました。



☆☆☆委員会だより☆☆☆

■財務委員会

平成11年度バザー売上報告
(H12.3.19、リバース和戸)

総売上げ 416,045円

内訳 遊休品 210,565円

ビール券 139,360円

その他の券 66,120円

ご協力ありがとうございました。



■広報委員会

ウォンテッド!! 捜しています。

過去に発行された支部便りのNo.13~18、
21~27、34号をさがしています。お持ちの方
は事務局まで、お知らせ下さい。



ふくろう通信

平成11年度

緑の基金	200,000円
ピースパック	90箱(450箱) くつ 3箱 ボール 1箱
国際友愛基金	94,329円
ユニセフ基金	413,324円

法人 ガールスカウト日本連盟山梨県支部

〒400-0811

山梨県甲府市川田町506 山梨県立青少年会館内

TEL.055-228-2019 FAX.055-228-6637

●毎週水・金曜日 PM.1:30~PM.4:00●

おめでとう

2団発団35周年

(昭和39年6月発団)

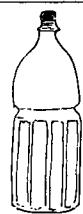


〈H.11.12.9 記念式典よりキャンドルサービス〉

Let's Try

見つけてみよう! リサイクルしよう!

プラスチック材質識別マーク (SPIコード (世界共通))

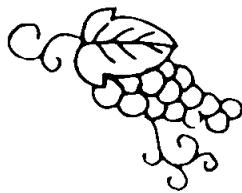
判別マーク	1 PET	2 HDPE	3 PVC	4 LDPE
素材名	ポリエチレン テレフタレート	高密度 ポリエチレン	ポリ 塩化ビニル	低密度 ポリエチレン
判別マーク	5 PP	6 PS	7 OTHER	
素材名	ポリプロピレン	ポリスチレン	1~6以外の プラスチックおよ び複合素材	

●卵パック、トレー、プリンカップ、フィルムケース
密閉容器など、さがしてみよう!

編 集 後 記

なにか、心のウキウキする様な、
ついつい鼻歌の出る様な、過ごし
やすい季節となりました。支部便
りに掲載したい事がありましたら、
どんどん連絡を下さい。(取材に出
かけたいのです)お待ちしています。

渡辺



支部祭り

社団法人 ガールスカウト日本連盟

山梨県支部

〒400-0811

山梨県甲府市川田町506

山梨県立青少年会館内

TEL.055-228-2019

FAX.055-228-6637

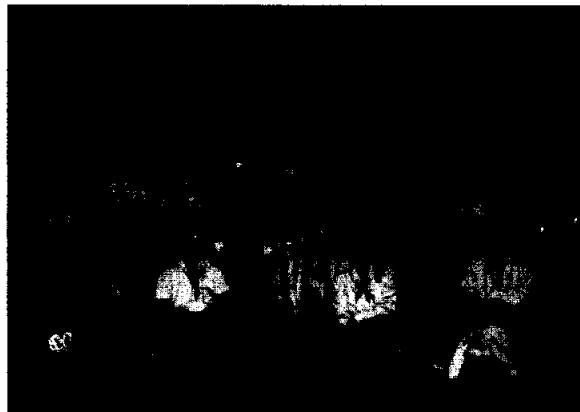
25周年記念事業特集号

『輝いて25!とびだせ一歩』

支部キャンプ25

2000年8月3日～8月6日

中山湖村営キャンプ場



開会式(2000.8.3)
オマタ・タツロウさんを囲んで

参加者 スカウト 267名
リーダー 73名



富士山6合目より御来光、中山湖を臨む



選択チャレンジ
「おらが富士、頂上お山のぼり」
(2000.8.4～8.5)

私の目前にある山は、「もっと広く見よ、もっと高く見よ、もっと遠くを見よ、そうすれば道が見いだせる」と、私に告げている。

—— B.Pのことば ——

B.Pとは創始者ベーデン・ポウエルの頭文字の略

“宇宙船地球号”新しい夢をのせて21世紀へ

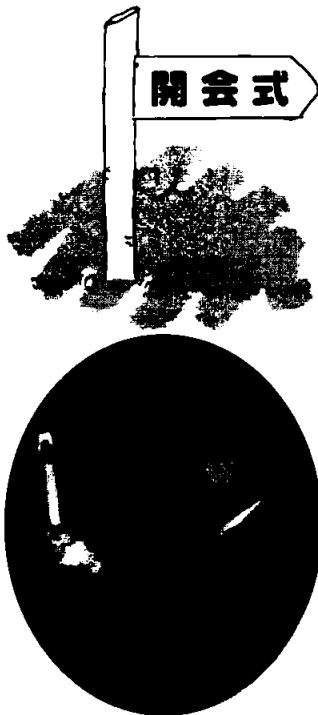
支部25周年記念キャンプを終えて

大会長 霧野豊子

みんなの手で創りあげた「支部キャンプ25」大きな感動を胸に無事終了することができました。山中の森に澄んだ笛の音が響き渡り揺らぐロウソクの灯に照らされ入場した団旗の行進そして“25”的火文字と幻想的であった開会式は、皆さんの中に残ったことと思います。おいしかったスカウト祭りの屋台やさん。楽しかった夜の自主プロ。ポイントめぐりに汗を流したワイドゲーム。みんなのサインで飾った夢ドームの完成。無事富士山お山登りもできた選択プロ。みんなスカウトの笑顔と共に思い出されます。特に総勢350名の参加者全員でチャレンジした7つの選択プログラムからは、一人ひとり新しい発見と自信を得、夢実現へ力強い一步がふみ出せたことと思います。スカウトの皆さんに心からエールを送ります。

終りになりましたがこのキャンプを成功に導いて下さいました団委員長様始めリーダーの皆様、ご支援を頂きました箭本姉、鷹野姉そしてご来賓の方々、努力を惜しまずご協力下さいました実行委員の皆様全ての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

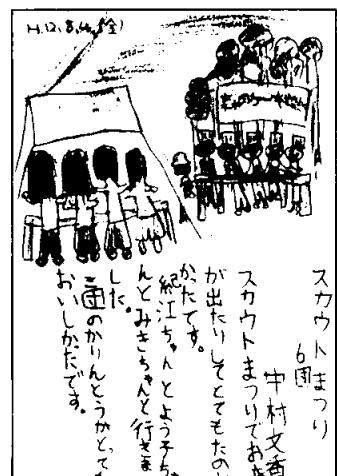
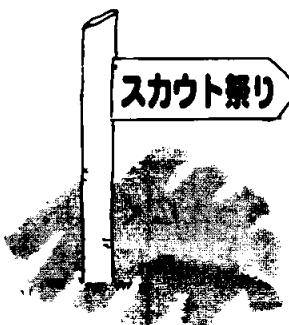
開会式



B-P御夫妻による点火

私は、開会式ではじめて旗手という大事な仕事をまかせられました。団旗を持つと緊張したけど、ちゃんと最後までやりとげることができたので良かったです。

18団 細川佳里



6団 中村文香



きのう、わたしはじやんけんをして3回かちました。そして、ふうせんをもらいました。
ブラウニー

◀「森のケーキ屋」さん
ただいま開店!

おいしい、おいしい
吉田のうどん屋
「こんこん亭」にきてね。

◀「ジャンケンポン!!」



メイポールダンス、12人の気持ちが
ひとつになりました。



①溶岩洞穴探検隊



○ フィールドセンターでねずみをつくりました。
さいしょにねずみのかおを、こがたなで木をきつ
てつくりました。
そして、しっぽをつけてみてみみをつけました。
とても、かわいくできました。

15回 すずきさゆり

②樹海を歩き自然観察をしよう



③♪オーフィールドセンターはみどり



選抜子ヤ L

2000.8.4~8.5

④私は夢鳥人



2回 望月みさと



①河口湖フィールドセンター

②西湖野鳥の森公園

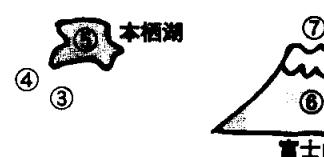
③朝霧高原ミルクランド

④朝霧高原

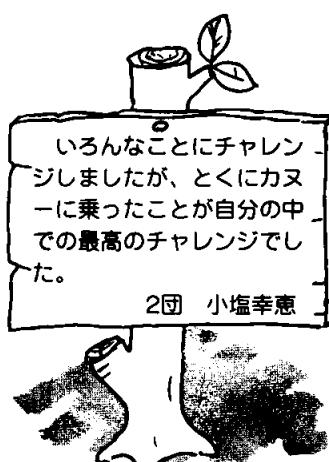
⑤本栖湖

⑥富士山五合目

⑦富士山頂上



⑤のんびり水上ピクニッ



2回 小塩幸恵



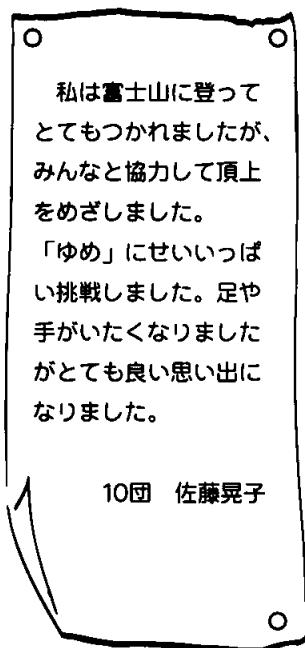
⑥五合目お山のぼり



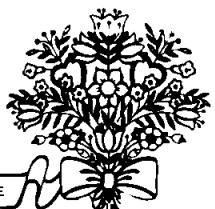
⑦頂上お山のぼり



⑥⑦浅間神社にて安全祈願



2000年は支部25周年



25周年記念キャンプを終えて

野営ディレクター 深沢武子

25周年記念キャンプは、限られた日程の中でいかに楽しく、有意義に、そして安全に運営するか…を目的にキャンプの日を迎えるました。演習のすさまじい騒音の中での開会式、一富士のふもとで夢にチャレンジ、25周年のテーマ「輝いて25! とびだせ一歩」と高くかがけた。キャンドルが山の斜面に並んだ時は、とても感激でした。3泊4日の生活の中で最も印象に残った事は、ヤングリーダー5名(チョッキ隊)の生きいきした活動です。腰にポシェット、左手にバインダー、右手にペンシル、携帯電話、片時もはなさず走る走る…。地区長の役割を無事に終了「あーやかった」と何もかも忘れて安堵と自分たちの責任を果たせたことの喜びを胸に私の感想を述べさせていただきました。

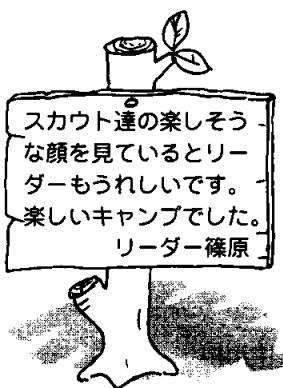
完成!! 夢ドーム



クラフトに挑戦(うまくできるかな)

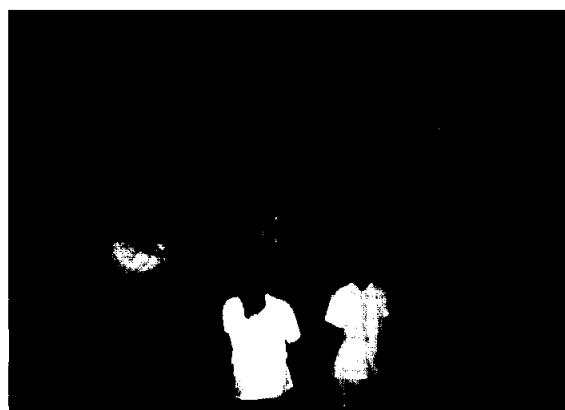
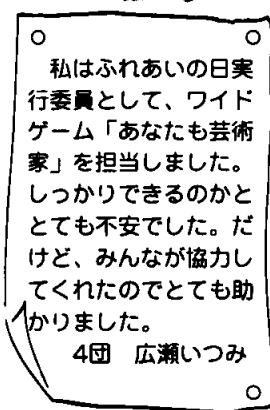
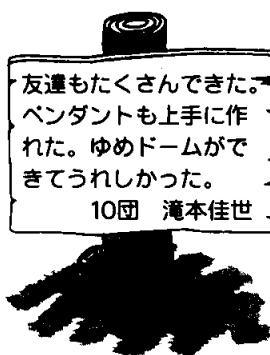


ワイドゲーム(ふれあいの日実行委員会)



友情の輪(又、会おうね!!)

来て！見て！やって！み寄りみ／ 自主プログラム



今回のキャンプで私はいろいろな事を学びました。大きな事では協力してやりとげた時、みんなで楽しく笑えた時に学ぶことができました。小さな事でも1人の人として自分から進んで行動することができ、とても良かったと思いました。カヌー初体験も楽しかった。楽しいことがいっぱいシニアとして満足でした。

1団 吉川智佳子

支部25周年記念キャンプを終えて

舎管ディレクター 和田京子

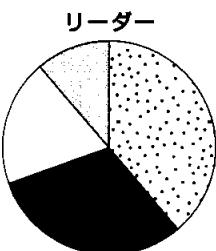
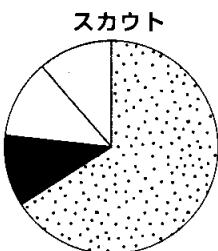
3日間の舎管が天候に恵まれたこと、神様に感謝したい。こればかりは努力次第で報われると言うものではないので。11か団、およそ100人のブラウニーがみんな楽しく仲良く生活できたこと、リーダーに感謝したい。最も混雑する夏のシーズン、野営と同じ場所ということで広い舎管場の確保が困難だった〈住めば都?〉。スカウト活動はいつも横並び、同じ環境では真価が発揮できない。年齢、生活環境、考え方、それぞれ違って当然。で思いやりをもって相互理解。キャンプ中に書いてもらったスカウトの絵日記、見て読んでうれしかった。日々の糧を用意くださった皆様はじめ、たくさんの出会いに感謝。

支部キャンプアンケート結果 (回答率78%)

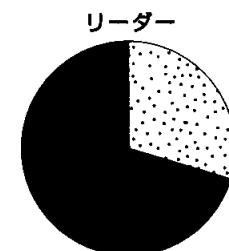
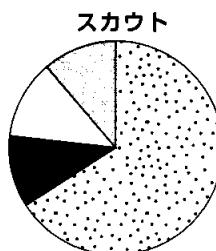
大変よかったです まあまあだった ふつう

あまりよくなかった よくなかった

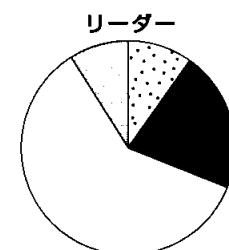
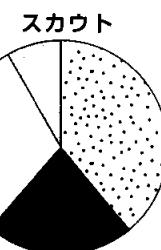
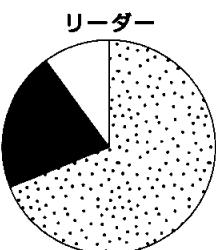
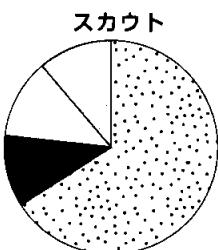
開会式



スカウト祭り

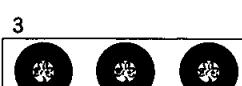


選択チャレンジ



☆☆☆委員会だより☆☆☆

■財務委員会



各100円

～ごほうび、おみやげ等にいかがですか。～

社団 法人 ガールスカウト日本連盟山梨県支部

〒400-0811
山梨県甲府市川田町506 山梨県立青少年会館内
TEL.055-228-2019 FAX.055-228-6637

●毎週 水・金曜日 PM.1:30~4:00●

■25周年記念事業実行委員会

感謝のつどい開催

日時: 平成13年2月18日(日)

場所: 英和短期大学

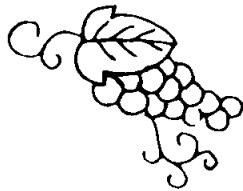
グリンバンクホール

詳細は追ってお知らせします。

編 集 後 記

20世紀の最後に支部便りを出すという事は、私にとって記念すべき、忘れられない出来事の一つとなりました。皆様も、来る21世紀に向けて、新たな目標等をお考えの事と思います。ご意見、ご感想等と合わせてお寄せ下さい。

渡 辺



支都祭り

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

〒400-0811

山梨県甲府市川田町506

山梨県立青少年会館内

TEL.055-228-2019

FAX.055-228-6637

E-mail: gs-ymnsl@eps1.comlink.ne.jp

25周年記念事業特集号

『輝いて25!とびだせ一歩』



感謝のつどい(2001.2.18)

「やりとおす」というのはスカウトの最も重要なモットーの一つである。

—— B.Pのことば ——

B.Pとは創始者ベーテン・ポウエルの頭文字の略



25周年記念事業を終えて

「21世紀へ 夢に翔ぶ」

・・・・・・・・・・・・・・・・ 支部長 星野豊子

世紀を超えて歴史的にも大きな節目であった平成12年度は、支部にとっても25周年という記念すべき祝賀の年でもありました。

昭和51年2月15日ガールスカウト山梨県支部が誕生し、以来四半世紀歴代支部長様はじめ諸先輩の方々の献身的な努力の中に今日の支部があることに心より感謝申し上げます。

25周年記念事業はテーマ「輝いて25! とびだせ一歩」のもと4月ケナフの種まきに始まり、8月の記念キャンプ・四川省友好植樹事業、そして2月の記念感謝のつどいを行ない記念誌の発刊を以って無事終了いたしました。

中でも参加者350名晴天に恵まれ富士のふもとで夢にチャレンジした記念キャンプは、富士山頂お山登りに成功するなど大きな感動と新しい発見に沢山の思い出をつくることができました。今でもスカウト達の笑顔と歓声が忘れられません。

また感謝のつどいでは、ご来賓の方々・成人会員・出演スカウトと200名の皆様が一堂に会し映像による「支部誕生のうぶ声」スカウトによるコーラルスピーキング「私達の誓い」と手づくりプログラムを披露し喜びを共に分かち合い、ご出席の皆様方には、旧交を温め心ゆくまで楽しいひとときをお過ごしいただけたことをうれしく思います。

さて現在ガールスカウトは、世界最大の少女と若い女性のための社会教育団体として信頼と評価を得ております。学校五日制完全実施が2002年に始まり益々ガールスカウトの役割は重要になります。

この記念事業を通じスカウト達が自信を持って成しとげた姿を思うたび実行委員の方々とこの事業に深くかかわったことを誇りに感じます。そして実行委員の皆様の1年間以上に渡るご協力とご奉仕に感謝いたします。

更なる支部発展のため21世紀という大空へ夢実現に向かって大きくはばたいて行かれることを願って止みません。



支部長あいさつ

「魔法の植物チナフを育てよう!!」

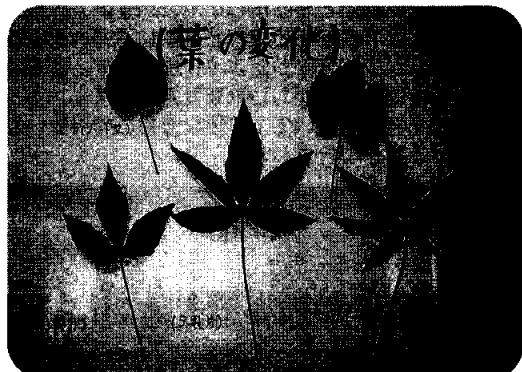
スカウト達と初挑戦をしました。「屋根を越えたよ」「きれいな花がさいたよ」

「不思議な葉っぱだよ、形が違うんだよ。」スカウト達はいろいろな気づきを聞かせてくれました。近所のおじさんからは、何の花か聞かれました。

環境に良い植物だと力説もしました。こうして、収穫したチナフ、パルプになつてもどってくるのが楽しみです。



クリーム色のかわいい花です。



1本の木で5変化? 7変化?

支部25周年のあゆみ

昭和51年2月15日

支部結成式(甲府市社会教育センター)

昭和56年2月

5周年記念式典(甲府市社会教育センター)

昭和60年8月1日~4日

10周年記念キャンプ(八ヶ岳少年自然の家)

平成2年5月20日

15周年記念ふれあいフェスティバル(甲府市健康の森)

平成7年7月28日~8月16日

20周年記念イギリスキャンプ(イギリス)

リーダー、スカウト 14名参加

平成7年11月11日

20周年記念式典(山梨市民会館)

" ウォークラリー(山梨市万葉の森)

平成12年8月3日~6日

25周年記念キャンプ(山中湖村)

" 記念 四川省友好植樹事業派遣(中国四川省)

平成13年2月15日

" 記念誌発行

平成13年2月18日

" 記念感謝のつどい(山梨英和短期大学)

「中国で私が得たもの」

..... 1団 レンジャー 甘利未来

2000年8月29日私達は、中国四川省の大熊猫繁育研究基地で行われた植樹に参加しました。私が植樹でペアを組んだのは対珂佳という少女でした。彼女は英語が上手でお互い精一杯の英語と身ぶり手ぶりで会話をしました。彼女は私の半分くらいの年でしたが私のことをとても気遣ってくれ、また精一杯もてなしてくれました。植樹の後パンダを見るときも「あそこにいるよ！見える？」とか、歩くときには「暑いでしょ？」「疲れた？」と心配してくれ、また食事の時は「これは辛いから少しにした方がいいよ。」「これは具はおいしくないからスープだけ飲んで。」などと言いながら私に料理をってくれました。彼女にとってはもてなしなんかではなく友達に対するごく当たり前の行動だったのかもしれません。でも私は、彼女が私の手を握り「ミキ、ミキ！」と話しかけてくれる、そんな何気ない事がとても嬉しかったです。

「国際交流」は「責任ある世界市民」になるために必要なものの一つだと思います。珂佳と出会い、仲良くなり「国際交流」が少し分かったように思います。言葉が通じなくても笑顔と心で通じ互いに理解し合いました。初步的な交流かもしませんがとても大事な一歩だと思います。今回の派遣で中国の現状を見て、聞いて、素敵なお会いで可愛い友人ができて私は自分の視野を広げる事ができました。

「植樹事業に参加して」

..... 2団 レンジャー 小塩幸恵

「中国四川省の派遣、合格したよ。」

リーダーの声を電話ごしに聞いてから数十日、私は小さな飛行機に乗り目的地の四川省へと飛び立ちました。北京の観光をすませてちょっとつかれ気味だった私を驚かしたのは四川省の風景でした。田舎の割には山が多く、みわたす限り畑でした。自然があまりない四川省を見て私達はここに縁を植えるのだなと実感しました。

私達が植える場所は町からはなれたパンダ公園でした。そして植える苗は160cmくらいの大きい苗でした。さすがに1人で植えるのはきつかったので現地の少女と一緒に植えました。私は英語は全く下手だったのでただ笑いかけながら心の中でどうしようと不安でいっぱいでした。しかし、植えていくうちにジェスチャーまいりの会話ができるようになり、手をつなぐほど仲よくなりました。その時私は植樹はただ縁を増やすだけでなく、人の交流もふやしてくれるんだなあとと思いました。もしできるならこれを機会にもっと植樹に参加したいと思いました。また少しでもみんなが植樹をとおして人と交流をしてくれたらいいなと思いました。



中国四川省友好

平成12年8月

四川省山梨県締結友好关系15周年紀念



「中国が私に植え

私は今回初めて肌で国際交流と世界緑化を体験することができ、中国の子とチームを組んで行った植樹。たった一本の木を植えるを縁で美しくしてくれるのです。木の成長は見れないけれど私は樹は私と中国の友達を結ぶ役割もはたしてくれました。私は中国しかし私は一つだけとてもショックなことがありました。生れては自分がしなくてはならないことをまた一つ見つけました。

この事業は私たちに多くの体験を宝として与えてくれました。そして世界市民として地球のために自分を役立てることを見

植樹事業派遣

26日～31日

「味わった事のない感動に触れて」

..... 6団 レンジャー 勝見千恵

式典が終わり植樹する所へ移動する時に、私達はすぐに中国の小学生達に話しかけました。彼女達から見て私達はどう見えるのか私はとても不安でした。中国語で何か話しかけようと思い「ニイハオ」と言ってみると彼女達はキラキラとした瞳を向け日本語で「コンニチワ」と言ってくれました。その瞬間から私達と彼女達の間にあった壁は無くなり、絶対仲良くなれると思いました。言葉も通じないのでなぜか彼女達の瞳や笑顔を見ると、もはや言葉の壁すらないように思えました。会話をしていくうちに一人英語を話せる子がいる事が分かりました。私達は精いっぱいの能力で使える英語を使い、その彼女が通訳となりコミュニケーションをしました。私と植樹でペアになった女の子は、まるっきり英語が通じなかったのですが、アイコンタクトと笑顔とボディランゲージで何の問題もなく楽しく植樹する事ができました。このようなすばらしい機会をいただき大変ありがとうございました。



もの

6団 シニア 中込幸子

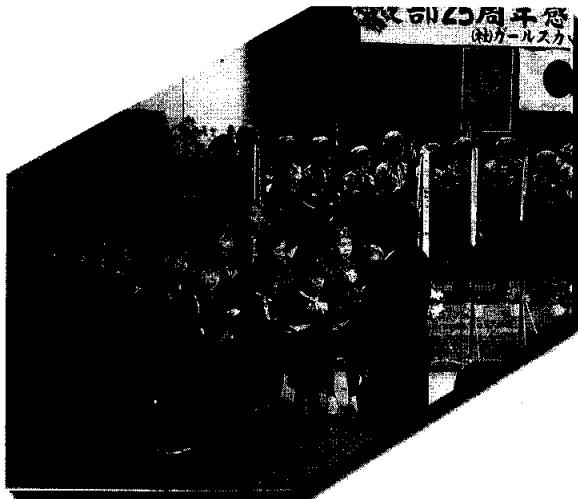
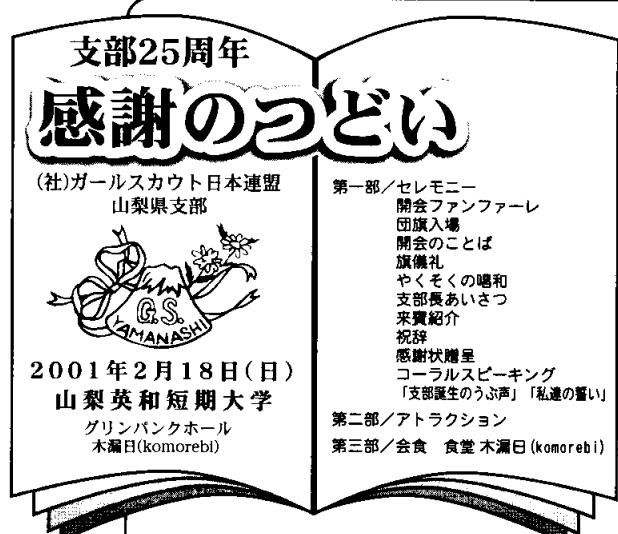
ました。六日間を本当に有意義に過ごすことができました。どのにどれほど時間を費やしたでしょう。しかしその木は世界この木の種が世界を緑にしてくれることを望んでいます。植の人たちといっしょに歌ったキラキラ星が忘れられません。初めて貧富の差をまのあたりにしたことです。このことで私の体験を力としてこれからもスカウト活動を続けていきたいと思いました。

「言葉の違いは壁ではありません」

..... 6団 シニア 渡辺詩織

私は、日本語しか話すことができません。でも、日本語じゃなくても会話することができます。なにかというと目と動きです。四川省との友好植樹事業では、中国の子とペアになって木を植えました。そのときに『次は私が土をかけるからシャベルをかけて』と言葉を使わずに話をしました。外国に行くのは2回目だったけど話しをするのは初めてだったのですごくうれしかったです。それと、日本との違いにすごくびっくりしました。食事やトイレや家、盗難がすごく多いことや日本人にお金を求める人もいました。あらためて、日本は幸せな国だというのがわかりました。でもアフリカの方はもっとひどい状態だと思うのでいつか行ってみたいと思いました。あと、今回は一本だけしか植えられなかったのでまたなにか応募して本格的にたくさん木を植えたいです。本当によい経験ができました。





コーラルスピーキング “私達の誓い”



手話ダンス “ビリーヴ”



コーラルスピーキング “私達の誓い”



ステックダンス “ミッキーマウスマーチ
バラバラバージョン”



手話ソング “夢をあきらめないで”

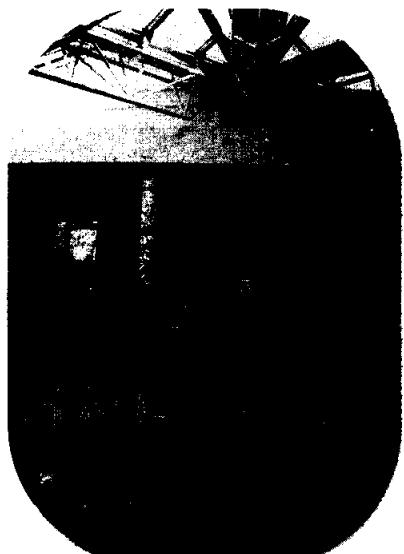
感謝のつどい



歴代支部長・御来賓の皆さんと「ハイ、チーズ！」

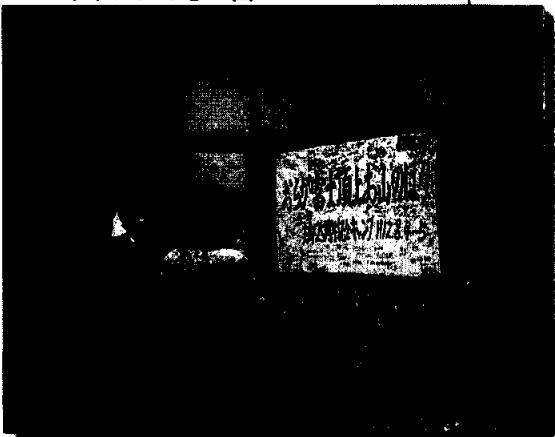


笑顔がステキな成人会員の皆さん



ウェルカムメイポールダンス特訓中

展示コーナー “キャンプの思い出”



“制服の変遷”



夢ドームリニューアル

☆☆☆委員会だより☆☆☆

■財務委員会

平成12年度 バザー売上報告
(H13.3.18、リバース和戸)

総売上げ 322,040円
内訳 遊休品 161,170円
ビール券、他 160,870円

ご協力ありがとうございました。

お知らせ

●第26回定期総会●

日時／平成13年5月19日(土)
場所／石和町入コレーセンター視聴覚ホール
今年度は会場が石和町です。
まちがいのないように、お出で下さい。

●支部事務局にパソコンが導入されました●

Eメールアドレス

gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp

●戸隠キャンプセンター募金総額 2,057,800円●
(個人募金も含む)



ふくろう通信

平成12年度

緑の募金	200,000円
ユニセフ募金	326,746円
国際友愛基金	93,356円
ピースパック	82箱(410袋)
靴	5箱
ボール	1箱

法人 ガールスカウト日本連盟山梨県支部

〒400-0811
山梨県甲府市川田町506 山梨県立青少年会館内
TEL.055-228-2019 FAX.055-228-6637
E-mail: gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp

●毎週 水・金曜日 PM.1:30~4:00●

おめでとう

第7回

山梨文化創造ネットワーク大賞審査委員特別賞受賞
ガールスカウト山梨県支部
難民に「ピースパック」を贈る活動に対して

第22回 少年の主張山梨県大会
優秀山梨放送社長賞受賞

第20回 全国中学生人権作文コンテスト
山梨県大会 奨励賞受賞
「心のバリアをとりのぞこう」
9団 シニア 3年 中込幸子

Let's Go

口ケット

(用意するもの)

- ・太いストロー ……1本
- ・細いストロー ……2本
- ・はさみ

(つくり方)

①太いストローの先から2cmのところを切り取り、先から2cmのところで折り曲げた細いストローをさしこみ口ケットを作る。



②口ケットを残りの太いストローにさしこみ、図のように好きな角度に折り曲げて強く吹く。



だれが一番高く飛ばせるか競争しよう!

編集後記

支部結成25周年記念事業の行事の全てが無事に終了し、皆様もホッとしておられる事と思います。21世紀の幕明けです。それぞれの夢や目標に向って、大きくはばたいて下さい。

渡辺

文部省

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

〒400-0811

山梨県甲府市川田町 506

山梨県立青少年会館内

TEL. 055-228-2019

FAX. 055-228-6637

E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlinki.ne.jp



愛宕山 こどもまつり(2001.5.5)

よい人間であることは確かに立派だが
よいことをすることの方が、もっと、よいのである。

—— B. Pのことば ——

B. P とは創始者ベーデン・ポウエルの頭文字の略

平成 13、14 年度支部役員

『自から考え行動できる人』を育てるために

支部長 小野 加代



21世紀のスタートの年、支部長に選任された事を身が引締る思いで受止めて居ります。スカウトの減少、リーダー不足、新プログラムへの移行等々、取組まねばならない課題が沢山あるからです。そこで今、何をしなければならないかと考えた時、一番の課題は、団、支部の組織の見直しと運営の確立だと思います。“自から考え行動できる人”を育てるために、支部運営にかかわる私達が、各々の役割と責任を自覚し、主体的に行動する事が大切だと思います。スカウトもリーダー任せではなく、リーダーも団や支部に任せるではなく、主体的に楽しい集会を参画して下さい。そのために支部が支援出来る事がありましたら、どんどん要望して下さい。力不足ではありますが、全力投球していくつもりですので、皆様のご指導御協力をお願い致します。

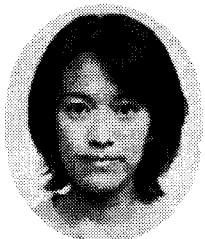


(前列左から)
副支部長 古屋 文子(1団)
〃 山本千代子(4団)
(後列左から)
書記 菊嶋喜久江(19団)
〃 中嶋 文子(18団)
会計 丸山久美子(4団)
〃 小池すみ子(9団)

監事 鷹野 久子(1団)
前田 勧子(15団)



新任トレイナー (2団) 笠井 真理子



平成 13 年 4 月から副トレイナーに認定されトレイナーの皆さんと一緒に少しづつ講習会や研修会を担当させていただいています。まだまだわからない事もありますが、皆さんと一緒に色々な事を学び、私自身も視野を広げガールスカウト活動に取組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

常任委員会

指導者養成委員会

石原 とし子 1団
 平井 始子 2団
 笠井 真理子 2団
 ◎佐藤 秀子 10団
 平井 晴美 10団
 勝俣 静子 10団
 武川 恵子 12団
 深沢 武子 17団



指導者の育成に全力を尽くすべく黒子に撤してがんばります。悩み等相談も受け付けます。

財務委員会

◎古屋 知子 1団
 三枝 正木 1団
 深沢 ますみ 2団
 井出 直子 3団
 鈴木 麻理子 4団
 中村 明美 12団
 河野 可津子 13団



支部のため、ヤングパワー(?)で財源確保!

組織委員会

米山 宣子 1団
 坂本 京子 2団
 千葉 いづみ 3団
 山見 実子 4団
 中村 聖子 10団
 ◎青木れい子 12団
 深沢 武子 17団



ラッキーセブンガールズ。
 委員会のモットーは「扇の要」

庶務委員会

関 敬子 4団
 小林佳世子 9団
 ◎大塚 郁子 13団
 山県 洋子 13団
 吉田 陽子 13団



地域のイベントへの奉仕も頑張ってます。



広報委員会

土屋恵美子 1団
 菊島 志保 2団
 渡辺とし江 3団
 ◎松本 栄子 4団
 名取あき子 9団
 小俣 節子 10団
 石原 順子 13団



総年齢299歳
 精神年令、支部と同じ年の26才。
 楽しい支部便りをお届けします。



事務局 中込美代子

支部ギャザリング

1月23日～24日在籍の会員少年団

シニア・レンジャーの集いで、井出リーダーの青年海外協力隊でのお話の中で、日本ではあまり考えられないような事でも普通に行われているという事実に驚きました。改めて日本の裕福であること、美しい国であることを思いました。リーダーの訪れた国、世界の国々が豊かになればいいと痛感しました。

ガールスカウトではゴミを拾うなど多くの機会があるので率先して一生懸命したいと思いました。

13団シニア 三枝真希



講師 井出悦子リーダー（3団）

プロフィール

1998年12月～2000年12月までの2年間、青年海外協力隊員として、北アメリカのニカラグア・グラナダ市役所 社会福祉課に勤務し環境教育にあたる。現在、JICA(ジャイカ)国際協力事業団の中で鉱工業開発協力部に所属し、鉱工業に関する天然資源の開発調査の仕事(主に南米地域チリ、ボリビアなど)に従事しています。

南関東ギャザリング

1月24日～26日在籍の会員少年団

南関東ギャザリングに参加して
3団レンジャー 川端友子

私は初めて南関東ギャザリングに参加しました。一番驚いたことは、他の県のスカウトがいろいろな活動を展開していることです。これから活動のために、とても参考になりました。夜のキャンプファイヤーでは、知らなかつたハンドゲームや歌を教えてもらって楽しかったです。話し合いが多くて大変だったけれど、他の人の意見も聞くことができ、多くのことを学ぶことができました。また、環境村の人のお話しさはとてもショッキングでした。今のくらしがあと20年で終わり、地球の資源がなくなってしまうなんてピンとこなかつたのですが、本当にそうなつたらと思うとこわくなりました。このギャザリングで学んだことをいつも頭において、これから的生活に役立てたいと思いました。

来年は山梨開催。
東京都支部より
バトンを
うけとりました。



8月14日～28日、2週間という短い時間の中で私達は数えきれない程の良い想い出を作ることができました。スイスでは今まで経験したことないことばかりで全てが新鮮でした。

数々の思い出の中で私が一番忘れないのはやはりアフシャレーで過ごした6日間です。アフシャレーには私達日本人14人を含めアメリカ、イギリス、カナダのスカウトやガイド達が100人程集いました。最初は英語で会話ができるかなど不安もいっぱいでしたが、外国のスカウト、ガイド、またアフシャレーのスタッフのみなさんがとても優しく、みんなと仲良くなることができました。

プログラムは毎日、ハイキングやバストリップがあり自分の希望するプログラムに参加することができました。中でも“オーバーナイトハイク”という、牛小屋に一泊後、朝早くから登山をしてご来光を見るセッションがとても印象に残っています。外国のスカウトとおしゃべりをしながら満天の星空の下を歩くのは最高でした。(ハイジになった気分)また、キャンプファイヤーやワイドゲームなどもあり、交流をたくさん深め合いました。私にとってブラウニーの時から行きたいと思っていた海外派遣に行けたことを本当に嬉しく思います。そして今度はリーダーとしてアフシャレーに行けたらいいなと思います。

1回 小田切智子

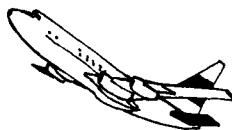


スイス アフシャレー セッションB (8月14日～28日)

- | | |
|---------|---|
| 8/14～15 | チューリッヒ着・観光 |
| 8/16～17 | ジュネーヴ着・観光 |
| 8/18 | ベルン着・観光 |
| 8/19 | アフシャレー(アデルボーデン)着 |
| 8/20 | レベルトハイキング(ウッドカーパー) |
| 8/21 | バストリップ(グリンデルフルト)ワイドゲーム |
| 8/22 | パンラマトリップ(Oeschinensee) ブラスバンドを聞きにアデルボーデンへ |
| 8/23～24 | オーバーナイトハイク アフシャレー チャレンジ/バッヂに挑戦 |
| 8/25～26 | アフシャレー～ツェルマット～チューリッヒ「氷河特急」の旅 |

海外派遣報告

世界に近づけた夏



メキシコ アフカバニヤ・フレンドシップセッション (8月4日～18日)

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 8/4 | メキシコシティ着 |
| 8/5 | ティカリ観光 |
| 8/6～13 | ソカラ～ティカリ～アフカバニヤ フレンドシップセッション参加 |
| 8/14 | アフカバニヤ～アカブルコ |
| 8/15 | ソカラ着 ソカラ～ビーチ散策 |
| 8/16 | テオティワカン観光 メキシコシティ散策 |



アフカバニヤセッションには日本その他、9か国の人達が集まりました。その中に、VAMOSの子供たちと一緒に遊ぶプロジェクトの中で日本は、わりばして船と一緒に作ったり、ありがみで鶴を折つたりしました。子供たちはお互い言葉がわからないけれど少しづつ話したりました。もっとスペイン語を勉強しておけば良かったと思いました。けれど、人は言葉以外でも心と心で会話が出来るんだと、子供たちに教えられました。

プログラムの中には、平和についてなどを話し合う事もありました。パトロールごと平和のシンボルマークを作り世界中の平和を願いました。私のパトロールはみんなで1枚の紙に、自分の名前や好きな言葉、絵などを書き鶴の形にしました。peace celebrationで、お互いのシンボルマークを見ながら1人1人がローソクを持ち、今回会えた事を喜び合いました。たくさんの人と抱き合い、一緒に笑つたり泣いたり、すばらしい経験をした事を本当にうれしく思っています。

STAFFのみなさんが最後の夜のタッブスの時、日本語で閉会の歌を歌ってくれました。今でも心に残っています。始めは、うまく会話も出来ず、どうしようと悩みましたが一緒に行った友達と励まし合う事が出来ました。他の国の友達のやさしい気持ちにもふれる事が出来ました。私にとって、この二週間の出来事はすべてが大切な、思い出です。

私の今の夢は、もう1度、アフカバニヤに行く事。そしてSTAFFになる事です。

私がして来た、たくさんの思い出を、これからなのスカウト達にもしてほしいと思います。

10回 平井まだか



輝いてるね。 スカウトたち



カブラリーに参加
富士吉田市パインズパーク



いきいき山梨ねんりんピック 2001
小瀬スポーツ公園

ねんりんピックに参加して

4団 鈴木 晓子

今年のねんりんピックはとても暑い日ざしの中行われました。開会式の時のシニア・レンジャーのプラカード持ちの人は暑い中きちんとプラカードを持ち大変だったと思いました。そして、私はガールスカウトの紹介のチラシを配り歩きました。少しでも多くの人が、私達のコトを知って仲間になってくれたらいいな、と思いながら配りました。

来年は中学生、少し成長してまた出たいです。



6.26 ヤング街頭キャンペーン
県内3ヵ所で呼びかけ



第52回全国植樹祭オープンイベント
緑の少女隊・富士吉田と都留に発團



『韓国デー』チェギチャギづくりを体験
日韓交流事業・スカウト会館



ガールスカウトの輪を広げよう

2回 杉田聖子

私は、八月八日に渋谷で開かれた、韓国デーに行ってきました。韓国デーでは、韓国の食べ物の試食・チマチョゴリ体験・お作法教室チェギチャギなど韓国の文化をたくさん体験していました。

韓国の食べ物は、とても辛いスープとお菓子などを食べました。めずらしかったし、とてもおいしかったです。

チマチョゴリ体験は着物のような感じなのですが、下にはくスカートを胸のところで留めて、その上に小さなものをはあるのです。とてもいい体験でした。

チェギチャギとは、羽つきの羽のようなものを足でけって遊ぶのです。作るのは、とっても簡単なのですが、遊ぶのは、とっても難しかったです。

日韓の問題もある中、仲良くふれ合えたことをとてもうれしく思いました。



山梨第20団発団

新ひの姉妹が仲間入りしました。

「少女達の可能性を育成」

団委員長 堤よし子

ガールスカウトの「やくそく」や「あきて」にもありますように地域や国、世界に役立つ人として少女達が自ら考え、自ら行動して自立心や責任感、友愛や他人への思いやりの心を養い、自己の可能性を発見して主体的に生きる力をもったガールの育成につとめ社会教育の一環として長坂のこの地に根付いていくことを願っています。



6団は、発団30周年を迎えて、プラウニーからレンジャーまで総勢50名の参加者で「平和・文化・自然」をテーマに沖縄研修旅行に行ってきました。暑い・熱い感動の4日間でした。

- ★ 海の中が見える船に乗りました。サンゴがあとっているように見えました。(Br 飯野遙香)
- ★ 琉球村でのシーサーの壁掛けの絵付けがとても楽しかったです。(Jr 宮下 彩)
- ★ はじめて飛行機に乗ってドキドキしました。沖縄につくととても暑かったです。
一約2時間40分ー (Jr 唐橋奈津紀)
- ★ 語り部の上原当美子さんから、56年前のひめゆり学徒隊のお話を聞き、平和と命の尊さを学びました。今の平和に感謝し守って行かなければと思いました。(S 井出美德)
- ★ スカウトとしての最後のキャンプがこの沖縄旅行。素晴らしいNo.1の思い出になりました。“ニフェーデービル” 《ありがとう》
(Rr 勝見千恵)

「ガールスカウトに入行って」

ジュニア 海野 彩

どうしてわたしが、ガールスカウトに入ろうと思ったかというと、「ボランティアっておもしろそう。」と、思ったからです。

わたしは、リーダーの方々といっしょに、キャンプ、それから、お店をひらいたりしています。その中でも、わたしは、お店をひらくのが大好きです。この前は、オオムラサキ祭でアップルパイを売りました。

これからも、ガールスカウトの仲間や、リーダーの方といっしょに、いろいろなことを、がんばりたいと思います。

沖縄の風を感じて

思い出いっぱい



ひめゆりの塔にて
献花そして平和への祈り

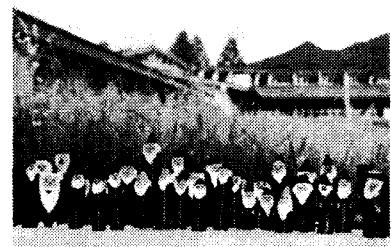
リーダーキャンプ in 八ヶ岳

9月15、16日八ヶ岳少年自然家において、リーダーキャンプが行われました。“あなたをシェイプアップ！～自分で考え行動するキャンプ～”をテーマに掲げ27名のリーダーたちが楽しい一泊二日の研修にすがすがしい汗をながしていました。

「ゆっくりとした温かさ、確かさの中で」

12回 青木れい子

いつもと変わらない八ヶ岳の自然、通い慣れた少年自然家の道、景色も土や草花の匂いも、やさしく又元気に出迎えてくれた一泊二日。私は選択プログラムのクラフトで木やツルと親しんだ時、ゆっくり流れる空間が自分にとって、ふりかえる良い機会になり、今まで夢中でやってきた活動、様々な人々との出会い、スカウトから学んだ事、感動したあの笑顔、大自然のすばらしさ、神秘さ等々地球上に生命が誕生して、どのくらいの歴史をつくりあげてきたのだろう。過ぎ去った時から今のこの瞬間まで、ふと立ち止まり考える。あらゆる自分の行動、考え、私は誠実に着実にしてきただろうかと・・・・。当然の事ながら沈黙したまま深く沈みそうになる。ふと気をとりもどして回りを見ると、かすかな息遣いと真剣に向かう眼差しの友がいる。私は無意識の内に自分も含めエールを送っている。



「リーダーキャンプに参加して」

19回 荒木浩子

リーダーになって三年目に入り、初めてリーダーキャンプに参加させて頂きました。選択プログラムの野外料理でダッヂオーブンによるローストビーフ、竹筒を使い原始的な手法で焼き上げたバームクーヘンなど、驚くばかりのメニューに挑戦しました。ダッヂオーブンの中に大きく切った根菜と牛肉のブロックを入れ、「アッ」と言う間の一時間たらずで柔かいローストビーフの出来上りです。炭火のおきで焼リングを作り、ステキなデザートの出来上りです。丸ごとキャベツの芯をくり抜きハンバーグの種を入れ、たっぷりスープで煮込んだ絶品や、皮から手作りし、中味のソースにも趣向を凝らしたタコスは、私には初トライの味覚でした。最後に直径八センチほどの竹に生地を塗り付け、竹を回しながら次々と重ねて焼き付けていくバームクーヘンの楽しい手法を学びました。

緑と一緒にごちそうさま
(野外料理)



バームクーヘンを作っています

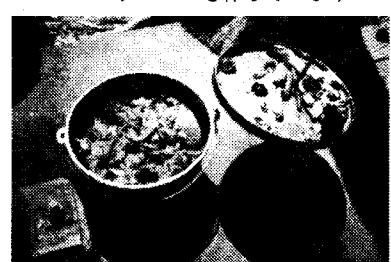
自然からのおみやげ(クラフト)

～クを入れ、「アッ」と言う間の一時間たらずで柔かいローストビーフの出来上りです。炭火のおきで焼リングを作り、ステキなデザートの出来上りです。丸ごとキャベツの芯をくり抜きハンバーグの種を入れ、たっぷりスープで煮込んだ絶品や、皮から手作りし、中味のソースにも趣向を凝らしたタコスは、私には初トライの味覚でした。最後に直径八センチほどの竹に生地を塗り付け、竹を回しながら次々と重ねて焼き付けていくバームクーヘンの楽しい手法を学びました。

赤とんぼみつけた
(冒険ハイク)



野外料理を覆す豪華メニューの香りが広がって、緑と一緒にごちそうさまをしました。



ローストビーフの完成です

おめでとう

山梨第6団 25周年
山梨第20団 平成13年3月発団

☆☆☆委員会だより☆☆☆

財務委員会

支部バザー

日時 11月11日(日)
場所 甲府市和戸町
リバース和戸

支部需品です

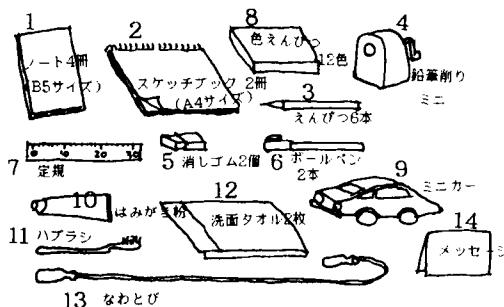


タオルハンカチ シャープペンシル
(白・水色)200円 (赤・水色)150円
おみやげ・ごほうびにいかがですか



教育活動委員会

ピースパックの中身



指導者養成委員会

スカウト技術の研修会及び
ガールスカウトリーダーの補講講習会

第1回 10月17日(水)
第2回 11月21日(水)
第3回 12月19日(水)

いずれも青少年会館 午後7時30分から
9時30分で行います

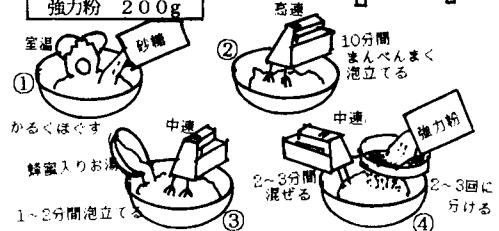
Let's Try

Let's Cooking・カステラ

材料

卵 M玉8個 砂糖 300g
蜂蜜 大さじ4 お湯 50cc
強力粉 200g

温めておく
170° ~ 180°



たねで字がかかるくらいでOK。

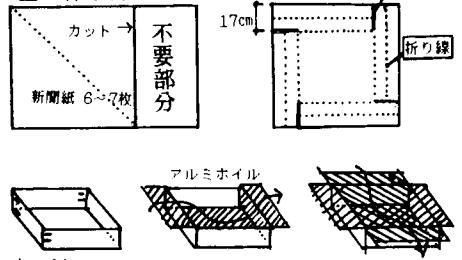
⑤型の縁にたねをつけないように流し入れる。ゴムベラでたねを切るように縦・横に何度も動かし、底から泡が上がってきたら表面をなでるようにして泡を消す。3~4回繰り返す。

⑥オープントップで1分ほど焼いて取り出し、先の要領で泡切りし、再度オープントップに入れる。これを2回ほど繰り返す。その後8~10分表面にうっすらとこげ色がつくまで焼く。

⑦さらに下段で150~160度、約60分焼く。

⑧ラップをしわにならないように広げカステラの表面を下にしてさます。

型の作り方



編 集 後 記

～天高く馬肥ゆる秋～
支部便りを発行するにあたり原稿、写真などたくさんのご協力ありがとうございました。
秋を飾る形容詞が様々ある中で
私の今年の秋はまさに
～感動の秋。感謝の秋～といったかんじです。

松 本

No. 47

平成 14 年 3 月

支那ほり

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

〒400-0811

山梨県甲府市川田町 506

山梨県立青少年会館内

TEL. 055-228-2019

FAX. 055-228-6637

E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp



ワールドシンキングデー2002(2002. 2.17)

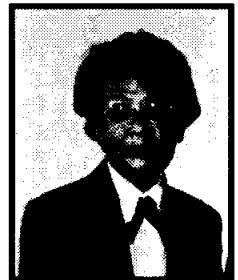
あなたは今、未来に向かって前進しなさい。ガールスカウトの功労者たちのこと以上にことを成しとげて、その成功を偉大なものにしなさい。
みなさんにはきっとそれができます。

—— B. P のことば ——
B. P とは創始者ベーデン・ボウエルの頭文字の略

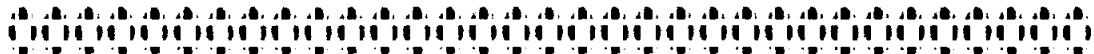
惜別

ありがとう今井リーダー

私たち山梨県支部の母である今井温子姉が
平成14年1月15日、81歳の生涯を閉じられました。



昭和34年7月、甲府市北口にG S山梨第1団を発団。自宅のサドヤ醸造場を集会場として提供。リーダー、キャンプリーダー、トレイナー資格を取得。指導者養成に奔走。戸隠キャンプの参加が以前は支部に限られていたことから、支部結成を強く望み10団までの結成、基金も規定額を達成するよう尽力され51年2月支部結成。支部事務局として自宅敷地内を提供。初代支部長として活躍。山梨G Sの基礎を造られた。日連会計理事としてもスカウト会館建設募金等に貢献した。
県政功績、県教育功労賞、平成6年には日本連盟・桐章を受賞された。



支部長 小野 加代

今井温子姉の御逝去をお悔やみ申し上げるとともに、永年の御指導に心から感謝致します。
今井元支部長様に、はじめてお会いしたのは38年前、第2団発団のため指導者養成講習会を受講した時でした。講師の清水俊衣先生のお手伝をなさりながら、良く通るきれいな声で『ジオジオジオシャオ、ジャオイカポンヨヤ』と自己紹介ゲームを楽しそうに教えて下さった姿が、昨日のことのように懐かしく目に浮かんで参ります。その後、昭和51年の支部結成から病で倒られるまで、山梨のガールスカウトの先達として御活躍下さいました。

今井様が『ガールスカウトの道をえらびて』の歌そのままで、リーダーとして、トレイナーとして、支部長として、また日本連盟理事として、まさに人生の大半をガールスカウト運動に捧げてこられたお姿は、多くのスカウトの心に刻まれております。いつも私達の一歩前を、背すじをピンとのばして歩まれ、時にはやさしく、時には厳しく、ガールスカウトの精神を示して下さいました。その教えを受けつぎ、少女と若い女性の育成に力を尽くしていく事が、後に続く私達のつとめと思っております。本当にありがとうございました。

支部顧問 箭本 翠

思い起せば今井リーダーとは35年のおつきあいと言うことになります。G Sというものを知ったのも、山梨第4団を作ったのも今井リーダーのお導きでした。

最初のキャンプは1団、4団、5団の合同キャンプで増富村の小学校の廃校で行われました。キャンプは初体験でテントを見たのも初めてだったので驚く事ばかりでしたが、何もかも手をとって教えて戴きました。

そして夜。当時リーダーは23時と3時に起きて見廻りをしなければなりませんでした。起きられなかつたらどうしようと思っておりましたら、今井リーダーは、大丈夫私が起してあげますとおっしゃって、昼間の疲れで眠りこんでいる私達を順番におこして下さったのです。御自分は殆んど眠らなかつたのだと思います。2泊3日ずっとでした。責任感の強さと皆を寝かせてやりたいというやさしさに感激しました。何時も自分に厳しく他に優しい方でした。本当のガールスカウトとは、この方を言うのだと心から思いました。良き姉であり、友であった今井リーダーがこんなに早く逝かれたことは悲しい限りですが、残された考として、今井リーダーの歩かれた道を一生懸命ついて行こうと思っています。



今井リーダーありがとう

トレイナー 山田 幸子

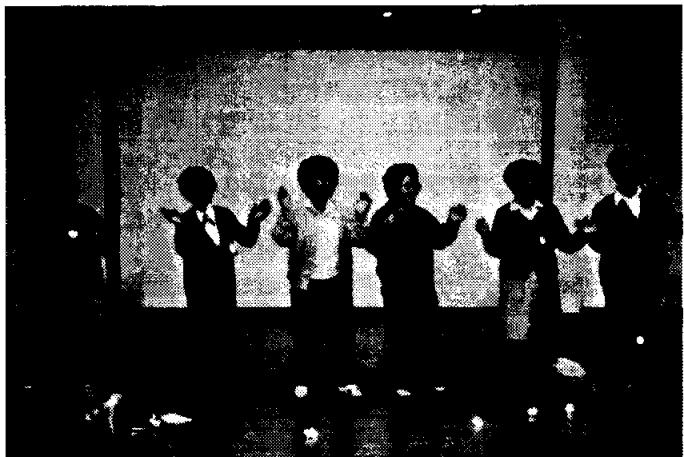
1団の集会場はサドヤ醸造場の工場の2階にありました。ここで毎週の集会や他の団との交流をし、庭では、飯ごう炊さん、キャンプクラフトをしました。私達はこの広い敷地内を自由に闊歩し四季の自然に触れました。また、ご主人様には、食卓や調理台の組立式の物を造っていただきお世話になりました。

いつも、今井リーダー精神の中央にあつたものは他人を思いやる奉仕の精神だったと思います。

私たちは、リーダーのご遺志を受け継ぎ山梨の地にGSが益々発展するよう努力していくことが感謝の心だと思います。

ご冥福を祈ります。

いつまでも見守っていて下さい。



今井リーダーの思い出

1団リーダー 石原里美

今井リーダーは、私がブラウニーの頃よりお世話になったリーダーでした。

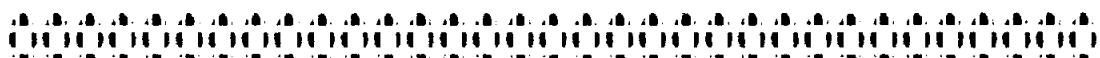
いつも一人一人に語りかけるような口調で話をしてくれた事をよく覚えています。その中でも特に私の心に残っている言葉があります。それは、一度スカウトになった人は、一生スカウトなのよ、という言葉です。小学生だった私でも、この言葉は自分がスカウトであるという誇りを強く感じた事を覚えています。今井リーダーには激しく変りゆく世界の中で変わらない大切なものを、

スカウト活動を通じて教えてくれたのだと思っています。

今、私もリーダーとしてスカウト達と接していますが、スカウト達にスカウティングの楽しさ、素晴らしさ、誇りをいかに伝えることができるかが大きな課題だと思っています。リーダーとしてまだまだ足りない私ではありますが、今井リーダーという素晴らしい先輩に教えてもらったことを、少しでも、スカウトに伝えていけたらいいな、と思っています。



たくさんの想い出が、私たちと生き続けます。



ワールドシンギ

《世界連盟テーマ》世界
《支部テーマ》LOV
ビデオ “ピースパック”
朗読 “地雷ではなく花をください”
シンキングデーファント
スタンプラリー

平成14年2月17日(日)山梨市民会館356名のスカウト、リーダー、アダルトがB.Pご夫妻のお誕生日をお祝いし、世界の平和を願いました。

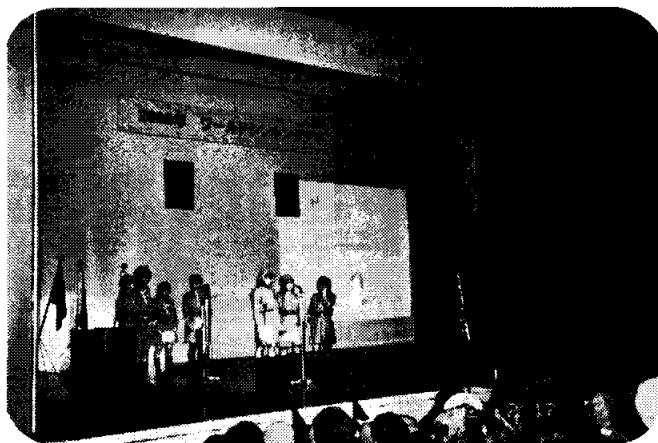
今回私は初めてワールド・シンキングデーの実行委員になりました。今まであまりこういう事に積極的に参加していた方ではなかったのでとても不安でした。しかし、スカウト同志お互いに助け合い、そしてリーダーの方の助けがあったからこそ無事成功を修めることができたのだと思います。この約半年間にわたって行ってきた活動の中で私は沢山の事を学ぶことができたと思います。そして何より沢山の友達ができました。実行委員のメンバーは、県内の様々な所から来ていたのでそれぞれの団の話をしたり、とても楽しかったです。

ワールド・シンキンデーは今までただ参加するだけでしたが今回自分達で企画、運営を行い、大きな事をする大変さと、それを成し遂げる喜びを感じることができたと思います。これからも、積極的に色々な活動に参加していきたいです。

実行委員2団 レンジャー 米山瑛利子



シンキングファ

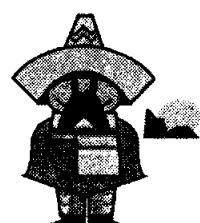


“地雷ではなく花をくださいⅡ” サニーちゃんとカンボジアへ



今日の「ワールドシンキングデイ」は地雷のこわさ、ピースパックがどのようにかつやくするのか、よく分かりました。これからも、ガールスカウト運動をがんばってやり、ピースパックをいっしうけんめいつくつて、世界の人々のやくにたてるようにしたいです。(ジュニア)

私はスタンプラリーで中国を担当しました。チャイナドレスを着て少し恥ずかしかったけどとても楽しい想い出になりました。(シニア)



スタンプラリー アルプス

シングデー2002

希望の若い女性

& Peace

「こめる願いはひとつ
花をください」



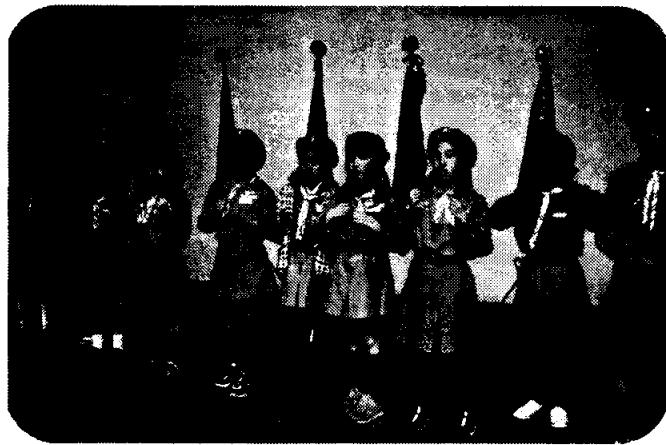
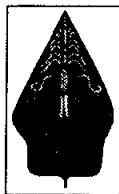
ドに願いをこめて



アメリカテロ事件に
よせられた
平和を願う
私たちのメッセージ



レ女ハイジたち……



魔女のメガネで世界をみると……
ソング“オブラディ・オブラダ”

わたしは、アメリカがいちばんのしかったです。なぜたのしかったかというと、くいづでぜんもんせいかいだったからです。わたしはまたクイズをやりたいと思います。(ブラウニー)

今日はスタンプラリーで色々な国文化をたくさん知る事ができとても楽しかつたし、勉強になりました。

これからもそういう文化が伝っていくようになればいいと思います。(シニア)



『外国青少年指導者招聘事業』

平成 14 年 1 月 30 日～2 月 6 日

カンボジアからお客様

山梨県支部の
みなさんへ。。。

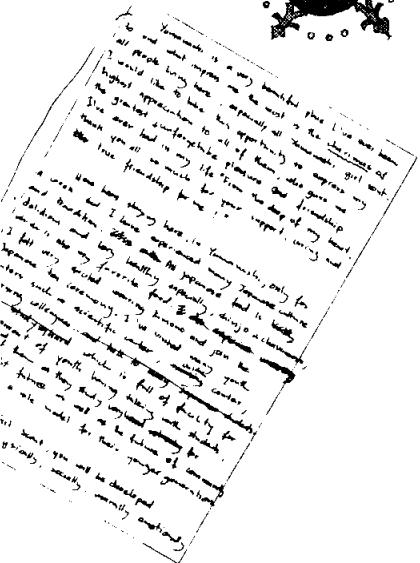
ダンさんの一週間

- 1/30 甲府到着
- 1/31 歓迎会 県立科学館・北新児童館
- 2/1 県庁表敬訪問 ハケ岳で雪遊び
- 2/2 シニア・レンジャーとお茶会(甲府)
- 2/3 成人シンボジウム 節分行事
- 2/4 県立看護大学
シニア・レンジャーと交流会(都留市)
- 2/5 富士五湖で自然体験
さよならパーティー(甲府市)
- 2/6 和歌山県へ

Cambodia is situated in Southeast Asia. It's located to the North by Thailand and Laos, to the East by South East Vietnam and the West by Thailand. According to the National Census of 1999, its total population was about 11.5 million. About 95% of Cambodians are former and still practice the Theravada Buddhism. The official language is Khmer and the currency is Riel, which is 1 US\$ = 3900 Riel (exchange rate in Jan 2002).

Point only 2% of Cambodian women obtained their secondary university diploma and only 17% want to continue education to develop economic strength and formal education movement. Our bonding Association of Cambodia was established a year ago with only 10 members but now the membership has increased to about 300 yet guides all the girl guides aiming to focus on peace, health, foods protection, environment and culture.

I, Dany Borribach, a member of Girl Guide Association of Cambodia, is having bonding with Mr. Hironobu & Ms. Sato, leaders of Girl Scout of Japan, here in Yamagata starting from Jan 30 till Feb 6, 2002. My objectives to come here are to experience Japanese way of living culture, tradition, to learn about east west of Japan, and to strengthen relationship of Japanese girl scout and Cambodian girl guides.



カンボジアは東南アジアに位置し、国の東と南にはベトナム、北にはラオス、北から西にタイがありそれぞれ国境を接しています。1999年の国勢調査によると人口は約1150万人でその85%が農業に携わっています。国民の90%は仏教徒です。公式言語はクメール語で通貨はリエルです。

\$US 1 = 3900 リエルになります。(2002年1月相場)

カンボジアの女性で中学校へ進むのは、たった2.4%です。高校へ進むのはガイド1.1%にすぎません。非公式な教育活動を通して女性達の成長を促すために1996年カンボジアにガールガイド連盟が設立されました。その当時は40名ほどしかいませんでしたが、今は600名になりました。

ガールガイドたちの活動は、平和・健康・食物・栄養・環境そして文化をしっかりと考えることが中心です。

私、ダン・ボラビッチはカンボジアガールガイド連盟の会員です。1月30日～2月6日までここ山梨のリーダー宅(佐藤・丸山)にホームステイをしました。日本にきた目的是日本の生活・文化・伝統を体験し日本のガールスカウトについて学び、カンボジアと日本のガールスカウトの関係を強めることです。

山梨に一週間いただけですが、たくさん日本の文化や伝統を経験しました。

日本の食べ物すべて美味しい、非常にヘルシーです。和食で特にしんじよと茶碗蒸しが気に入りました。着物を着てとても興奮しました。お茶会にも参加しました。科学センター・児童館、看護大学等を訪れましたが、どれも青少年の発達のための設備が十分に備わっていました。

学生たちと話して、私は彼らを誇りに思いました。彼らが地域の将来と同様に自分達の将来のために一生懸命勉強し、若い世代の手本となっているからです。

山梨は私が今まで行ったことのないとても美しい場所です。一番印象的のはここに住む人々、特にガールスカウト山梨の人間的魅力・強烈な指導力です。この機会をお借りしてガールスカウト山梨のすべての人に感謝を述べさせていただきたいと思います。私は私の人生で最高の忘がたい喜びと友情をいただきました。心より私への支援、心使い、そして本当の友情を与えてくれたことに感謝いたします。

《ガールスカウトに入ると、知的・身体的・社会的・道徳的・情緒的・精神的に成長します。》

2002年2月6日
ダン・ボラビッチ



着物と茶道を体験



シニア・レンジャーと交流



さよならパーティー

平成 13 年 9 月 29 日～30 日 総合女性センター(甲府市)

ピュア 2001 総合フェスタ

平成 13 年 9 月 29 日～30 日 富士女性センター(都留市)

ピュア富士フェスティバル 2001

～シニア・レンジャー『ふれあいの日』実行委員活動から～

ピュア 2001 総合フェスタに参加して

9 団 レンジャー 中込 幸子

ネパールへ学校を建てるこことを目標としてふれあいで活動を始めて 3 年目。思うように資金が集まらず、3 年で 3 万円という額に焦りを感じていた時、このバザーの話を持ち上がった。今までにも何度かこのような案が出たが実際に進行るのは初めてだった。

当日、道に迷いつつもたどり着いた会場は時間がたつほど人が増えてきた。だんだんと品物が売れてゆく。中には孫のためにと袋一杯買って下さった方もいた。不馴な私達の顔にも自然に笑顔が浮かぶ。売り上げ金が増えてゆくのがうれしかった。一步一步目標に近づいていくのがわかった。一日目が終わると約 2 万円の売り上げ金があった。

私は 3 年前のギャザリングで見た、ネパール子供たちの笑顔が忘れられない。のような笑顔を私たちみんなで増していくように、これからも活動を続けていきたい。

平成 13 年 9 月 29 日～30 日

南関東地区指導者研修会

千葉県立水郷小見川少年自然の家



14 名のリーダー、トレイナーが参加し、小江戸の佇まいの佐原の街の中でのプログラムの企画実施。

小見川周辺で自然体験を楽しみながら《あなたは何をしますか?》というテーマを取り組みました。

南関東地区指導者研修に参加して

10 団リーダー 中村 聖子

9 月 29・30 日に 1 泊 2 日にわたり、千葉県水郷小見川自然の家での、南関東地区指導者研修会に参加した。大方のプログラムは用意されていたが、全体的に「今までの研修会と違うな」という印象だった。教材の改正に伴いスカウトたちがプロジェクトを組み、実施していく過程を、私たちリーダーも体験したのである。開会式のあとにパトロールを決めるところからがスタートである。自分が何をしたいか・・・同じモノに興味を持つ人たちが集まって、パトロールが出来あがる。1 日目の佐原の町散策 1 つとっても何に重点を置くかによって、パトロールがわかれれるのだ。2 日目の選択プログラムも同様(ちなみに私はサイクリングに参加)。プログラム自体は、楽しく充実した時間を過ごせた。しかし自分が何をしたいかスカウトがはっきりとした意識がないと、プロジェクトを組むのは難しいかも・・・。どう関わればいいだろう。と、今後スカウト活動を支援していく上での課題を考えさせられる研修になった。



選択プログラム(サイクリング)

☆☆☆委員会だより☆☆☆

■財務委員会

平成 13 年度バザー売上報告
 (H13.11.11 甲府市・リバース和戸)
 507,520 円でした。
 ご協力ありがとうございました。
 ワールドシンキングデー織シール
 5 枚 1 組 500 円で販売します。



■組織委員会

H14. 3. 1. 現在 登録者数
 少女会員 429 名 成人会員 350 名

□やまなし青少年“夢”発信 2001
 スープ&チャリティー (H13. 12. 16)



お知らせ

第 27 回定期総会

日時／平成 14 年 5 月 18 日(土)

場所／甲府市川田町

勤労青年センター 3 階研修室



ふくろう通信

平成 13 年度

緑の募金	125,936 円
ユニセフ募金	437,433 円
国際友愛基金	64,675 円
ピースパック	65 箱(325 袋)
靴	25 箱(444 足)
ボール	3 箱(47 個)
ピースパック募金	37,790 円

おめでとう

第 6 団 保坂春子姉

平成 13 年度富士吉田市教育功労賞受賞

第 6 団の発団とともに团委員長に就任され、ガールスカウト運動の推進に尽力されました。

Let's Try

30 年前の懐かしの味

当時、大ブレーク(?)した野外料理。今井リーダーのお宅の庭で作り、ボーイスカウトを、おもてなしした一品。

リンゴカップサラダ

材 料

リンゴ キューリ マヨネーズ
 リンゴは、中身をくり抜き(芯は取り除く)、食べやすい大きさに切る。
 (リンゴの外側は、器として使うので少し厚みを残し、慎重にくり抜いて・・・)
 キューリも食べやすい大きさに切る。
 リンゴとキューリをマヨネーズで合え、リンゴの器に詰めて出来上り。



中身をアレンジして楽しんでください。

編 集 後 記

例年より早い春の気配に桜の花もフライング気味。
 今井リーダーの育てられた私たちも、根を大きく広げ、幹も一段と太くなっています。
 その姿を早く見てほしいといっているような今年の春です。

広報委員会



支那より

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

〒400-0811
山梨県甲府市川田町 506
山梨県立青少年会館内
TEL.FAX.
055-228-6637
E-mail : gs-ymsi@eps.t.comlink.ne.jp

第 3 団

船津地区公民館

シニア、レンジヤースカウトの企画、運営により行われました。セレモニー部分では、少々ぎこちないところもありましたが、お楽しみコーナーでは、たいへん盛り上りました。特に「世界のあいさつ」ゲームは、ブラウニー、ジュニア、リーダーも大喜びで、ふだんは会う機会の少ないシニア、レンジヤーのお姉さんたちのリードに目を輝かせていました。



ワールドシンキングデー（国際友愛日）

シンキングデーはガールスカウト運動の創始者、ベーデン・ポウエルゴ夫妻の誕生日である 2 月 22 日を記念して、全世界のスカウトがあ互いを思いやる日として創られたプログラムです。

世界中の他の地域にいる仲間のことについて学び、考え、平和と相互理解を深めます。
2000 年から「ワールドシンキングデー」と呼ぶことが決まりました。



第 6 団 下吉田コミュニティセンター

「みんなが楽しい時、幸せな時はどんな時？」の問いかけにブラウニー、ジュニアは元気に手を上げ発表しました。「ある日突然、災害にあった人たちはどうかな？」の問には、先日の韓国の地下鉄災害のニュースで流れる映像を思い出したのか、とても真剣な顔をしていました。

シニア、レンジヤーによる国名、国旗、挨拶をあてるワールドクイズもしました。

愛の暖かさ、神を愛する心、国を愛する愛、お互いを愛する心。私たち世界連盟の会員たちは、地球の方々に住んでいますが、この暖かい愛でお互いに手をつないでいるのです。

「Lady B-P 第20回世界会議メッセージ」

地雪の話

3種類の地図のレプリカを見たりさわつたり。地図のビデオでは本当の怖さを感じることができました。

日本、スイス、イギリス、メキシコ、インド、アメリカ、エジプトを廻る30分間世界一周ゲームをしました。

1回 甲府市北公民館



一泊二日のキャンプをかねて。
五感をふるに活用し、見て、触れて、
考えて、そして感動。
粉雪が舞う中のキャンドルファイヤー。
雪の中にキャンドルの炎がフワーッと
やさしく揺れていきました。

4回 多摩市立ハケ岳少年自然の家
(長野県)

ワールドセンター

「世界の国々を理解しよう」と
ブラウニー、ジュニアがワールドセンターのある4つの国を、シニアはケニアについて調べ、道しるべクイズにしました。

9回 葛嶺市民会館



海外派遣を 活かして

日本、ベトナム、デンマーク
イギリス、4カ国の各コーナーを、
派遣の時の写真や思い出の品々や、文化や食べ物で紹介と
ゲームをしました。

10回 鶴留市YJO会館

スカウトのメッセージ

スカウト一人一人が、みんなに知つて
もらいたいこんな思い、活動したいこ
とをメッセージに託し、
公民館に掲示しました。

12回 塩山市民文化会館



シンキングデーシンボルは、1975年に初めて取り入れられました。中央にある世界連盟三弁章は世界連盟を表し、それに向かっている矢印は、その方向を象徴しています。デザインが円を描いているのは、ガールガイド、ガールスカウト運動の世界を象徴しています。

お友だちも誘って

世界の制服ガールスカウトの制服の移り変わりを紹介し展示しました。
千代紙でおひな様を作ったり、大きなサイコロで国旗さがしゲームを楽しみました。

2回 甲府市総合市民会館



ワールドシンキングデー

今年度は、各団で行われました。

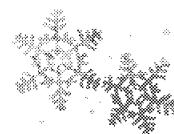
セレモニーやレクリエーションを通して、ガールスカウト運動についての理解を深め、友だちのこと、世界のこと、平和のことを考えました。たくさんの人々に知ってもらう工夫、参加している人が楽しめる工夫が、それぞれにされています。

老人との交流

お年寄りの方々と歌やゲームをして楽しくすごすことができました。食事や車イスの介助も、とてもよろこんでいただきました。

15団 特別養護老人ホーム

大月富士見苑

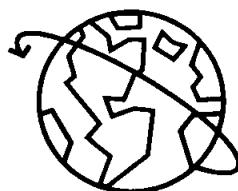


私たちの国

自分たちの住んでいる「日本」という国のこと考えてみる、お題は自由で俳句を作りみんなで鑑賞しました。

衣食住の体験は、お茶と和菓子のおやつで楽しみました。

18団 上野原町民会館



100人の世界が 村だったら

本を基に、地理的、人種的、宗教的、職業的などの数値的割合を予測してみました。

ピースクラフトの国旗を作成しました。

19団 石和町スコレーセンター

韓国について

甲府市在住の朴さんをお招きして、韓国料理（チヂミ）の作り方を教えてもらいました。

試食のあと、民族衣装にチマチョゴリを着せていただきました。

13団 甲府市東部市民センター

ホワイト シンキングデー

シンキングデーを多くの人に知ってもらおうと、地域の「歩こう会」との合同企画でスノーシューをはいて、すばらしい景色をながめながら雪道の散策をしました。

17団 高尾町大泉滑里スキー場



友だち、呼ぼう

準備に時間がかかりましたが、スカウトは、ドッジボール担当、クレープ作り担当、ファンド担当と、役割を分担して、取り組みました。友だちも大勢参加してくれました。

20団 長坂町中央公民館



プログラムいろいろ

甲府大好きまつり



10月12日(日) 国中地区スカウト、リーダー有志で甲府大好きまつり"音頭の部"に参加しました。

各団での練習は、わずか1回から2回、30人くらい集まればいいかなと、少し無謀ではありましたが、当日はなんと95名の大所帯になっていました。

シニア、レンジャーは、参加団体のプラカード係を担当し、ブラウニー、ジュニア、リーダーたちは"甲府大好き音頭"と"よっちゃんばれ踊り"の踊り手になりました。ブラウニーの可愛い姿に、周りから声援があがっていました。約50分間の自分たちの手で行ったPR活動に、みんなすがすがしい顔でした。来年はもっとしっかり練習して、また出たい…の声が印象的でした。

南関東地区UKデー

11月9日(土)

ガールスカウト会館(東京都)

イギリスのガールガイド招へい事業の一環として行われているUKデーに今年は初めての試みとして東京、神奈川、千葉、山梨の各支部が、クラフト、活動紹介、需品販売のブース参加をしました。2団の森川リーダーは、実行委員として企画、実施という立場で事業に携わりました。



また当日参加した4団、10団のスカウトたちもブースのお手伝いとプログラムに、しばしの国際交流を楽しみました。

今回東京を中心にUKガイドを受け入れることとなり、東京在住の私が実行委員をさせていただきました。ガールスカウト会館やオリンピックセンターを使っての会議が多くなったため、私にとって活動しやすく、山梨以外でもガールスカウト活動を経験できたことを嬉しく思っています。



2団 リーダー 森川佳内里

南関東地区指導者研修会

10月26(土)~27日(日) 川崎市青少年の家
(神奈川県)

"意気込み"と
いう"実"をつけました。



テーマ「あなたは何をしますか パートII」
-大人として、個人として、
自分自身の役立ちを考える-

<1日目>

見学・体験

①川崎市平和会館

ミニセミナー(平和について考える)

②古い民家と生活を知る(日本民家園)

③伝統工芸(葛糸)

④西本太郎美術館

エンジョイタイム

情報交換・この指とまれ・各県グッズ販売

<2日目>

・役立つ人をめざしての企画発表

・各県活動紹介

10団 リーダー 小俣節子

一日目は、4つのコースから興味のある分野を選択し、見学、鑑賞し、話し合いを行い、各自の企画書を作成しました。この指とまれのコーナーには、2団の平井リーダーがお手製の布絵本を出展し、作り方の指導もしてくれました。各支部のリーダー方に好評でした。二日目は、前日の各自の企画書を発表し、体験がどのように役立ちに結びついているかをふりかえりました。また、個人や団、地区などが、主体的にやっている活動発表も行われました。

来年度は、山梨県支部が開催となるため、神奈川県から小野支部長にバトンがタッチされました。



支部ガールスカウト

『ふれあいの日』



12月21日（土）県民情報プラザ1階で『ふれあいの日』を行いました。クリスマス用クラフトの折り紙で作るサンタとブーツ、モールのリースプローチを準備し、訪れてくれる人たちを待ちました。外は、朝から雨模様で冷え込んでいて、昼近くなるにつれ、雨が雪に変わってきました。あいにくのお天気で、人手はまばらでしたが、参加、協力してくれた1団、2団、4団、9団、12団、19団のスカウトのみなさん、ありがとうございました。



支部指導者研修会

2月2日（日）県立青少年会館

単元III-A-4創始者ご夫妻について（山田幸子トレイナー）

単元IV-C-9論問題（書記 菊島喜久江・庶務 委員長 山県洋子）

シンキングデーも近いこの日、午前中の研修では、『創始者ご夫妻の足跡を訪ねて』という内容で、ガールスカウト発祥の地イギリスから、ご夫妻の安息の地ケニアまでの道のりを、たどりました。ガールスカウトの歴史の真っ只中にいるという実感と、ご夫妻の思いを、つなげていく自分たちの責任を感じました。

午後は平成14年度『ガールスカウト活動の運営にかかわる成人のための研修会』を受けての相互研修でした。これは平成13年度から「ACTION！～問題解決のための行動を起こそう！」をテーマに掲げ、会員増強のための3ヵ年事業として日本連盟が行っている、今年は2年目の継続研修です。昨年度の、各支部、各団が抱える問題をなぜ、なぜ、なぜをしっかり分析し事業を企画する。これをもとに今年度は、適切に自己評価する必要性を考え、アクションプランをとおして、目標値を設定し、実施するという研修で、参加リーダーたちは実際のアクションプラン作成に取り組みました。15年度は、少女会員増加に結びつくアクションを実施し、目標の増加につながったかどうかの評価をします。

各団では、どのようなアクションプランが作成され、どのように実施されていくでしょうか。

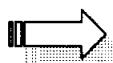


さあ！新プログラムスタート

平成15年4月より新プログラムが完全実施となりました。

各団ではスムーズにプログラムがスタートできたでしょうか。新しい教科書を開くときのあのトキメキが、スカウトにもリーダーにも保護者にも欲しいですね。みなさんはそんなトキメキを持たれましたか？

教材はそろったでしょうか



こんな教材を、こんな風に活用してください。

入会準備

ガールスカウトになる前に、少女とリーダーが話し合いながらガールスカウトとは何をするところなのかななどを、初步的な知識に触れるなどを大切にしていきます。
きっかけは、さまざまでも、自分で選んで、スカウトになった自覚を培って欲しい。今までの入門コースのように各部門ごとに実施しません。初めてガールスカウトに飛び込んだ部門の一度だけ行います。

ガールスカウトの基礎

「ガールスカウト運動の歴史」「ワールドセンター」「サイン」など、ガールスカウトとして知りたい基本的な知識や技能や活動を進めるのに役立つ内容が掲載されており、ブラウニーからスキップまで使用します。

バッジブック

ガールスカウトバッジブックと各部門バッジブックが1冊になっています。試行用教材では分冊になっていましたが、別々に考えないように1冊になりました。活動の手掛けかりを知って、記録するため使うものと考えてください。リーダーが引っ張って同じ歩みをするためのものではなく、スカウトが主体的に課題を選んで取り組む、きっかけ作りのものです。スカウトがやりたい活動をして、その結果、どのバッジにつなげようというような使い方でどうでしょうか。自分で集めた資料、作品、記録などをファイリングし、やがて、それぞれのガールスカウト史になるようにして欲しいと思います。

バッジチャレンジは？



やくそくとおきて

	育成目標（活動目標）	活動内容		
レンジャー	責任ある立場で自分を生かす	入会準備	バガジルスカウト	レンジャーバッジ
シニア	体験を通して自分を見出す		部	シニアバッジ
ジュニア	仲間と協力する		バ	ジュニアバッジ
ブラウニー	自分を表現する		ツ	ブラウニーバッジ
テンダーフット	豊かな感性を持つ		テンダーフット	テンダーフット部門プログラム

ガールスカウトバッジとは

「やくそくとおきて」をスカウトの日常生活に生かすものとするため、それが自分の「やくそくとおきて」として、とらえる機会にして欲しいと思います。従来は日常生活の中の自分の行動と結びつけていくこととしていましたが、「やくそくとおきて」の言葉の意味が伝わっていない状態であることから、ガールスカウトバッジが設定されました。このプログラムは、必修です。

1. ガールスカウトとしての自覚を持つ。
2. ガールスカウト運動の本質について理解を深め、精神的に成長する。
3. ガールスカウトとしての知識を深め、技術的に向上する。

年間を通して「やくそくをおきて」の理解と実践。

基本的に身につけて欲しい技術（①救急法 ②道具 ③ロープワーク ④測定法 ⑤レクリエーション ⑥ソング⑦旗）を活動の中に取り入れ、部門にあったレベルで、しっかり身につけ、1年に1つのガールスカウトバッジにつながるよう、新たに設けられたバッジです。

部門バッジ

プラウニー 年間を通じて実践する10項目を「プラウニー10のチャレンジ」と呼んでいます。テーマをバッジブックの中から選び、パトロールや部門で、どんな活動をするか話し合いで決めたり、挑戦したい具体的な提案や活動がどのチャレンジにあてはまるか考え、スカウト自らがバッジの申請をリーダーに行います。リーダーが決めつけてしまうものではありません。

ジュニア この年代で取り組んで欲しいテーマを課題とし「ジュニア20のバッジ」として設定されました。パトロールは、部門ではどんな活動がしたいか、パトロールではどんな活動がしたいかを話し合い、挑戦したいバッジを選んだり、実施した活動がどのバッジにつながっているか話し合いながら、年間であまり多くのものに挑戦するのではなく、じっくりと取り組むように心掛けて欲しいと思います。
活動は「計画」「調査」「体験」「わかちあい」「人への役立ち」「ふりかえり」というプロセスで進めてください。そして、ひとりひとりのスカウトが活動を認識した中で、バッジの申請をリーダーに提出できるよう支援してください。

シニア シニアプロジェクトとして、同じ関心を持ったスカウトが集まり、1つのパトロールで、また部門全体で、また支部や地域で、または一人で等々、シニア自身が自発的に行う活動を「シニアプロジェクト」と呼び、結果より過程を大切にし、16の活動分野から自分でプロジェクトを組みます。企画立案し、準備を十分に行い、実施した後、活動の評価を行います。一連の活動状況とシニアを取り巻く現状から、たくさんのバッジ取得を目指さず、部活動やお稽古事等も活動と考え、じっくりと責任を持って取り組むよう支援しましょう。

レンジャー これまでの活動を通して身についたことを生かし、「地域社会への役立つ活動」に結びつけましょう。必ず地域社会への役立ちが組み込まれた活動であるよう配慮しましょう。レンジャーの8つの活動分野から、興味のあることを自分自身で決め、レンジャープロジェクトとして楽しく実施しましょう。

支援と参画



「支援」という言葉に戸惑っていませんか。「指導」では駄目という考え方が、頭のすみっこにありませんか。リーダーは指導者です。今までの方法がいけないのでなくて、指導法の中に「支援」という方法もあるのだと思ってください。リーダーがすべて決定してしまう方法ではなく、スカウト一人一人がどのようにしたいか、どんなふうに考えているかしっかりと聞き取り、方向を見いだして欲しいと思います。「待つこと」「見守ること」これから指導者はこの二点に力を入れて欲しいと思います。でも、現場のスカウトたちは、なかなか自己の考えを発してくれません。家庭、地域、学校で、長い年月「指示待ち」傾向で暮らしていました。急に「自ら考え行動せよ」と言われてもどうしていいか分からなくなるでしょう。だからといって、指導者が答えを出してしまうと、スカウト育てはできないと思います。リーダーとスカウトが一緒に計画し、実行していく「参画」の姿勢を大変でも作り上げていきましょう。

「参画」とは、自ら計画から参加することで、呼びかけられたものに出席することとは違います。参画することには責任が伴います。責任を自覚できるスカウト育てが社会の担い手になることにつながると思います。それぞれの課題を見つけて、参画する体験が、社会への役立ちにつながる、スカウト育てになります。リーダーは、その点を認識し、個々を生かせる「支援」を創意工夫しましょう。創意工夫の成果を、支部にお寄せください。すばらしい成果を待っています。

☆☆☆委員会だより☆☆☆

財務委員会

■平成14年度バザー売上報告
(H14.11.10 甲府市・リバース和田)
559,828円でした。

ご協力ありがとうございました。

■支部需品新製品のお知らせ

クリアファイル 60円

おみやげ

ごほうびにいかがですか。

庶務委員会

■「戸隠グッズ」

みずばしょうピン 190円

きのこピン 190円

パンダナ・花柄 380円

ミニタオル・おせんたく 290円

ボールペン・ひも付き 380円

ポストカード・ミミちゃん 50円

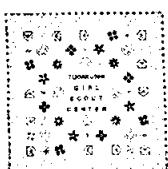
■新教材

「ガールスカウト活動の基礎」

「バッジブック」各部門

ガールスカウト入会準備

支部で注文をお受けしています。



パンダナ 花柄

淡い水色が

爽やかなパンダナです。



緑の基金、160,000円をお届けしました。



シンキングデーの時に、
集会場としてお借りして
いる、甲府市総合市民会
館の庭に、スカウトの可
愛い手にちなみ「もみじ」
を植えました。大きくなつ
ていくのを見るのが楽し
みです。

第2回

ふくろう通信

ユニセフ募金 350,534円

国際友愛基金 73,473円

ピースパック 57箱 (285袋)

靴 6箱 (110足)

ボール 1箱 (12個)

お知らせ

第28回定期総会

日時／平成15年5月17日

場所／甲府市川田町

県立青少年会館



スコーン（イギリスのお菓子）

小麦粉と、卵とバターちょっとまぜて
手のひらに、魔法のお粉ちょっとつけて
アラカタラ できあがり

材料（12個分）

薄力粉	500g	ベーキングパウダー	小さじ2
塩	少々	バター	200g
卵	2個	砂糖	50g
		牛乳	大さじ4
ハンドゲーム2,3種類			

作り方

- ①粉とベーキングパウダーをふるい、砂糖と塩を混ぜる。
冷たいバターを指でつぶしながら加え、さらさらの状態にする。
- ②卵を割り入れ、少しづつ混ぜ合わせ、牛乳を回し入れ、生地にまとめ、20分ねかせる。
- ③生地がお昼寝をしている間は、ハンドゲームで楽しみます。
- ④生地が目をさましたら、12個に分け、手に粉をつけながら丸め、180度のオーブンで約分焼く。
*焼き上がるまでは、つかった道具を
おかたづけ、おかたづけ。
- ⑤温かいうちに、ハチミツ、ジャム、ホイップクリームなどで、いただきます。

山梨県支部会員数

	少女会員	成人会員	合	計
H14.4.1	367名	339名	706名	
H15.4.1	384名	332名	716名	

登録時会員、増加しています。
少女会員+17名でスタートです！

編 集 後 記

大雪、どか雪が多かった今年の冬。

やむなく延期になったプログラムや支障をきたしたプログラム。広報委員会のバイタリティーも天気には勝てず、発行が大きく遅れてしまい申し訳ありませんでした。

広報委員会



又都彌

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部

〒400-0811
山梨県甲府市川田町 506
山梨県立青少年センター内
TEL.FAX.

055-228-6637

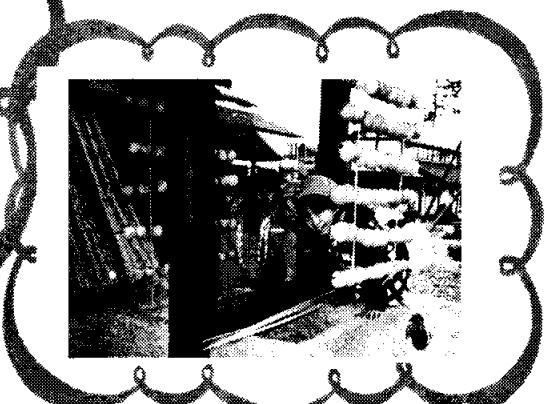
E-mail : gs-ymsi@eps1.comlink.ne.jp
<http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymsi/>



こどもラリー 10.19

発見・・・はつけれ
調和・・・ちようわ
願い・・・ねがい

ジュニアのつどい 11.15



ワールドシンキングデー 2.21



リーダースクラブ 11.24



人間としての自分には、根がついて動けない樹木や限られた力しか持たない動物よりも、もっと何かが……ただ日なたぼっこを楽しむことよりも、もっと何かを求められているのだ、ということに思い至らなければならない。

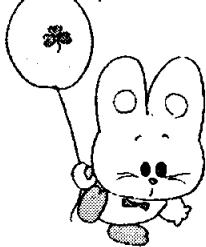
「B-P の言葉」

森の国



新聞のイベント欄を見て参加しました。楽しめて子供たちはよろこんでいました。また参加したいと思いまます。

ガールスカウトのお友達からイベントのあたまいをもらっての参加。外でのイベントを見て入団させたくないと思いました。



ふしぎの国へ遊びにゆく♪♪♪ シビカラのつむ小瀬

10月19日、秋風と紅葉の甲府市小瀬スポーツ公園に、ガールスカウトの“ふしぎの国”出現。

趣向をこらした各団のブースはシニア・レンジャー・リーダーが運営。ブラウニー・ジュニアのスカウトたちがクラフトやゲームにチャレンジしました。

また、支部では会員増強のためのアクションプラン実践の場として取り組み、一般の子どもたち99名にスカウト活動を紹介しました。



トランプと毛糸でお守りを作った。三つ編みがおさかしかけたのがしがった。

水の国

- * アリスのぼうけん
- * 宝物の小川
- * アリスのお守り

虹の国

- * 大きなシャボン玉
- * ハンドゲーム
- * I Y E O (山梨県国際交流機構)の外国の文化にふれるコーナーもありました。



風の国

- * わのトリック
- * ゆかいなコップくん
- * デッショバーティー

大きいあさらをまわしました。はじめてだけと上手にできました。たのしがったです。



光の国

- * うさぎのお茶会
- * シャボン玉まわそう
- * ぴょんぴょんぴょん



3人でゴム飛びしたよ。ゆっくりだつたけた。うまく(?)できた! ちょっとゴムがくつこんでいたけた。おれとかできただよ!

プログラム：

- *朗読劇 地人会上演台本
『この子たちの夏ー 1945・ヒロシマ ナガサキ』より
- *シンキングデーファンド
- *文学館ウォッキング
- *スカウト実行委員によるセレモニー
『もし世界が100人の村だったら』
シンキングデーキズ
山梨県支部歌発表
海外派遣報告



干し飯（ほしいい）をたべてみた…。

- ・ちょっとなめていたら、味がでてきた。
- ・戦争中はあんなものしか食べないと
思うと今の私たちは幸福だと思う。

午後の部は、スカウト実行委員が担当し、63億人が暮らしている世界を100人の村にたとえた『もし世界が100人の村だったら』を手作りスライドで上演し、今の世界情勢をわかりやすく伝え、心の目を使って100人の村人の暮らしを想像しながら、どうしたらみんなが幸せになれるかを考えた。また、シンキングデーキズと海外派遣スライドでは、日頃のスカウト活動が発揮された。

- ・クイズは全部まちがえだけど、楽しかったよ。
- ・メキシコの言葉 オラ！（あいさつの言葉）と
トイレに紙を流さないというのがおもしろかった。
- ・100人の村でも、死にそうな人があんなにたくさんいてショックだった。

実行委員をしてみた…。

ほとんどが実行委員をするのは初めてということもあり、始めは意見を出しあうことにとまどっていました。しかし、何回かの実行委員会で不安も消え、自分たちで作り上げていくことの楽しさ、そして大切さを知ることができたと思います。協力して作り上げることやテーマや内容を決めるなど大変さも知りました。しかし、この体験を通し、実行委員同士の絆も深まりました。これからもっと経験を積み重ね、また是非実行委員をやりたいと思いました。

スカウト実行委員 菊嶋麻美(19団Rr.) 青柳まゆ(4団Sr.) 玉島恵子(4団Sr.)
秋本永巳(2団Sr.) 清水美加(2団Sr.)



テーマ
心で見なくっちゃ！

平成16年2月21日(土)

会場：山梨県立文学館

午前の部は、演劇制作体「地人会」の主宰者である、演出家木村光一氏が、多数の書物、資料をもとに現実の被爆体験の手記、詩歌を構成して作られた「朗読劇」を実行委員のリーダー・S C A P Pが演じた。普段の生活からは想像もつかないような59年前の壮絶な状況にそれぞれの年代なりの、平和の大切さを感じとった。

朗読劇をみた…。

ブラウニーは…

- ・かわいそうで、いきが苦しかった。

- ・こわかった。

- ・あの写真の子どもたちは死んだんだね？

- ・あの後、図書館で原爆の本を借りて読んだ。(12団)



ジュニアは…

- ・もし、私が戦争中の広島に生まれていたら、死んじゃっていたかもしれない。今の平和な時代に生まれてよかった。(6団)

シニアは…

- ・同じ団のリーダーが、演じていたことに感動した。(13団)

レンジャーは…

- ・さっきまで元気だった人が原爆にあとには誰だったかすら、人だったことすらわからないような状態になってしまう。本当に戦争はあってはならないと改めて思った。(19団)



100人の村にたとえると52人が女性で48人が男性です。

2) 与えられた条件の中で自分が取り組んでみたいと思ったものあげてみよう (思い)
その理由を考えてみよう。

★「
★ 理由

シニア・レンジャーは思いを企画につなげ、課題を見いだすためのワークシートを事前に作成しました。

-P2-



企画書が出来上がるまでじっくり待てましたか?



シニア・レンジ

11月15日、名所旧跡宝庫・塩山市をシニア・レンジャーは、何を目的にどう歩くか(実行・ふりかえり)、ジュニアは、パトロールシステムの実践はどのように支援するかというそれぞれの目標を持ち、甘草屋敷(かんぞうやしき)を拠点にして行いました。



リーダーが
パトロールリーダーになつていませんか?



行き先は
たくさんあるん
じゃない?



この1年

新プログラムがスタートして、リーダーたちはどのように行動したでしょうか。ある団ではスカウトにわかりやすく補助教材を作成して、ある団ではスカウトの声を充分聞く努力に力を入れと、団それぞれ何らかの形でアクションを起こしてきたと思います。その結果、なんとなく見えてきたものは、指導者のレベルアップの必要性ではないでしょうか。でも忙しすぎてこれ以上学びや工夫に時間が避けれないと悩んでいるリーダーも多いと思われますが、もう一步踏み込める余裕はあるのではないかでしょうか、ふりかえりましょう。

新プログラムその後

そして見えてきたもの

ジュニアのつどいの実践を通してリーダーたちの行動を見るにつけ、新しく資格を取ったリーダーは、新プログラムのねらいを理解している人が多く、支援・指導の違いやスカウト主体という意味を理解している動きが見えますが、以前に資格を取得したリーダーには戸惑いが目立つて見えてきました。長い年月活動をしているリーダーには思考の切り替えが必要を感じられました。



ヤーのつどい ニアのつどい

(企画) に
リーダー^{うやしき}



地元の人も強い味方



リーダーも楽しめる
スカウティングは
スカウトにも伝わるはず

の巻にしてみたら？

門リーダーが集会計画を立てる時、必ずスカウト話し合いましょう。そして集会計画は、固定的なのにせず毎回の集会の続きとして、集会に何をするかスカウトの希望を聞いてリーダーは計画を変更していく必要があるのではないかしら。

バッジブックを教科書のように使うのではなく、折りたたんで開いて、自分たちで何ができるか記入する習慣を身につけさせる。中には、書くことが苦手なスカウトもいるのでそのようなスカウトの場合にリーダーがうまくアドバイスしてあげる。そうすればリーダーも楽にバッジの申請ができるのではないか。10月と3月、年2回の申チャンスは10月に一度申請することでリーダーの反省材料になり、バッジ取得のまとめもスムーズになるのではないでしょうか。

SCAPPによる新しい取り組み ゆかたの着付け教室(第6回)

SCAPP 3名・リーダー 3名・運営委員 5名
シニア 4名・レンジャー 3名 参加

SCAPP・運営委員の中で、着付けの得意な人たちの指導のもと、みんなで持ち寄ったゆかたを着ていきました。

えもんのぬき方、おはしよりの丈、上前など、コツを教えてもらいながら、いよいよ帯結びです。

最初は前にかわいい文庫結びをつくってもらい、背中へまわすと出来上がりです。次は各自一人で挑戦です。

腰ひもの位置は、えりの上前と合っている? 帯のしめ具合はどう?など互いにながめあって、シニアもレンジャーもとても上手にひとりで着ることができました。最期に、ゆかたをたたむこともしました。

考えてみたら、とても理にかなっているたたみ方で、日本の文化にふれたひとときでした。

スカウトのひいがえり

レンジャー

- ・きょうはゆかたの着付けをおぼえることができてよかったです。メキシコではきれいなおゆかた姿をみせてきたいと思いました。
- ・着付けを覚えて感動しました。

シニア

- ・今まではゆかたをお母さんに着せてもらっていたけれど、これからは自分で着たいと思います。



夏が楽しみ・・・。

思考錯誤しましょう

一人で悩まないで、悩んでいることを仲間に伝えよう。そぞろにいろいろやってみましょう。きっと光が見えてくるはずです。リーダー活動を仲間とともに楽しむことが、スカウティング全般にプラスになる秘訣です。失敗を恐れずチャレンジ、ふりかえってまたチャレンジの精神でリーダーがいきいき楽しんでいる姿はスカウトを引きつけるはずです。

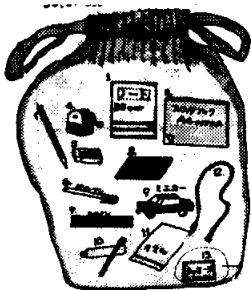
今よりも一步踏み込みましょう。

15年度でいったん休止になりますが、アンケートでは続けてほしいという声が多いようです。

日本連盟では、別な形での取り組みを考えています。

6年度	49箱	294袋
7年度	75箱	450袋
8年度	80箱	480袋
9年度	93箱	465袋
10年度	92箱	460袋
11年度	90箱	450袋
12年度	82箱	410袋
13年度	65箱	325袋
14年度	57箱	285袋
15年度	65箱	325袋
合計で	748箱	3944袋

平和の小包・ピースパック



現在の中身はこのようなものでした。

はじめの中身
ノート 鉛筆2本 ボールペン2本
色鉛筆またはクレヨンセット1箱
鉛筆削り1個 消しゴム1個
定期1本 替ブラシ1本
巻き糸1本 石鹼1個
日の丸いクシ1本
(ハイリックス2組) バンツ
Tシャツ1枚 おもちゃ メッセージ

9年度から1箱が少ないと
それ以前は1箱に6箱入れて
いました。10年度からは5箱・ボ
ーも送りました。

10年間で山梨県支部か
ら 3944人のアフガン
難民のこどもたちの
手に届けられた
ことになりますね。

ノート4冊
スケッチブック2冊
鉛筆6本 消しゴム2個
鉛筆削り1個 定規1本
ボールペン2本
色鉛筆またはクレヨン1箱
日の丸いクシ1台
替ブラシ1本 巾着袋1本
洗面タオル2本
おわんび1本 メッセージ

15年度には、春口ケイコ様
岩崎様よりピースパック。
タイムタイム俱乐部様が
ピースパック募金に協力し
てくださいました。

子ども森ヶ崎見学デーに行ってきました

わたしは、八月二十日「かすみがせき見学デー」に参加し、文部科学大臣にあうことができました。人数のかんけいで、子供だけで文部科学大臣室に入ることになり、おかあさんたちは、がっかりしていました。大臣室に行く廊下には、真っ赤なじゅうたんがしきつめられ、黒いとびらが開くと遠山文部科学大臣が、笑顔でむかえてくれました。大臣はとてもやさしくて、きれいな人でした。

今年で、今の文部科学省は、とりこわされて新しく文部科学ビルに立て直されるそうです。さい後に見学ができて、わたしはとてもよかったです。

ブラウニー 武藤芽衣



8月21日に、文部科学しょうの、子供かすみがせき見学デーに行ってきました。

ミッキーマウス、ミニーマウスにあつたり、いろいろな県の子供たちが、昔からあるおまつりを表現して、たいこや、おどりなどを見て見せてくれました。自分たちで、体けんするコーナーがあって、あさらに絵をかいたり、南きよくのクイズにちょうどせんしたり、エッキーのおもちゃであそんだり、作りかたをおしえてもらったりしました。ボーズカウトの体けんコーナーもあり、ロープのしばり方やパソコンをつかったゲームなどをしました。

ミッキーやミニーに会えたこともうれしかったけれども、いろいろな県の昔からあるおまつりが、わかい人たちにつたえられていてほしいと思いました。

ブラウニー 小林千紗





SCAPP・運営員の
みなさんも
がんばっています。

組織委員会発



団委員長交流会も三年目を向かえようとしています。年三回の交流会は、みんな地域でも多方面で活躍されている元気で明るい団委員長さんばかり。出席率百パーセントを目指し、やりくりして参加しています。

お互いの団事情をざっくばらんに本音トーク。時には団同士の小グループの交流会に発展したり、情報交換したり、スキル提供したりと、活発に交流会が進められてきました。

特に各団『会員増』には、様々な課題や悩みがあり、この事では共通の関心事として、団委員長より意見が多く飛びかいました。それぞれ参考にして、すぐ団に持ち帰り実践している団もあると聞きました。このように戦陣をきって行動されている団委員長さんの日々のパワーの源はどこからくるのでしょうか。健康で元気な考え方、良策を生むと期待しています。そして、様々な場面でわたしたちが影響しあう事は、団委員ネットワークづくりを更に深めるものもあります。

今後もガールスカウトの目指す理念を活動の趣旨を中心において交流会が、あらゆる吸引力になる会として応援しています。



エコキャンドルを作りました



富士河口湖町の「富士山ウイーク」で使う「エコキャンドル」を作るボランティアに、町内で水の環境について考える活動をしているNPO法人フィールズに行ってきました。エコキャンドルは廃食油（天ぷらやフライなどに使った後の油）を使ってつくるろうそくです。

1回目、ろうの種類や起源、500mlのてんぷら油を排水口に直接流してしまったら、魚が住める状態に戻すためには、風呂桶330杯分もの水が必要になることなどを勉強後、芯を切ったり、ろうを流し込むグラスをみがいたりしました。

2回目は、キャンドル作りです。町内のホテルから集められた廃食油をコンロで熱し、ひまし粉（市販の凝固剤で大丈夫）を入れてよくかきませ、さめないうちにグラスに注ぎ、固まつたら芯を入れて出来上がりです。湖水から吹き上げてくる冷たい風にもめげず、楽しく作ることが出来ました。

3回目（この日は夕方から）、いよいよ、キャンドルの設置、点火です。

湖畔沿いの遊歩道にゆれるろうそくの灯「なんか、すごくやさしいね。」スカウトの一言が印象的でした。

「今年のキャンプで作りたいね。」このスカウトはフライアップまちがいなし！リーダーの心にしみる一言でした。

リーダー 渡辺とし江

自分たちの趣味を活かしあつ楽しみながらガールスカウト活動を行うことが、地域への役立ちにつながればと思い、月1回中心に"布カレンダー"を作っています。一作目は、昨年12月育精学園にプレゼントしました。また、団プラウニースカウトに布絵本を作り、バースデープレゼントとしています。いっしょに楽しみませんか!!



2団 SCAPP
「布絵本」の会
が作成しました。

パワー全開
団委員長ここにあり！



☆☆☆委員会だより☆☆☆

財務委員会

■平成15年度バザー売上報告

(H15.11.30 甲府市・リバース和戸)

340,445円でした。ご協力ありがとうございました。

■アルファ米（尾西食品）の注文は支部で常時受けています。売上の一一部は支部に還元されます。

教育活動委員会

■「ふれあいの日実行委員会」の名称が変わりました。



新しい名前は『フレンズ』です。
ぴゅあフェスタ担当スカウトより
バザー売上
(郡内地区) 18,350円
(国中地区) 41,150円でした。
ネパール学校建設活動担当スカウトへ
計59,500円を引き継ぎました。

広報委員会

■平成15年5月、ホームページを開設し、間もなく一年です。[委員会からのお知らせ]のページでは、スカウト、リーダー、SCAPP、運営員の方に関わる情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/>

15年度・緑の募金
各団からの募金合計 140,210円を
10月9日県庁・緑化推進機構へ届けました。

世界連盟加盟数	144ヶ国
世界連盟会員数	1000万人(2002.3現在)
日本連盟会員数	1472ヶ団
少女	35537人
成人	27768人(2003.3.31現在)
山梨県支部会員数	14ヶ団
少女	425人 成人 335人 (2004.3.31現在)

ふくろう通信 15年度

ユニセフ募金	291,897円
国際友愛募金	65,000円
ピースパック	65箱 靴 9箱
ピースパック募金	20,000円

お知らせ

第29回定期総会

平成16年5月15日

甲府市川田町

青少年センター

知事と明日を語る
青年のつどい

平成16年3月29日

午後6時から

ベルクラシック



かんたんキレイ ☆☆ ピースリング

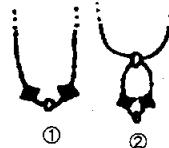
【用意するもの】

そろばん型ビーズ 8コ
丸小ビーズ たくさん
テグス 80cmくらい

【作り方】



①丸小ビーズをテグスに入れ、
左右に1コずつ、そろばん型
ビーズを入れる。



②右にテグスに丸小ビーズを1コ
入れて、左のテグスに通して交互
させる。



③①と②の作業を3回くりかえす。

④右と左のテグスに丸小ビーズを6コ
ずつ入れる。もう1コ丸小ビーズを
入れてテグスを交差する。
これをくりかえして自分の指の太さ
になるようにする。いちばん最後は
丸小ビーズを交互しないでおく。
⑤自分の指の太さになった④のはしを
①の丸小ビーズに交互させ、つなげ
る。



⑥あまっているテグスを
しっかりと本結びして、
のこりを切ったらできあがり！！



編集後記

広報委員の任を受けて一番の問題は、支部便りに載せられるような、使い物になる写真を撮る事。「ハイツ、チーズ」と、普段ポーズをとっていい写真しか撮っていない私には、動きのある、表情のある写真は、それは、それは難しいものでした。みなさんが何気なく見ている写真にも、以外な苦労が隠されていること、ご存知でしたか？

そして、これは！！という写真が撮れた時には、どしどしあ広報までお寄せ下さい。（小林）





支都より

社団法人 ガールスカウト日本連盟
山梨県支部
〒400-0811
山梨県甲府市川田町506
山梨県立青少年センター内
TEL.FAX.
055-228-6637
E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp
<http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/>



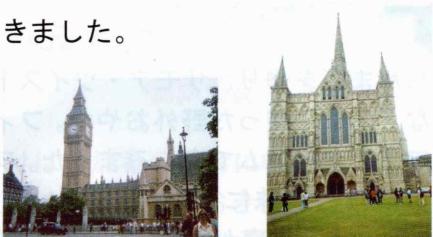
支部海外派遣

ー港町プールにてー

名物の「フィッシュ&チップス」を食べました。揚げた魚丸ごと一匹と、フライドポテト。ちょっと油っこいけど、おいしかったです！！

ーワインザー城にてー

黒い帽子をかぶった衛兵をバックにみんなで記念撮影。この時は、衛兵の行進も見ることができました。



ーブラウンシー島にてー

キャンプをした場所です。海が見える丘でとてもキレイでした。真ん中に写っているのはパックスロッジのアグネスさんです。とても陽気で楽しい人でした。



ウエストミンスター寺院にある、 ベーデンポウエルとオレブのレリーフ。



訓練はどこでも必要である。若いときには小さいことから実行することを学ぼう。そうすれば将来困難や、危険に出会っても対処できるようになるであろう。

「B-Pの言葉」

ガールスカウト子どもの居場所推進事業



文部科学省は、平成16年から3年間の予定で『地域子ども教室推進事業』を進めることを決定しました。山梨県社会教育振興会では、昭和町の教育委員会とプロジェクトを組み『子どもの居場所事業－昭和町ウイークエンドスクール』を始めました。ガールスカウト山梨県支部も加盟団体の一員として、7月に「親子救急法学習会」をボーイスカウトと一緒に、また9月には「野外料理教室」を独自で開催しました。日本連盟も文部科学省から直接委託を受け、支部でも8月から実施できる団が取り組んでいます。

昨今の社会状況の中で、私たちが行う居場所事業が、子どもたちが楽しく安心して活動できる拠点になり、地域に役立つことによってガールスカウト活動を知ってもらい、組織拡充につながればよいと思っています。

支部長 小野加代



ケガの手当、野外での対処法、便利なロープの使い方などの実践をおこないました。



カンガルートースト、ミニどら焼き、簡単ピザ、サモア、アイスクリームなどを紹介しました。

ウイークエンドスクール 昭和町



16年度山梨県支部で取り組んでいる23事業の中から、前半に行われたものをおこないます。

パスタを使った、黒猫のブローチ作りをしました。参加されたお母さんたちには、パスタという素材に驚き、こどもたちには可愛いと人気でした。参加者：こども44名 おとな22名

Let's Try “黒猫のブローチ”

用意するもの：リボン型のマカロニ2個（本体）
極細のパスタ（ヒゲ）カールマカロニ（しっぽ）
生の大豆1個（目・半分に切って使います）
* 黒の油性ペンキで色づけした材料を
木工用ボンドで貼り合わせてできあがり。



なにができるかな＊ 三島市



立ちかまどを作り、サモア・ツイストパン・焼き芋などの火を使った野外おやつ。フィルムケースのアイスクリームで楽しみました。フィルムケースの周りの塩味に、「しゃっぱいアイスクリーム！」という歓声があがりました。野外おやつの珍しさや楽しさが伝えられてよかったです。

参加者：こども22名 おとな16名

Let's Try “アイスクリーム”（フィルムケース6本分）

材料：牛乳50cc 生クリーム125cc 砂糖大さじ2
* 氷1kgに対し塩1/2カップの割合で入った発砲スチロールなどの箱に、材料を混ぜ分けたフィルムケースを入れ20分くらいゆする。

野外おやつキャンプクラフト 高根町





赤い小さい実は、
“ハナミヅキ”的
実だよ！



秋を楽しもっ！ 甲府市

公民館周辺の落ち葉や木の実をコルクボードに貼り付けタペストリーを作りました。
カルメ焼き・鈴カステラ・べっこうあめ・
ミニどら焼きで昔の駄菓子の味を楽しみました。
カルメ焼きがうまく膨らまず戦苦闘しましたが、味はまちがいなく懐かしい砂糖の焦げ味でした。中華鍋で作った石焼き芋をおみやげに参加者一同、五感で秋を満喫しました。

参加者 こども28名 おとな14名

伝統文化お茶会＊ 都留市

着付けは参加者の年令に幅をみて着物のサイズを豊富に取り揃えておきました。
本格的なお茶室でのお点前の体験ができたこともよかったです。俳句もすばらしい作品ができあがりました。

参加者：こども32名 おとな9名

— ガールスカウト子どもの居場所推進事業 —

秋を楽しもっ！

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、いろんな秋があるけれど…私たちと、こんな秋、楽しめませんか？

Part 1 落ち葉や木の実を使って“絵”をつくりましょう。

Part 2 昔なつかしい駄菓子をつくりましょう。

*参加費は無料です。
お父さん、お母さんと一緒にいつしょにあそびにきてください。

「日本传统文化にふれよう！」
新しくできた抹茶軒でお茶会やお手玉遊び体験しよう！

新規会員登録

PRも公民館、小学校、幼稚園などにチラシ配布を積極的に行い、活動の様子は地域の広報誌、新聞、有線テレビなどにも掲載されました。



甲府城謎解きめぐり 甲府市

シニア・レンジャーの集い、ジュニアの集いとして行いました。公園内13ヵ所のブースの企画・運営をシニア・レンジャーの実行委員が受け持ち、趣向を凝らして甲府城の秘密を伝え、課題を出しました。『穴太積み』『隠し井戸』などの言葉から昔の人の知恵や工夫を知ることができました。支部長、副支部長扮する水戸のご老公一行も登場し、地域の子どもたちも楽しんだ秋の一日でした。

参加者 181名

むかしむかしあつたとき 塩山市



Let's Try “甲州弁講座”

“ちょっとくらよってけじ”

(ちょっと寄っていかない?)

“なんちゅうかわいいボコたちずら”

(なんてかわいいおこさんたちでしょう)

“まっと勉強しろし”

(もっと勉強しなさい)

甲州弁のおもしろさと山梨の地名の由来の昔語りをしました。甲州弁の響きが子どもたちに楽しく伝わっていました。

参加者：こども20名 大人9名



17年度は
月1回各団の開会集会として行って
いく予定です。

派遣スカウト

輿石美里（1団）窪田美央（2団）杉田聖子（2団）
保坂直美（2団）小佐野李紗（3団）玉島恵子（4団）
大森陽南子（13団）

派遣リーダー

石原里美（1団）前田しおり（1団）丸山久美子（4団）
大澤瑞穂（4団）佐藤友理（10団）

帰国後のスカウトたちは、たまたま夏休みの宿題を汗だくで
づけ、9月5日、小野支部長、古屋・深沢両副支部長を交え
“ふりかえりの会”を持ちました。用意された紅茶とケーキ
を頬張りながら、パックスロッジのアフタヌーンティーの様
子を思い出していました。

派遣での体験話やエピソードを取材させていただきましたので、一部をご紹介します。



古屋 きょうは、反省会ということですので、しっかりふりかえりをしてください。
みんな言いたいこといっぱいありそうな顔してるよ。

石原 ではまず、印象に残った場所とかは？

保坂 楽しいって言うか、一番思い出に残っているのは、ブラウンジー島で、トイレがなによりも衝撃的で。あと、すぐ近くに野生のクジャクがいる。自然の中でキャンプしてると感じがしてよかったです。

小野 野生のクジャクがいたんだってね。

石原 クジャクの鳴き声で、朝起きるんですよ。（メーって）

窪田 すごかったよね。

石原 食事時になるとよってきてね。（爆笑！）

小佐野 そう、もう野生のクジャクで驚かないって自分がすごい。

窪田 結構、クジャクが普通にいる。そう、クジャクなんだよって感じで・・・。

丸山 ブラウンジー島で外に出て寝てるスカウトがいたよね。驚かなかった？

深沢 移動キャンプに慣れてるんだなって思ったけど。

石原 外国のスカウトたちは結構、どこでも寝れるんでしょうね。

輿石 星がキレイだったなんて、言ってたスカウトもいたよね。

石原 寒かった。寒くて死ぬかと思った。とにかく寒かった。劇見てた時も。

石原 ブラウンジー島で野外劇場があって見に行ったんですよ。でも難しかったよね、英語。

石原 事前準備、役にたった？どんなところが？

佐藤 これをしておいてよかったとか、これはやっておいてよかったとか。

名刺を作つていかなかつたので、コミュニケーションがとれなかつた。

山梨では、日本のバッジが、みんなかぶっちゃって・・・

石原 ほかに、何持って行った？

2団のバッジ。団からもらって。

巾着袋とか。100均で買って。好評だったよね。ハッピとかが以外と喜ばれた。

バッジとかが、好まれるかと思ったら、普通の日本の巾着とか。

ハッピとかが喜ばれたよね。

後輩に伝えたいことは？

寝袋の下に敷くシート持つて行かないと。銀色のやつ。

あれないと、寒くて眠れない。

銀色のマットも必要だし、私たちは普通のレジャーシートもなかつた。

あと洗濯ばさみ。

どんどん洗濯物増えていくから、ちゃんと袋に入れる。私みたいに、荷物ぬれることもあるからビニールの袋。

雨の対策だね。

英語は？

絶対したほうがいい。

ありがとうの言い方をいろいろ覚えておかないと、すっとサンキューになっちゃう。

しゃべる時、おおげさに言う。

向こうから言われた時、必ず返答。

日本人は、どういたしましてとかが、なかなか言えない。サンキューは言えてもね。でも、そのコミュニケーションが大事なんだよね。

8月1日（日）出発	甲
8月1日（日） ワインザー	ヒ～
8月2日（月） パックスロッジ	ウパ
8月3日（火） パックスロッジ	ロ
8月4日（水） ブラウンジー島	設パ
8月5日（木） ブラウンジー島	自イ
8月6日（金） ブラウンジー島	一ブ
8月7日（土） フォックスリース	徹フ
8月8日（日） フォックスリース	フリ
8月9日（月） フォックスリース	一ス
8月10日（火） パックスロッジ	パア
8月11日（水） パックスロッジ	ロ
8月12日（木） 自プログラム	ロ～
8月13日（金） 帰国	オ～
8月14日（土）	機

* ブラウンジー島
1907年にベーテンボウエル名。たくさんの野生生物・植物という花がきれいでした。私も光栄なことでした。

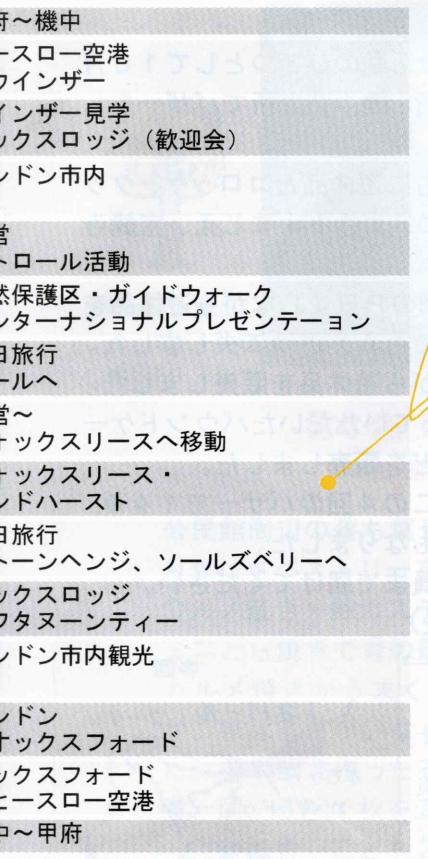
* フォックスリース
1824年、最初にワールドヨ
きれいで広々としていました。
しました。また、日曜日には参
たことが貴重な体験となりまし



* ウィンザー城
敷地、約5万3000平方メー
リザベス女王も、週末や休日は
とてもきれいなところでした。
できました。りりしく素敵でし

* ストーンヘンジ
大きな石は1個あたり50ト
あると言われています。実物
ることができ、感動しました。
大な土地にその大きな石だけ
まれているのは、本当に不思
光景でした。

外派遣報告 足跡を訪ねてへ



夫妻がキャンプを行った場所として有
で知られていて、行った時にもヘザー
ちにとってこの地を訪れられたことは

キャンプが行われた所。草原のようで、
カヤックやアーチェリーを楽しんだり
会に行き、礼拝に参加することができ
た。



トルの広大な石造りの城。現工
ここで過ごすことが多いという、
衛兵の交代の様子を見ることができ
た。



- | | |
|-----|--|
| 小佐野 | フォックスリースで、夜からすごい雨が降って、私は銀のマットを忘れてきたから、足元に荷物を置いてビニールシートの上にそのまま寝てて、朝起きたらテントから足が出てて、荷物はビショビショ。びっくりした。 |
| 石原 | りさちゃんは、最初の日から、テントから足出してた。(笑い！)
ほかにも3人くらい出てたけど・・・(一同大笑い！) |
| 丸山 | でも、みんなのテントはちゃんと閉めてよかったですけど、ほかのところは水びたりでした。 |
| 小野 | リーダーはリーダーのテントだったの？ |
| 丸山 | みんな一緒に。初めての経験でしたよね。スカウトと一緒に寝るの。 |
| 石原 | それに、テントの中に洗濯物干すんですよ。 |
| 玉島 | あれ、すごかった。 |
| 大澤 | みんな、こもってて。 |
| 丸山 | そこで、ファブリーズ持ってきたスカウトがいました、とても重宝しました。 |
| 窪田 | はーい。(手を上げた) |
| 小佐野 | あと、ショーウ。 |
| 玉島 | はーい。(手を上げた) |
| 小佐野 | ナイスタイミングだった。感謝してる。 |

- | | |
|-----|---|
| 石原 | 今回のセッションは、創始者の足跡を訪ねてだったけど、どうでした？足跡ちゃんとありました？前と後で何か変わったところ、ありますか？他の人は認めないにしても、私ここが変わったよ、っていう点。 |
| 窪田 | 何でも食べれる。 |
| 玉島 | トイレ、どこでも。(私も、私もって口々に) |
| 小佐野 | キャンプに慣れた。(慣れたよねとほぼ全員が) |
| 玉島 | 楽しかったよね。 |
| 窪田 | 英語が聞き取れる。行ったときより全然。 |
| 杉田 | ほとんど聞き取れるようになったから自信ついた。 |
| 石原 | 自分たちで調べながら準備して、 |
| 小佐野 | 本当に行けるのかなって思ったけど、以外にできるんだなって思った。 |
| 玉島 | 自分の団、支部とかで、これは絶対紹介したいことがありますか？ |
| 小野 | 知らない歌って結構多いよね。英語を見せてくてもメロディーが、今一わかつてないから歌えない。 |
| 玉島 | ご飯の歌、結構知ってた。でも知らない歌って多いよね。 |
| 小野 | プロジェクトに時間をとられて、なかなか歌わないけど、もっと集会でもうたっていいよね。 |
| 石原 | カナダのスカウト、ガールスカウトにプライドを持っていたよね。 |
| 佐藤 | 私は帰って来た日に豚汁が飲みたくなってコンビニに行ったんですよ。 |
| 小佐野 | 今までだったら制服で入りにくくなかったけど、今は制服でコンビニに入る。 |
| 小野 | 制服の重みを感じた。イギリスでも、一般では絶対入れない所にも入れたし、私は、ガールスカウトですって・・・。 |



引率リーダーとして得たもの

石原里美（副トレーナー）

平成16年8月1日から14日まで私は支部海外派遣の引率リーダーとしてイギリスに行ってきました。私自身も初めてのガールスカウトによる海外派遣でしたので、この大役を引き受ける時には多少の不安はありました。今となっては非常に良い機会を与えてもらつたと思っています。

参加者は、はじめの内はものの勝手が分からず消極的でした。しかしセッション中にキャンプや、新しい友人と協力することで相手を理解し、また自分のことも知って欲しい、みんなと仲良くなるにはどうしたらいいのか、ということを各自が考え、実行するようになってきました。イギリスという異文化の土地で、参加者たちの感性が日に日に鋭くなり、成長していくのを感じました。そして、パックスロッジを去る日は、新しい友人と離れるのが寂しくて、殆どの人が目を真っ赤にしていたのは忘れられません。

引率リーダーとして、苦労はありました。得られた素晴らしい経験は、苦労よりもはるかに大きいものだったと言えます。BPは、野外はスカウト活動の基本であると言っていましたが、その意味を体で理解した海外派遣でした。



フレンズ発

16年2月、
シニア・レンジャーの“ふれあいの日
実行委員会”が“フレンズ”に名称変更。
そして1年が経ちました。



ネパール学校建設活動

フレンズでは、ネパール学校建設活動のひとつとして10月から11月にかけて、郡内2カ所、国中2カ所でバザーをしました。

10月24日のピュア富士女性センターのバザーでは、おもに遊休品とコロッケ、クッキー、スイートポテト、赤飯を販売しました。食べ物は団のスカウトもまじえ、宝鏡寺（リーダー宅）に泊まり作りました。

10月30日は雨でしたが、富士北麓公園の野外でバザー。ネパール学校建設活動のPRをしながら遊休品を販売しました。事前に大きなパネルを作成してネパールにことをみんなに理解してもらえる様工夫しました。11月18日は山梨英和大学学園祭のバザーに参加。学校建設活動のPRをしながら遊休品を販売しました。11月28日は支部バザーの中で、遊休品のほかに、お母さんたちに協力して作っていただいたパウンドケーキや団のスカウトたちと作ったチョコ3種類、ヤングリーダー特製マドレーヌなどを販売しました。リーダーや保護者の方々、県内団各のスカウトたちが協力してくれたおかげで、この4回のバザーで140,670円を得ることができ、現在までのネパール募資金額は420,226円にもなりました。

また、書き損じハガキは、いつでも受け付けていますので、団フレンズ実行委員まで届けてください。

第10回レンジャー 青木優実（フレンズ実行委員会 委員長）

ネパールって、どんな国？

世界の屋根ヒマラヤ山脈。ヒマラヤはインド、ネパール、中国、パキスタンにまたがる大山脈です。そのほぼ真中に位置する小さな国ネパール。面積は日本の3分の1で北は中国、南はインドに国境を接した内陸の国です。8000メートルを越すヒマラヤ山脈は「世界の屋根」と呼ばれ神秘的な美しさです。しかし自然の豊かさとは反対にそこに住む人々の暮らしは決して裕福ではありません。約2300万人の国民の過半数が1日100円以下で生活を営み、学校に行けない子どもが60万人以上。特に女子は、家事を手伝いながら弟や妹の面倒をみて、畠仕事や家畜の世話をし、家計を支えています。



指導者委員会発

思春期の心と身体を考える～成人シンポジウム

レンジャー・シニア16名を含む、リーダー・SCAPP42名が参加して行われました。

一昨年の平成15年12月20日に青少年センター多目的ホールに於いて、山梨県立看護大学短期大学部『ピア・カウンセリングサークル』の学生さんたちによる、ピアカウンセリング講座『正しい性知識を持つ』という内容で行われました。

講座は、ゲームで参加者の緊張をほぐしてからスタート。体の仕組みや安易な性行為がどんなことにつながるかに焦点をあて、図や教材を使って進められました。男子学生により男性の性についてもオープンに語られ、避妊具の正しい使い方の教えてもらいました。

同サークル顧問の伏見正江助教授は、ピアカウンセリングの『ピア』は『仲間』の意味で、子どもたちが年令の近いピア（学生）に共感しながら学ぶ点に意義があると述べられました。

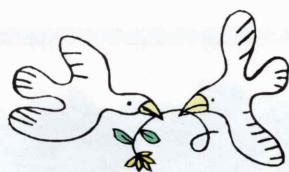
20歳未満の人工妊娠中絶や性感染症（STD）が増加する中、今までの教師や親による性を恥じとするような重苦しい性教育より、同じ視線で性についてオープンに語られ、正しい性知識を持つ、この活動の必要性、有意義性を感じました。

取材：第13回リーダー 石原順子（広報委員会）

* 今年度は、17年2月6日に少女たちの健康を考える（あなたの子どもは大丈夫？）

・・・健康な心身を育むためにというテーマで行われています。





第17回発

最優秀賞おめでとう

第17回シニア 桃井清花

第17回「国際交流・国際理解のための小中学生による作文コンクール」

中学生の部：応募総数21校、229点

最優秀賞1点 優秀6点 佳作14点の中の最優秀に選ばれました。

第15回発

中越地震災害救助募金活動

私は、去年の11月6日に、大月駅で新潟中越地震の募金あつめをしました。テレビを見たとき、始めて地震の大きさを知りました。

募金あつめのとき、いろんな人が募金をしてくれて、

うれしかったです。みんなが募金をしてくれて、重くなつた募金箱をみんなでこうたいでもち一時間ほど駅で立っていました。寒かったけど、新潟の人たちのためにみんなでがんばりました。今年も、人々のためになることをしていきたいです。

ジュニア 佐々木麻衣



大月市広報表紙に



第4回発

お米のこと、考えたよ！

賞品は米俵（？）…

国際米年を考える集会を団新年会として行いました。シニアが担当することになり、どうすれば米に興味がもてるようになるか、考えてみました。

最初に自分たちで米について調べてみると知らないことがたくさん出てきました。米どころで有名な新潟が北海道より生産高が少なかったり、米にはいくつもの種類があることなど。これをクイズ形式にすると面白いかも知れない。答えは模造紙に書きだすとわかりやすいことに気づき各々分担し、色とりどり楽しく作業が進みました。いつもは、静かなシニアたちに笑いと話し声が出て明るい“風”が流れ出したようでした。

当日は『田んぼのきもち』の絵本をスライドにして読み聞かせ、クイズ、創作お米ハンドゲーム。そして、お餅つきの体験。重たい杵を持ち上げるブラウニーやジュニアたちの可愛いですがた。つきたて餅をほおばり

米づくりの一 日でした。身近な米を見直し、米の様々な面をみることができ、新たな認識ができた機会を持てたと思います。

リーダー 関 敬子

第17回国際交流・国際理解のための作文コンクール・中学生の部で最優秀を受賞した

桃井 清花さん



ももい・さやかさん
小淵沢中1年。父と母、兄の4人暮らし。13歳。

募金活動を通じ国際協力

これまで作文賞をもらつたことはありませんので、とても嬉しいと喜びを語る。小学校一年生の時からガールスカウトの一員としてJR清里

本にも粉ミルクや学校給食を援助してくれたことや、アフガン難民の過酷な現実を知り、「日本にもっとユニセフ募金を理解してもらいたいし、私たちが

争やテロが起つたとき、心を痛め、友人たちとそのことについて話しあうことができればそれが国際協力の第一歩だと思ふ」とつづった。

駅前立ち熱心に募金を呼び掛けても素通りする人は多い

その時の恩返しをしなければならないと思ったんです」。作文には「自分でできること聞いて、この活動を題材に書いてみようと思いました」活動を始めたのは「ユニセフのこともなぜ募金をお願いしているのかも知らなかつた」が、ユニセフが終戦直後の日

駅前立ち、国連児童基金（ユニセフ）の募金活動を続けてきた。「作文のテーマが国際理解と聞いて、この活動を題材に書いてみようと思いました」活動を始めたのは「ユニセフが終戦直後の日

駅前立ち熱心に募金を呼び掛けている人を見たときに

「どう募金活動しかけていたい。そして同じように活動している人を見た

ら進んで募金したいと思つた」

学校では軟式テニス部に所属の一年生なので試合には出られないが、「早く上手になりたい」と練習に励んでいる。将来の夢は「まだ考え中」だが、「これからいろいろな人の出会いやすささまざまな活動を通じ、私ができる国際協力を見つけたい」

山梨日日新聞に掲載されました。



	少女会員	成人会員	合 計
H16.4.1	350名	333名	683名
H16.12.31	413名	337名	750名

☆☆☆委員会だより☆☆☆
財務委員会

■ 平成16年度バザー売上報告
(H16.11.28 甲府市・リバース和戸)
340, 445円でした。

ご協力ありがとうございました。

指導者委員会

■ 講習A 平成17年3月12日・13日
■ 講習B 平成17年3月19日

組織委員会・教育活動委員会

■ 17年度登録・バッジ申請

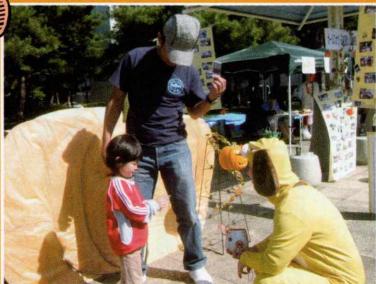
3月20日 青少年センターで行います。



山梨県支部発

10月17日、昨年に引き続き、ガールスカウトの「ふしぎの国」が、甲府市小瀬スポーツ公園に現れました。スカウトと、104名の一般参加者は、ふしひの国へのパスポートを手に13箇所にもおよぶ「ふしひワールド」を体感しに、秋空の下へ一斉に飛び立ちました。4時間半のたびの終わりには、どのスカウトの顔にも満面の笑みが溢っていました。

(こどもラリー実行委員)



広報委員会発



…参加者の

方からいただいた感想…。

- * 子供も一緒に少しずつ出来上がっていく様子をとてもうれしそうにみています。子供が主人公のこの本をずっと大切にしてくれたら…と思っています。
- * このような機会に親子で参加でき、本当に幸せです。久々の手芸で、とても楽しく夢中になりました。ガールスカウトに興味があるのでまた参加したいです。



- * 3回のコースで大作をつくるのは大変でしたが子供が寝てから夜なべをしてがんばりました。

布絵本で“ハッピーバースデー”
支部便り51号でもご紹介したSCAPPの技術をお借りして、子育て支援と乳幼児を持つ若いお母さんたちに、ガールスカウトをもっと知っていただこうと企画し、3回で仕上がる布絵本の講座を行いました。

生まれたばかりの赤ちゃんから5歳児までの子どもたちがお母さんに連れられて34名もの親子が参加してくれました。そこは、保育園さながら。こどもたちを遊ばせているリーダーたちの姿は、孫お子守にすっかり手慣れた様子で頼もしい限りでした。

お母さんたちは、こどもたちを気にしながらも一針一針丁寧に作業を進めていました。

この企画を通して感じたことは、3週間の短い時間の中での子どもたちの成長。お母さんたちが上手に子育てをしていること。そしてお母さんと子どもたちの感受性の豊かさでした。ガールスカウトとしてできる活動の幅の広さを感じました。

編集後記

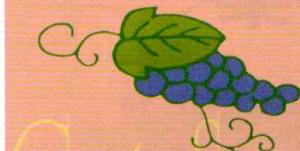
21年ぶりという雪の大晦日でした。

元旦の朝、家の窓から珍しいものを発見。となりの家の氷柱(つらら)です。

早速カメラでパチリ!

広報委員、すっかり染みついちゃったかな?う~ん、複雑。楽しい情報お待ちしています。





支都ぼり

Girl Scouts of Yamanashi

平成17・18年度
支部役員の紹介



30周年記念事業
記念キャンプ

海外成人研修

ワールドシンキングデー

Jr.Sr.Rr.の集い

支都アクションプラン
スタート

こんなにやねーます。

賛助会員の頃
記念誌

社団法人
ガールスカウト日本連盟
山梨県支部
〒400-0811
山梨県甲府市川田町506
山梨県立青少年センター内
TEL.FAX. 055-228-6637

E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp
http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/

平成18年3月

平成17.18年度支部役員紹介	1
山梨県支部30周年記念事業	
◇ 記念キャンプ	2・3
◇ 海外成人研修	4
◇ ワールドシンキングデー	5
Jr.Sr.Rr.の集い	6
ちょっとコラム(この文字何て読むのかな)	6
支部アクションプラン スタート	7
こんにちは!がんばってます。2回・3回・17回	7
特別賛助会員にご協力下さい	8
編集後記	8



支部発展のため、
微力ながら頑張り
ます。

副支部長 平井 始子

正確な記録を残す
よう努めたいと思
います。

書記 米山 宣子

支部の金庫番、
頑張ります。

会計 平井 晴美

初めての支部役員で
す。いろいろと勉強
しながら楽しく取り
組んでいきたいと思
います。

組織委員長 山見 実子
スカウトとともに
ファイト!で頑張
ります。

平成17.18年度支部役員紹介

↓支部役員より一言

目標に沿って役目を
十分に果たせるよう
私なりに努力したい
と思います。

副支部長 深沢 武子

勉強することばか
りです。一生懸命
頑張ります。

書記 中村 明美

大切なお金、確かに
預かりました。よろ
しくお願ひします。

会計 中沢 良子

若い若いとおだてら
れていますが、そん
なに若くはありません。
素敵な広報誌作
りとHP作りを目指して
いきますのでご協力
おねがいします。

広報委員長 藤田 まや



地域に根づくスカウティングを目指して

「社会が変だ、子供達が変だ…」ささやき出されてからもうどの位たつだろうか。国も一生懸命試行錯誤を繰り返している。しかし、毎日のニュースには、考えられないような事件が続発している。事件に至らなくても周りを見回せば、「えー考えられない」と思える出来事がいっぱいある。スカウティングの出番であろう。いい活動ですと言っても信用されない、人々に信用される様な活動を、私たちは、もう一度努力したいものです。明るい日本社会が、取り戻せるように、成人会員の英知を結集しましょう。

支部長 佐藤秀子

初めての支部役員で
す。スカウト活動が
スムーズに行くよう
援助していきたいと
思います。

「たのしいスカウ
ティング」お手伝
いさせてください。解ご協力を!!

教育活動委員長 古屋 知子 庶務委員長 石原 とし子 指導者委員長 渡辺 とし江 財務委員長 山本 千代子



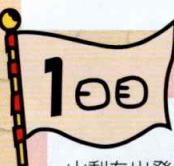
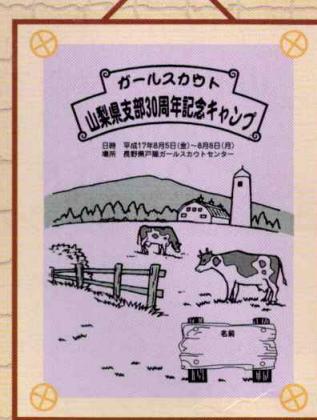
山梨県支部30周年記念事業

～記念キャンプ～

戸隠までの道のり、そして成果は…。

支部30周年記念となった2005年のキャンプは、1988年以来17年ぶりの戸隠でした。その時は、シニア・レンジャーで構成され、スカウト82名、総勢110名で年長部門の支部キャンプとして行いました。現在のスカウト状況と照合してみた時、参加部門はどうするか、パトロールの組み方は、単位は、リーダー構成は…などと、動きだしたばかりの頃の実行委員会には、生活に関する難題が山積みでした。ジュニア以上を参加対象に、200名規模と見込みをつけ、内容もスカウト同士の交流、戸隠の自然と人にふれる、ミセスウェストン祭への協力の3つの柱を軸に組み立てられていくと同時に、大役を担うことになったミセスウェストン祭ではシニア・レンジャーが式典での50人の大合唱隊、ジュニアは来賓の方たちへガールスカウトの野外料理でおもてなしをするための準備も進められました。そして戸隠を楽しむための11の選択プログラムと支部の30周年を盛り上げるためのプログラム作りや、リーダーたちはスカウトを支援するために野外技術を磨き、スカウトたちも事前研修を積み重ねながら一步一步、目的に近づいていきました。野外活動はパトロールシステムの実践の場であるにも拘わらず、外部との合同事業や大所帯がための、細かい意志の疎通を欠いてしまうこともありましたが、ガールスカウトとしての意識と仲間同士という気持ちのまとまりが全てを支えていたようでした。プログラムの中で体験した感動、ホールの暖炉に灯った30周年の灯、心地よい芝生にサックスとユーフォニームの音色。風、空気、雨。友だち、笑い、涙…。半年経った今、何か一つでも心の中に残っていますか。自分自身が感じたそれこそが成果であり教訓であると思います。

30周年記念キャンプ 実行委員長 松本栄子



- 山梨を出発
- 長野戸隠に到着
- 昼食、設営
- 開村式
- 夕食
- 開会式
- ミセスウェストン祭合唱練習
- ユニット毎プログラム
- 就寝



←無事に戸隠に到着！



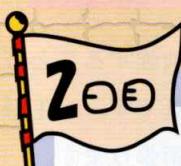
←皆さんで良い笑顔



←テント設営中



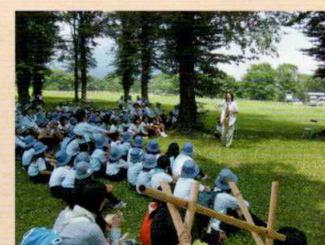
つけるよー!
点火!!



- 起床、朝食
- ミセスウェストン祭～式典
- ～コーラス隊・献花
- ～お客様誘導・花束贈呈
- ～野外コンサート
- ～戸隠太鼓
- ～昼食バイキング
- ～交流ゲーム
- ～野外音楽祭
- 夕食
- ユニット毎プログラム
- 就寝



←みんな集合しますか？



←真剣に演奏を聞いてるよ。



←みんな揃って…サンハイツ！



ヨイショッ
よいしょ!

ちゃんと
縛って!!

3日目

- 起床、朝食
→ 選択プログラム
～ミセスウェストン祭
記念トレッキング
～戸隠を楽しむ10種の企画
昼食
→ 選択プログラム終了
夕食
→ 大営火
ユニット毎プログラム
就寝

飯綱山登山



←無事に登りきりました。



←みんなで「おやき作り」

おやき

奥社・森の庭園



←戸隠神社の前で「バツツ」

選択
プログラム

←池の剪定ボースが決まります。

鏡池ハイク



←信州名物そば作り

そば作り



野外料理

お兄さん!
しっかり
引っ張ってね!!

はいっ!

←ご飯がおいしくできた
かな?

感想文

私は、昨年度から友達に誘われて入団しました。何にも分からなくて不安だった私に団の友達やリーダー達がいろんなことを教えてくれました。キャンプの時もそうでした。初めてのGSでのキャンプでドキドキしていた私に元気をくれたのも友達です。とくさんの荷物をリュックにつめて、みんなで楽しい話をしながらバスで移動し、キャンプ場に入った時のあの感動は忘れられません。みんなでテントを張り、おいしい朝ご飯、他にも楽しい思い出がたくさんです。また行きたいな。そう思っています。(15団ジュニア)

夏地区 ウキウキバトロールリーダー

私は支部キャンプという大きな活動で、初めてバトロールリーダーを務めました。することが多かったけれどもそれをやり遂げた時はすごく達成感がありました。楽しかったので、また次のキャンプが楽しみです。(2団ジュニア)

3

支部キャンプを終えて

リーダーになって、まだ支部キャンプに参加したことのない私には大きなプレッシャーでした。不安な気持ちの中で始まり「ただ、ただ」間違いないようにと祈りながらの一日、一日。スカウトはお互いに想いやりを持ち、自発的に動いてくれた事は、私の強い緊張を静めてくれました。そんなスカウトに感謝したいです。それに地区長さん、他団のリーダーの方々にも助言などいただき、良い経験をさせていただきました。本当に有難うございました。想い出に残るキャンプでした。(3団リーダー)

ミセスウェストン祭に参加して

昨年8月5日から8日の4日間、長野県の戸隠で支部キャンプが行われました。その2日目に「ミセスウェストン祭」が開かれました。今回は山梨県支部が主催ということで、スカウト活動最後の私にとって本当に素晴らしいことだと思いました。そこで私は「旗手」を務めました。大勢のお客様がいる中でとても緊張しましたが、何とかやり遂げることができました。合唱をすることも最初は恥ずかしかったけれど逆に「歌わない方が恥ずかしい」と思い、しっかり歌いました。とてもよい経験をすることが出来たと思います。(10団レンジャー)

山梨県支部30周年記念事業

～海外成人研修～

～研修参加者～

青木れい子・佐藤 秀子
 星野 豊子・石原とし子
 深沢 武子・丸山久美子
 大塚 郁子・地場 洋子
 山本千代子・菊嶋喜久江
 小野 加代・荒木 浩子
 大沢 和子・山県 洋子
 平井 始子・古屋 知子

～スケジュール～

- 26日 成田発
- 27日
 - * チェンマイ地域
 - * タイ連盟チェンマイトレーニングセンター訪問
- 28日
 - 10:00 AM * バンコク観光
 - * タイ連盟表敬訪問
- 29日
 - * AYUTTHAYA観光
- 30日 帰国

～パトロール～

『やまとなでしこパトロール』
 青木、佐藤、星野、石原、深沢、丸山
 それぞれの持っている感性を
 もう一步突き進んだところまで挑戦して行こう。
 キーワードをヒントに出発、
 そこから無限大へ…。

『ゴールデンシャワーパトロール』
 (タイの国花)
 菊嶋、大塚、地場、山本、小野
 “ラモン”と“よっちゃんばれ”
 さくらと“君を待つ”
 みんな一緒に
 “新しい友を作ろう”

『ブーゲンビリアパトロール』
 古屋、平井、山県、大沢、荒木
 その土地の人々の暮らしや
 子供たちの素顔に接しよう

タイ成人研修を終えて

1月26日、リーダー16名参加。3つのパトロールを組む。佐藤支部長よりパトロール毎に課題が与えられたので、バスの中でも熱心な質問が飛び。チェンライとバンコクの2箇所ではガールガイドタイ連盟(GGAT)を表敬訪問する。GGATは少女達の職業訓練を主に活動。それはタイ連盟の建物を入るとすぐに、大きな食堂兼作業所があることからもよく分かる。これは日本のガールスカウトとはまったく異なる点だがガールスカウトが、国の実情に合わせ少女や若い女性のために最もしなければならないことを行っている証明となるものだ。

短い旅だったが収穫はたくさんあり。それにしてもメンバー全員、興味・意欲十分、元気で明るく、まるで高校生のようだった。こんなふうに人を若くするのは、いつも課題と目的を持つガールスカウトだから。この“若い”メンバーなら、この旅からまた“更なるもの”を見つけ出していくかもしれない。楽しみだ。

30周年記念成人研修 実行委員長 丸山久美子



←皆さんではじめチーズ！



タイ連盟会長と一緒に！



←タイ連盟の皆さんと。



←アユタヤ遺跡の前で。

タイ研修旅行に参加して

成田を発ち約8時間。窓から見える一面の田舎風景、その所々にオレンジの屋根の新興住宅群、白いマンションの群、どこか日本の郊外の住宅風景に似ている。三毛作の豊かな農業国で信仰に厚い仏教国。多くの寺院や廃墟となったアユタヤ遺跡、広大な敷地に金や宝石を散りばめた目映いばかりの王宮や寺院、そのひとつひとつに当時の民衆の知恵と労力、また国王の財力と権威は偲ばれる。道路には国旗、王家の旗が並び国王の写真も飾られている。日本には見られない風景だ。一方でビルの裏手にはトタン屋根の家が並び、観光客の間を物売りする子供、素足でサッカーをしている子供たちの姿が気になる。ガールスカウトタイ連盟もスカウトの職業訓練に力を入れているという。あの子供たちが明るく子供らしい生活ができる日を願いつつ、「ほほえみの国」をあとにした。(13団 大塚郁子)

タイ研修旅行あらかると

＜ガールスカウトというもの＞制服で行動したとき、飛行場で、街中で、また寺院の中で声をかけられることがしばしばあった。遠慮気味に遠くから「ガールスカウト？」という声に、ガールの「礼」をすると会話が始まった。日本では「青い服の人」というくらいの認識のこともあるが、タイではしっかりガールスカウトは認識されていた。バンコクのタイ連盟で出会ったトレーナーの方の話では、農村地帯の女の子の自立支援、イスラム教関係の教育施設的なこともしているそうだ。また、国境を持つことから難民や中国、ラオスなど近隣からの人々の流入問題や、多国民族的な問題など、島国日本の日本では経験し得ない問題を抱えている。そんなシビアな状況の話の中で、私の頭の中では「日本のスカウトのことをどう話すべきなのか？」と「今回の交流の意味と目的」について自問自答し続けていた。しかし、交流の中で言葉を越えた世界のガールスカウトのつながりを感じ、頭で考えるよりも肌で心で感動した。

＜タイに想う＞国王の大きな肖像画が街やホテルの壁面に掲げられるタイ。王族が崇拜される国。男性は一度は仏門に入り修行をするという。私が出会った人々とのかかわりの中で感じたのは、欧米にはない感覚的に分かり合えることがある。やはりオリエンタルは気質的に通じるものがあるのかもしれない。また、山岳民族の方々の姿や物を売る子どもたちの姿にメキシコのストリートチルドレンやインディオの人たちの姿が思い出され、世界共通の問題も頭をよぎる。帰りの飛行機を待つ間、また出会いがあった。よほど話しかけやすいのか？美人のリーダーが傍に居るせいか？日本の天皇家のこと、徴兵制のないことや四季があるということ、そんなすべてが日本を作っている。そして、私は日本人であり世界的には恵まれた状態で暮らしている。そんなことを再認識する旅でもあった。帰りの飛行機では、日本でのスケジュールを考え、寝顔が並ぶ中レポート作成にいそしむ。すっかり日本モードに変わっている自分が悲しいが、現実は厳しい。(19団 菊嶋喜久江)

山梨県支部30周年記念事業

～ワールドシンキングデー～

支部創立30周年記念シンキングデーを終えて

30周年の記念シンキングデーに、スカウトが7年かけて地道に行ってきたネパール募金が実を結ぶことができ大変うれしく思います。この募金で作られるコウミンカンをスカウトと一緒に見にいける日が近い将来きっとおとずれると確信しています。また今後の活動としては、ワンガリマータイーさんの提唱する『MOTTAINAI運動』にスカウト一人一人が参加できるよう、教育活動委員会としても支援していきたいと思います。

30周年記念シンキングデー 実行委員長 古屋知子

フレンズ卒業生からメッセージ

ネパール学校建設プロジェクトは、各団に呼び掛けて集めた数十枚の使用済みテレカ・書き損じ葉書、一円金の寄付金、わずかここからのスタートでした。こんなに大きな目標を達成した支部のチームワークに感動です。



ネパールという国のがわかりました。(12団ブラウニー)

モッタナイ宣言聞いて、自分でも「もったいない」について考えようと思った。(2団ブラウニー)



「もったいない」という話を聞いていて、わたしは「ガールスカウトに入っている」という人は「もったいない」なあ、と思いました。(3団ジュニア)

募金総額
896,362円

わたしはベンケースを高校生になるまで大事に使いたいと思いました。(12団ブラウニー)



フレンズの活動は、緊張したけど、自分たちで何かをやり通すことは大変だけど、楽しくうれしいことだと思いました。(17団シニア)



2度使えるものは1度で捨てないで使おうと思った。(2団ジュニア)



わたしはじめてシンキングデーにさんかしました。いろいろなお話を聞けてよかったです。特に「もったいない運動のお話を聞いてからごはんも残さずにたべものを大切にしようと思いました。(15団ブラウニー)



ネパールの子供たちは学校へ行けずかわいそうだと思ったけれど、いっぱい募金をして学校が建てられたのによかったと思いました。(12団ブラウニー)



ネパール募金のためにシニア・レンジャーが活動して公民館を建てることができてすごいなあとと思いました。私も人のために何ができるか考えていきたいと思います。(15団ジュニア)



私が一番心に残ったのは足立さんの講演です。スーパーのレジ袋は資源の無駄だと思っていても使っていますが講演を聞いてからは自分でマイバックを持参したりしているんな人に「もったいない」を広めたいと思いました。(13団シニア)

創立30周年記念 thinking day を振り返って

私は今まで、ガールスカウトの一員として「world thinking day」に参加してきた。しかし、今回2月19日に「創立30周年記念 thinking day」では、フレンズの一員となり「創立30周年記念 thinking day」を運営してきた。フレンズの一員となった事で、参加する側から催す側に立ち、計画を立てたり、違う団の子と触れ合う事ができた。そして、計画し実行するまでの楽しさや、いろんな情報を聞く事で私の世界が広がった。それから、記念講演講師の足立旬子さんの講演「MOTTAINAIで世界を変える～ケンガリ・マータイさんを取材して」を聞いて、「この地球はサイクルによって成り立っているのか」とさらに気付かされた。そして、ワンガリマータイさんのように一つの木を伐採したら、育てた苗木を2、3本ずつ植える事で悪循環が緩和されていく。私たちの日常も同じ事だと思う。私はこの講演で「ワンガリさんのように1人でも頑張っていれば、いつか稔る」という事を学ぶ事ができた。さらに「まとまれば大きなものになる事」も学んだ。私たちガールスカウトの活動も「1人1人が、ガールスカウトとしてまとまる事で素晴らしいものができるのだろうな。」と思った。今回「創立30周年記念 thinking day」も同じだと思う。ガールスカウト1人1人が参加し、作り上げてきたからこそ成功できたと思う。今後はワンガリさんのように先頭に立ち、何かに取り組み、成績を残したいと思った。さらに、私もモッタナイ宣言をした彼女たちのように「MOTTAINAI」と立ち上がりたいと思った。そして、地球やガールで「MOTTAINAI」を胸に環境について、もっともっと調べたいと思う。みんなまとまって今後も活動していきたいと思うようになった。(19団シニア)

ジュニア・シニア・レンジャーの集い



講師の皆川巖先生がお話を聞いて頂きました。

Jr.Sr.Rr.の集い講師
山梨県議会議員

皆川巖(いわお)先生からのメッセージ

ガールスカウトの皆さん、お元気ですか。11月20日のJr.Sr.Rr.の集いでは、多くの皆さんに話を聞いていただき大変うれしく思っております。少し難しい話でしたが一生懸命メモを取りながら話を聞いてくれた皆さんの様子が今でも目に浮かびます。話が終わった後の質問応答の時も沢山の質問が出て、向学心旺盛な皆さんの姿を見ることができました。ところでその質問応答で『22万石とは現在のいくらくらいですか』という質問がなされました。その時は、直ぐに計算をし答えを出すことができませんでしたが、今回この「支部便り」に載せていただけるということですので、調べたことを書かせていただきます。

当時の1石は今の米150キログラムにあたります。そこから計算すると大名浅野家の石高22万石は現在の約132億円となります。1万石以上給付される武士が大名と呼ばれ、大名の中でも石高の大小によって家の格が決められたので、浅野家はかなり格上の大名だったことがわかります。お分かりになったでしょうか。

ガールスカウトの皆さんが愛宕山こどもまつりで活躍している様子やねんりんピックや甲府大好きまつりでプラカード持ちをしている姿、あるいは街角でユニセフの募金をしている姿を今まで見てきました。青い制服の皆さんの様子は街のみんなを元気にしてくれます。これからも是非ガールスカウト活動を続け、色々な場面で活躍してください。また皆さんに会える日を楽しみにしています。



column (この文字何て読むのかな?) column

सातोउ हिदेको
G S यामानाशि
१२३४५६७८९०

なんて書いてあるかわかりますか?(上)は佐藤支部長のお名前(中)はGS山梨と書いてあります。(下)は数字の1から10までです。これはネパールの『テーヴァナーガリー文字』と言います。むずかしいね……でも、ちょっと格好良くないですか?ローマ字と似ていて、母音と子音を組み合わせ表記します。自分の名前が、こんな風に格好良く書けたらいいよね!ネパールがほんの少し近くなった気がするかも!

参考『世界の文字で遊ぼう』

http://www.geocities.jp/p451640/moji/skm/05/skm_05.html
http://220.51.144.77/moji/php/kana_dvn.php
http://www.geocities.jp/p451640/moji/skm/gjo_05.html

支部アクションプランスタート!!

平成19・20年度
支部役員の紹介

30周年記念事業

記念キャンプ

海外成人研修

ワールドシンキングデー・Jr.S.I.R.の森

ちばっこコラム

支部アクションプラン

Click! カンパニー

賛助会員の紹介

日本連盟からの指示により、会員増強の(5%増)

為のアクションプランを、策定しました。下記のプランを支部
こぞって実施し、平成19年度の登録時には、平成18年度の登録数より5%増員を
目標に支部・団それが出来る事を、しっかり実践することにより、目標達成を図りたいと
思っていますので、会員の皆様もそれぞれ、努力して頂き、会員増が達成できますようお願い致します。

プラン1 指導者の増強

リーダーの現状把握／団訪問／ヤングリーダー活用アドバイス／指導者のためのリフレッシュキャンプ実施
…このアクションにより 各団1名の新規指導者登録を目指す

プラン2 団運営の充実

団委員研修の充実実施／団委員長会議の充実／登録状況のふりかえり作業実施／スキップの活用
…このことにより、研修会の全団参加者を目指す

プラン3 たのしいスカウティング

集会活動の充実／居場所事業の活用／居場所事業コーディネーターよりふりかえりとアドバイス実施
…一般参加者の増加を目指す

プラン4 支部広報活動の充実

各団の広報担当者を選出／広報活動の研修会実施し各団の広報活動の充実を図る
居場所参加者にガールスカウト入会案内を送付／支部ホームページの充実
…団・支部の広報活動を充実させることにより、一般の理解者を増加させる

2団

私たち2団は、毎年春と秋(冬)、甲府南ロータリークラブと一緒に舞鶴
城北面の坂道脇花壇に季節の花を植える活動をしています。今年も5月
にペゴニアやマリーゴールド、サルビアなどを植え、12月にはビオラや
パンジーの植え替えをしました。色とりどりの花が咲き誇る可愛い花壇
が出来ました。ぜひ見て下さい。



春の花だん作り

こんにちは！がんばってます。

冬の花だん作り**17団**

17団では毎年4団といっしょにおいもの苗植をしています。秋には大きなおいもがたくさん取れ、豚汁を作つて食べました。おいしくてたくさんおかわりをしてしまいました。

**3団**

"プリティープラウニー"

3団 プラウニーキャンプ8/7~8/8
河口湖畔 サニーデビレッジ

私はレンジャー4名は、プラウニーキャンプのバーベキューと、ポンファイサーに参加しました。日中は、西湖の野鳥の森を出発し、コウモリ穴、河口湖に向かい、途中、路線バスを利用し、終点のビレッジに到着というハードなスケジュールにもかかわらず、スカウト達は疲れも見せず、一生懸命私達にお肉やヤキソバを振る舞ってくれました。ポンファイサーでは、レンジャーの教える手遊びなどを、目を輝かせて見ていました。その姿を見たレンジャーの一人が“リーダー、私必ずリーダーになるね!!”って一言…。私はプラウニーの素直な心と、レンジャーの頼もしい姿を喜ばしく感じました。翌日は、大石臼の資料館を見学して、ブルーベリー摘み…。こうして、プラウニーの楽しいキャンプも無事終えました。



芋！芋！



ガールスカウト運動への誘い

あなたも少女たちの育成に手をかしていただけませんか？

ガールスカウト運動とは、ボーイスカウト運動の創始者『ベーデンポウエル』が少女たちの希望にこたえて1910年にイギリスで始まった世界規模の社会教育運動です。日本では1920年に始められ、現在6万人の少女・成人会員が活躍しています。山梨県支部も1976年に結成され、本年30周年を迎えました。

あしたの世界を築く原動力になる少女たちは、自然体験・国際交流・地域の方との交流や奉仕活動の他、地球規模の課題などにも自分たちにできる身近なことから取り組んでいます。

ガールスカウトでは、同世代の少女が集まって異年齢のグループで活動し、体験活動の一つ一つを、自分で考え、判断し、行動していくことができる“主体性”を身につけ、未来をつくる女性となるように努力しております。

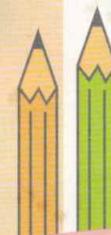
多くの方々にこの活動をご理解いただき、特別賛助会員としてご支援いただきたく、心よりお願い申し上げます。

特別賛助会員には個人会員と団体会員がございます。
詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。

～ご連絡先～

ガールスカウト日本連盟 山梨県支部事務局

TEL,FAX 055-228-6637



編集後記

皆様おまたせしました！合併号がついに完成。
30周年記念行事が満載です。
はじめての広報制作だったため、ちょっと時間が
かかってしまったことをお詫びいたします。
これからも広報誌の充実をはかっていきますので
ご期待ください。また広報誌にぜひ紹介したい
情報がありましたら、どしどしご連絡ください。

広報委員会メンバー一同



1click!!

No.56・57合併号

Girl Scouts of Yamanashi



支部便り

平成19年3月

社団法人
ガールスカウト日本連盟
山梨県支部
〒400-0811
山梨県甲府市川田町506
山梨県立青少年センター内
TEL.FAX. 055-228-6637
E-mail : gs-ymsi@eps1.comlink.ne.jp
<http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymsi/>



平成18年度支部事業

- 5月 こども祭り
- 6月 支部ギャザリング
- 7月 成人研修会
- 8月 南関東地区ギャザリング / イギリスキヤンプ
- 9月 リフレッシュキャンプ
- 10月 団運営者のための研修会
- 11月 Jr.モデル事業 / Sr.Rr.の集い
支部バザー
- 1月 成人研修会
- 2月 リーダー養成講習会A
- 3月 リーダー養成講習会B

本年度は、会員増強が最重要課題でした。それに付随して各事業がありました。特に団運営者のための研修会、Jr.モデル事業、南関東地区ギャザリング、イギリスキヤンプ、リフレッシュキャンプと大きな事業を実施いたしました。団組織の充実を見据えながらアクションプランの実施と多忙な活動展開でしたが、どの事業も中身の濃い、良い事業が出来た事に感謝いたします。

ひとりひとりが、持てる力を現在よりも一歩ステップアップしたら、大きなものとなります。パトロールシステムを生かし団内でチームワーク良く楽しく活動をして欲しい。ボスのいる団は、楽しくなく後退してしまいます。楽しく前進する団になるよう努力してください。

ガールスカウト山梨県支部長 佐藤 秀子

<スカウト登録数>

スカウト会員/386名
成人会員/373名 計759名

平成19年2月現在



他団体への協力

社会振興フォーラム



at biyubia甲府
10月22日

「ガールスカウト山梨県支部は
チームマイナス6%に協力しています。」



手作り布絵本教室



at 甲府市東部市民センター
全3回/9月27日/10月4日/10月11日

我らスカウト！いろんなところでがんばってます。

この他に体験交流会「自然とあそぼう！」at フロアスコーレセンター(10/14)など

太極拳・囲碁・将棋



at 小瀬スポーツ公園
9月9日

ぴゅあ甲府フェスタ



at ぴゅあ甲府
9月30日



平成18年度
支部活動

2 南関東地区ギャザリング
3 アーデン2006
イタニショルキャンプ

4 ジュニアモデル事業
4 Jr.
Sr.
Rr.の集い

5 団運営者のための研修会
5 認知症のやわらかい見方と味方

6 各委員会会報誌
6 支部バザー

7 日・5日本ジャンボリーフェスティバル

8 賛助会員お願い
お知らせ



南関東地区ギャザリング

平成18年8月19日(土)～21日(月)
於 ハケ岳少年自然の家

1日目

- 開会式
- オリエンテーション
- アイスブレーキング
- 基調講演
- 【東ティモールにおける私の活動】
日本赤十字社 / 田村 宏先生
- 分科会1

テーマ

【未来のために今自分たちができる事
～One for All, All for One～】

やまねミュージアムにて

2日目

- 朝のつどい
- 分科会2
- 選択プログラム
 - ・牧場体験
 - ・やまねミュージアム
 - ・冒険ハイク
- キャンプファイヤー



3日目

- 朝のつどい
- 全体会
- 閉会式

今回の南関東地区ギャザリングのテーマは【未来のために今自分たちができる事～One for All, All for One～】でした。南関東地区ギャザリングを終えて、今このギャザリングで話し合ったことを、普段の生活に生かせていますか??「あっつ!!」と思った人はパトロールで話し合った事、全体会での他パトロールの発表、そして3日間と一緒に過ごした友達の事を改めて思い出してください。【今自分たちができる事】が見えてくるはずです。南関東地区ギャザリングでの3日間、実行委員の計画不足などで、迷惑をかけてしまったこともあると思います。でも、参加者のみなさんご協力によって無事3日間を終えることができました。みんなの笑顔が私たち実行委員会一同の最高の喜びでした。ありがとうございました。そして、共に実行委員を務めたメンバー、リーダー、本当にありがとうございました。

18年度南関東地区ギャザリング実行委員長 1団 Rr. 輿石 美里



↓ 2日目 体験プログラムスカウトからの感想 ↓

～ 牧場体験 KEEF農場 ～

清泉寮に行きお昼とソフトクリームを食べ歩きながら、牛のえさでもある草を抜きながら牧場へ…。乳搾り・牛舎見学・バター作りを楽しくしました。牛の糞はそのまま捨てるのではなく6ヶ月かけて乾燥させ。牧場で肥料として循環するのです。このように牛についての知識をたくさん得ることができました。

う~ん
抜けない!



～ やまねミュージアム ～

炎天下の中、約30分をかけて行ったのにもかかわらず第一目的の“やまねミュージアム”に“やまね”は居ませんでした。(>_
でもやまねのことについてちょっと深く知ることができました。牧草地を前にご飯を食べ、山梨の自然を感じました。清泉寮ではソフトクリームが溶けるのを気にしつつおいしく食べました。やまねには会えなかったけど、行ってよかったです。



南関東実行委員会



～ 冒険ハイク ～

行く手をふさぐ高い木の壁や崖に近い斜面の綱上り、グラグラ揺れる橋などハケ岳の自然の中で様々な難路を友と助け合って突破し、とてもよい冒険がみんなでできたと思います。これから先の人生にはこれ以上の困難にぶつかる時がくるとおもいますが…そのときはまたみんなで助け合ってその壁を乗り越えようね(^^)v!!



アーデン2006インターナショナルキャンプ



アーデン2006インターナショナルキャンプに参加して

イギリス、ワーリックシャー州のガールガイド支部主催のアーデンキャンプに今回も参加させてもらいました。「2回参加する人はいても、3回目は加代だけよ」とインターナショナルグループの責任者バインさんに歓迎のメールを頂きました。(笑) 参加する度に新企画があり、出会い、発見がありスカウト活動の原点である楽しいキャンプにスカウトと一緒に参加したいと思いました。

1995年にUKガイドのホームステイとキャンプを山梨県支部で受け入れた縁で「アーデン98」「アーデン02」への招待を受け、リーダーとスカウトが個人的に参加していましたが、今回は支部全体に呼びかけスカウト15人、リーダー4人で参加しました。スカウトは事前研修で自分の取り組みたいプロジェクトと役割を決め【さくら】【富士山】パトロールに分かれての参加でした。

キャンプは【Go International】をテーマに7月30日から8月5日までバーミンガム郊外のスカウト用のキャンプ場で行われました。カーニバルで始まった開会式から、歌と踊りと花火で終わった閉会式まで、様々なプログラムがあり、身体と知恵を使って挑戦する活動は型にはまつたキャンプではなく、学ぶものがたくさんありました。

自主プログラムで企画したロンドンやエジンバラでもスカウトならではの経験がたくさんありました。スカウトはこの恵まれた経験を今後の活動に生かし、交流を続けていって欲しいと思います。今回の海外研修が無事終わることが出来たことを、関係者の皆様に感謝いたします。

アーデンキャンプ団長 小野 加代

二階建てバスを背景に!!

ハイチーズ!

食事準備中

Friends

イギリスキャンプ

広大なキャンプ場にサーカスのようなテントの下で繰り広げられる数々のイベント。イギリスのキャンプは同一行動の少ない自由なキャンプでした。自由なので「自ら目的をもって行動する」ことが楽しむコツでした。カナダから一人で参加したスカウト、数ヵ国語を話すスカウト、そして現地スタッフとして活躍する高校生リーダー達。本当に人ととの出会いから多くの気づきを頂きました。なかでも、家族全員がスタッフとして参加されていた方々を知り、これから私が永く活動を続けるためにはこのような取り組み方が必要なのかもしれないと思いました。

19団リーダー 菊嶋 麻美

私たちの研修はロンドンでの自主プロから。パトロール毎に地下鉄やバスを利用し、イギリス連盟やバッキンガム宮殿を訪れ、一般の観光客は入場できない場所まで入ることができ衛兵の交代を見学しました。本当にこれほどガールスカウトに入っていて良かったと思うことがないぐらい感動しました。驚いたのは地下鉄などで他国のスカウト達に声をかけてもらったことです。制服の姿を見てスカウトだと判ったようです。キャンプは6泊7日の長期で、日本のキャンプとの違いに驚きました。プログラムが多彩で、カフェなどの憩いの場もありました。生活習慣も異なり、特に食器洗いは衝撃的でした。洗剤の入ったぬるま湯で汚れを落として布巾で拭く。それで終了! ここまで節水はしたことありません。水は大切なのだと感じることができました。日本では出来ない貴重な体験をたくさん積んだ海外研修でした。

- 1団 甲府の豆知識 (○×クイズ)
- 2団 ほうとう作り体験報告とペーパークラフト
- 3団 河口湖で魚釣り
- 4団 朝日町○×クイズ
- 6団 織物紹介
- 9団 菊崎市の民話劇
- 10団 都留市の紹介 (芭蕉にちなんでお茶と俳句)
- 12団 甲州市について
- 13団 スゴロクの旅
- 15団 つり伝パズル
- 17団 高根町を知ろう (クイズ)
- 18団 上野原を知ろう
- 19団 ゲートDEクイズ
- リーダー セイだのたまじ (イモ料理)



ジュニアモデル事業

平成18年11月11日(土)
於 愛宕山少年自然の家

【みんなで山梨県を
楽しく知ろう!!】

初めてチャレンジしたジュニアモデル事業。ジュニア部門のスカウトが実行委員会を立ち上げ、スカウトの力でテーマを決め、企画し、準備実行するという初めての大きな活動となりました。今回のテーマは県内の13ヶ団が各地域の特色や物産、地元のステキなところや自慢を掘り起こし他地域のスカウトをはじめ、いろいろな方に知ってもらおうと企画されました。また、翌12日にはJr.Sr.Rr.のつどいが開催されるため、ジュニアは1泊2日を他団のスカウトやリーダーと共に過ごします。団を超えて一緒に生活を送ることで新しいお友達が出来たり、連帯感が生まれるという喜びもありました。モデル事業の内容はクイズあり、ゲームあり、お芝居あり、おいしいお茶やおやつもないと各団ともいろいろと趣向を凝らして楽しい1日が過ごせました。



ジュニアモデル事業で、5年生の私が実行委員長をさせて頂きました。話し合いの内容や流れがわからず、リーダーの方や実行委員の人たちに助けていただき2日間を過ごすことができました。私はこんな責任の重い仕事をするのは初めてで、とても緊張しながらもがんばりました。ガールスカウトのみなさんや、来賓のお客様方に喜んでいただけたことシニア、レンジャーのお姉さんたちと楽しく過ごせたことなどたくさん思い出ができました。この2日間が無事に終わって本当に良かったです。とても良い体験をさせていただいて感謝しています。この経験を今後も生かしていこうと思いました。

ジュニアモデル事業実行委員長 3団Jr. 中村 円



Jr.Sr.Rr.の集い

平成18年11月12日(日)
於 愛宕山

ジュニアからレンジャーまでのスカウトがバトロールを作り、サバイバルゲーム、基礎訓練、イギリスの野外ゲームに挑戦しました。秋晴れとはい強風にあおられながらの活動でしたが、スカウトの元気な声は1日中絶えることはありませんでした。基礎訓練では、旗揚げやロープワークなどの練習をしました。普段の集会になかなか取り入れることが少ないので悪戦苦闘!経験し繰り返し練習することの大切さを学びました。イギリスのキャンプに参加したスカウトが覚えてきた野外ゲームを紹介しみんなでチャレンジしました。どのゲームもチームワークと頭脳が大切??名前も顔も知らないなかでスカウト同士が一気に親しくなれました。またサバイバルゲームでは救急法やお買い物ゲームなどを楽しみました。団にかえってBr.にも教えてあげたいと思いました。



～基礎訓練について～

スカウトとして身につけてほしい「旗」「規律訓練」「ロープ」の3つのコーナーを設けました。スカウトの部門に関係なく技術の個人差がかなりありました。なぜそのようになるのでしょうか?それは何度も繰り返したか、どのくらい熱心に取り組んだかによると思います。キャンプの時だけ訓練するのではなく、普段の集会でも少しずつ取り組むことが大切です。楽しみながらできたらよいですね。

トレーナー 古屋 文子

団運営者のための研修会



1日(木)11月25日(土)スカウト活動の体験・活動の紹介(スライド)・情報交換
2日(金)11月26日(日)パトロールミーティング・野外料理・全体会

テーマ「誰もができる団委員長」

- スカウト活動の現場である団がより民主的に運営され、活性化し、信頼される組織になることを望み平成16年度から3年間の計画で18年度最終年として支部で行いました。「誰もができる団委員長」このテーマにおいては言葉では判りやすいですが、考え方によってはとても難しく、また参加者数はもちろんのこと、テーマ内容によって参加者の受け取り方が問題と思いました。日連からのテーマを素直に受け取るより、やわらかく考えることを考え、団運営者がスカウティングの楽しさを体験し、理解を深めるため—みんなで知ろう団運営—をサブテーマに掲げた17年度神奈川県開催時の参加者が核となって11/25~26 1泊2日の日程で実施しました。
- 参加者が共通理解をした上で、いきいきとした話し合いが持たれ、会員増強に盛り上がりました。日頃時間に追われ、忙しいの一言に尽きる参加者たちが、一同に話し合うことによって現実を知りお互いに理解を深めることができたことは今後にも大いに期待が持て、参加したという意義を体感することができたと思います。



成人会員研修会～認知症のやわらかい見方と味方 1/28(日)

山梨県立大学看護学部助教授
牛田 貴子 先生



↑研修会の牛田貴子先生。たくさんの書籍・絵本のご紹介をしていただきました。詳しくは下記へ。
ちなみに、牛田貴子先生は第9回のリーダーでもあります。

【認知症】という呼称もすっかり定着した感がありますが、はたして認知症とはどんなものなのでしょう?認知症の正しい理解と、予防、そして認知症との付き合い方、向き合い方を牛田貴子先生にご講演頂きました。講演では、認知症について書かれた本を数冊ご紹介頂きました。「忘れても 好きだよ おばあちゃん!」(ダグマ・H・ミュラー作)では、アルツハイマー病になってしまったおばあちゃんの様子や気持ち、そして一緒に暮らす家族がどのようにこの病気を理解し、接することが大事かが描かれています。

『色々なことを忘れてしまっても、何も出来ないわけではない』『人よりもちょっとだけ時間をかければ出来ることがある』…どこかスカウト活動にも通するものがあるのではないでしょうか?時間がかかるから、危ないから、出来る者(大人)がやつてしまえば簡単だから…ではスカウトの自立や成長がないのと同じように、必要なことは【支援】すること。思いやり支えることが何よりも大切だと学ぶことが出来ました。

高齢化社会が進み、高齢者支援が福祉やその家族だけでは負いきれない現状にあります。少女たちがこれを理解し、地域のご高齢者にも手を差し伸べてあげられるようなスカウトに成長できるよう、この講演を今後のスカウティングに活かしていきたいと思います。

<ご紹介いただいた書籍・絵本>



「忘れても 好きだよ おばあちゃん!」ダグマ・H・ミュラー
「わすれられないおくりもの」スーザン・バーイ
「さよなら マフィンさん」クリフ・コルソン
「シリバーシートはいらない?!」伊藤 隆二
「おばあちゃん どこいくの…」やまと せいすい
「だいじょうぶ だいじょうぶ」いとう ひろし
「今、親に聞いておくべきこと」上野 千鶴子
「自分を記録するエンディング・ノート人生の引継ぎ帳」高橋 憲一郎
「認知症と診断されたあなたへ」小澤 黙 黒川 由紀子

→午後からは古屋文子トレーナーにバッジ申請に向かっての研修会をして頂きました。





各委員会報告

庶務委員会

- 年間を通して日本連盟から事務局、事務局から多数の連絡事項、資料配布、他団体からの連絡、事務局備品整理、日連需品販売、保険事務等を行っています。
- また、青少年団体連絡協議会の一員として、ねんりんピック、県民の日の模擬店出展の協力を^{行い}他団体との交流を深め、利益は会館の運営の一部に役立てられています。
- (社)ガールスカウト山梨県支部テント貸し出し管理の委託により、管理方法と利用の手順を変更させて頂きました。

指導者委員会

- リーダーの資格更新制度が平成13年度にスタートして、初めての更新年でした。5年間に5単元の取得を容易にするために支部・各地区リーダースクラブ、成人会員研修会の開催、年間を通しての単元認定申請書の受付等、様々な方法でリーダー単元が取得できるよう努力しました。今後もこの取り組みを続けて登録の緩和措置である講習Bの受講による資格更新ではなく5単元取得での資格更新が出来るよう配慮していきたいと思います。日本連盟では1年間に5単元の取得が望ましいとしています。研修を積んで楽しいスカウティングに繋げていきたいと思います。

財務委員会

- 11月19日開催の支部バザーでは遊休品、金券等の寄付が年々少なくなる中、大きな成果を収め、また各団の個性ある手作り品の販売で楽しいバザーになった事など、ガールスカウトに関わる多くの皆様のご協力によるものと御礼申し上げます。
- また、特別賛助会員募集についても、社会の変化と共に非常に厳しくなっていますが一人でも多くの皆様のご協力をお願いいたします。(成人会員でも特別賛助会員になります)
- これらの事業から出る収益がすべてスカウト活動に還元されているということを改めてお考え頂けると幸いです。

教育活動委員会

今年度は、愛宕山こども祭り、支部ギャザリング、南関東ギャザリング、ねんりんぴっく、プラカード持ち、ジュニアモデル事業、バッジ申請を担当しました。支部・南関東ギャザリングではスカウト実行委員の逞しさを目の当たりにし、次代を担う少女たちが眩しくさえ感じられました。ジュニアモデル事業は本県支部においては初めての試みでしたが、大人の不安をよそに、ジュニア部門のスカウト実行委員がすばらしい企画・運営をし、各団においてもスカウトが協力し合い、大成功の大会となりました。今後もこのすばらしい少女たちがガールスカウト活動をしていることを誇りに思い、それを実生活において活用できるよう支援していきたいと思います。

組織委員会

今年度は会員増強のためのアクションプランに力を入れてきました。支部、並びに団委員長会議において各団の進捗状況を報告し、意見交換することで山梨県支部全体の大きな課題とし、日本連盟の提示した5%増に取り組んできました。また、団活動を支部が支援するにはどうしたらよいかを把握するため、団訪問を行ふことにしました。本年度は1ヶ団の訪問に終わりましたが、支部長、副支部長、組織で訪問し、団の運営状況等見学し団委員長さん方の率直な意見を聞き、支援にも結びついたと思います。残念な事は、何度か話し合いを行い、団復活に繋がるかと思っていた20団が廃団となってしまいました。団の存続は、信頼できる環境、お互いの価値観を共有することの大切さを学びました。今年度の財産は来年度に生かしたいと思います。

広報委員会

ガールスカウトの活動を大勢の方に知ってもらうため、「こども祭り」や「ねんりんピック」などの県の行事や甲府市女性センターで開催される「びゅあ甲府フェスタ」「社会振興フォーラム」などに参加しています。また今年は支部のホームページをリニューアルしました。

今年度はアクションプランの強化が最重要課題となっていましたが、大切なのはスカウト活動をアピールすること。そのための一冊の広報(宣伝)部員はスカウトのみなさんそのものだと思います。皆さんのがんばりの姿勢をアピールして下さい。



支部バザー

平成18年11月19日(日)
於 リバース和戸



<支部バザー売り上げ金額>

遊休品	221,100円
金券	134,105円
バザー売上金	
計	355,205円

→ 支部バザーの様子。
がくとのうござい
ました。多



会員増強アクションプラン

- 日本連盟より会員増強の強化が発信され、山梨県支部でも総力を挙げ取り組んできましたが、少子化が進むにつれ、会員減少は歯止めがかかりません。今年度は、支部全体でアクションプランを強化し、団委員長会議のたびに、会員数の現状維持と増強、地域との連携、団が円滑に運営されているか等、各団の進捗状況を会議の中に取り入れてきました。その結果、各団の実態が把握でき、会員減少の歯止めに繋がればと思っています。会員の増強に関しては、議場で解決できる問題ではなく、やはり現スカウト活動に参加している会員、ならびにそのご家族の方の多大なるご協力が不可欠です。スカウト活動の素晴らしさや楽しさを、大勢の一般の方に知ってもらうことがまず第一歩です。会員が増えることで、より一層の楽しく有意義な活動に繋がるでしょう。また今までやりたくてもできなかったような活動ができるようになるかもしれません。そしてたくさんの新しい仲間との出会いにも発展していくことでしょう。集会にお友達やそのご家族を誘って見て下さい。百聞は一見にしかず!友情の輪を大きく広げましょう。



ヤングリーダー会 梨姫～Nashikko～

次代のガールスカウト山梨県支部を担う、若いリーダーたちの育成を図るために三十代までのリーダーが集まり【梨姫】が誕生しました。9月台風がやってくるというニュースもなんのその(?)6名の姫たちが集まり懇親会と意見交換会を兼ねたバーベキューを行いました。各団の活動のこと、お仕事のこと、プライベートなど楽しいおしゃべりと美味しい食事!あつという間の1日でした。今後も互いに励ましあい、楽しい会を催したいと考えています。ヤングリーダー大募集中です!

Nashikko



→【梨姫】メンバーです!名前
の由来は「山梨の姫」で、
よろしくお読みください。



B.S日本ジャンボリー

→2万人を超えるB.Sの全国キャンプ「日本ジャンボリー」の開会式の様子。人の多さにビックリですね。



8月2日から8日まで、石川県で行われたボーイスカウトの全国キャンプ、日本ジャンボリーに参加しました。海外からの参加隊も含め総勢2万人を超える、大規模なキャンプでした。B.Sの活動の様子から多くの学びがありましたが、同時にG.Sの魅力を再認識する機会にもなり、とても良い経験になりました。

2団リーダー 森川 佳央里



ピースパックプロジェクトⅡ～ミャンマー難民の子どもたちとともに～

私たちガールスカウトは平成17年度から国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と協力して【ピースパックプロジェクトⅡ～ミャンマー難民の子どもたちとともに～】と題し平和提唱事業を行っています。平成16年度までの10年間はアフガニスタンの難民の子どもたちに文房具などを贈る活動を続けてきました。その第2弾がミャンマーへの活動です。日本では当たり前のように教育を受けられますが、世界には学びたくても学べない同世代の子どもたちが大勢います。そういう子どもたちのために私たちガールスカウトが出来ることとして、遊休品文具などを集め、難民キャンプの子どもたちに贈っています。今回はノート・鉛筆・消しゴム・鉛筆削り・ボールペン・色鉛筆・落書き帳を巾着袋に入れ、メッセージを添えて贈りました。今後もこの活動を通して、難民について理解したり、難民が生まれてしまう世界情勢や社会、平和についてなど考えることの出来る人材育成を進めて行きたいと考えています。

ピースパックプロジェクト 山梨県支部発送箱数
ピースパック27箱 くつ3箱 計30箱

～後期事業開催報告～

指導者委員会・年間事業計画の「リフレッシュキャンプ」に県リーダースクラブ・講習Cと並行開講され、河口湖湖畔「明光山キャンプ場」で合同キャンプを実施しました。

晴天に恵まれ、すばらしい景観のキャンプ場でした。“思いっきり自然・楽しもうキャンプ”をテーマに富士山を真正面に河口湖と鵜の島を眼下に思いっきりリフレッシュしようと、9月2日～3日の一泊二日のキャンプを体験しました。昨年の戸隠キャンプの体験を活かし、指導者委員会のお力を借りて、リーダー相互の親睦と友情を深め、今後の活動のエネルギーの源を作る事を目的とし実施した結果、とても楽しく達成できたと確信しました。特にクラフトの“ロープ結び”いろいろのミニチュアボードはすばらしいものでした。

10ヶ団・19名の参加でした。ご協力有難うございました。お陰様で、平成17・18年度事業を終了する事ができ、感謝申し上げます。今後もどうぞよろしくお願ひいたします。

会長 中島 文子



箱詰作業をするシニア

難民の子どもたちの
心に暖かな灯が
燈りますように

ピースパックプロジェクトⅡ
Peace Pack Project II

メッセージを綴るブラウニー



ガールスカウト運動へのお説明

少女たちの育成に あなたのお力を お貸しください

ガールスカウト山梨県支部では、県内各地全14ヶ団でスカウトたちがキャンプや地域への奉仕活動、子どもの居場所作り推進事業などの様々な活動を行い、またミャンマー難民支援「ピースバックプロジェクトⅡ」、ネパールの女性の自立支援を目的とした公民館建設、「MOTTAINAI運動」地球温暖化対策運動「チームマイナス6%」など世界規模の課題にも自分たちで出来ることから取り組んでいます。

これらの推進活動を進めていく中で、少女たちが責任ある世界市民の一人として、自ら考え行動できる人となることを目指しています。少女たちの未来と夢の実現のため、私ども山梨県支部の活動に対し多くの方々にご理解と、ご賛同を頂けることを祈念しております。

特別賛助会員として ご支援・ご協力ください

特別賛助会員には、個人会員と団体会員があります。対象はガールスカウト会員及び一般の方です。ガールスカウト活動の主旨にご賛同頂き、ご協力頂けます事を心よりお願い申し上げます。詳細は事務局へお問い合わせください。

ガールスカウト山梨県支部事務局
TEL・FAX 055-228-6637



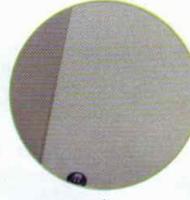
お知らせ～庶務委員会と財務委員会より～

～財務委員会より

支部需品販売のお知らせ

山梨県支部オリジナルの需品です。集会のお供に!お友達や他県のスカウトへのプレゼントにいかがですか?また、今後の需品作成にあなたの欲しいグッズをぜひ知らせてね!

山梨県支部シール …… 大¥150 小¥80
山梨県支部ピン …… ¥350
クリアファイル …… ¥60
一筆箋 …… ¥150
ナルゲンポット …… ¥800
アルファ米 …… ¥200円(数種類あります)

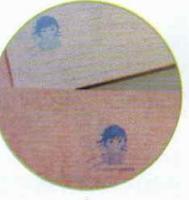
↑
山梨県支部シール↑
山梨県支部ピン↑
クリアファイル

～庶務委員会より

紺パンツ販売の お知らせ



支部として、リーダー用に制服に準ずる服装と決定し紺色のパンツを新規に取り扱うこととなりました。サイズは7号～17号、裏地あり(8,190円)、裏地なし(5,140円)の2種類があります。野外活動や寒さの厳しい日の活動に、是非ご活用ください。

↑
一筆箋↑
ナルゲンポット↑
アルファ米

ホームページリニューアル

山梨県支部のホームページがやっと何とか形になり、10月10日リニューアルオープンとなりました(笑)。スカウトやそのご家族だけでなく多くの皆様にご覧頂きたいと考えています。お時間のある時にぜひおぞいてみてください。

URL <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/>



編集後記

大変お待たせいたしました。支部便り完成しました。本年度も合併号となってしまいましたが、年度の締めくくり☆内容の充実したものが出来たと思います。お忙しい中、原稿執筆にご協力いただいたリーダー、スカウトの皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございました。19年度もスカウティングの楽しさ、素晴らしさを支部便りやHPでお伝えしていきたいと思います。広報委員会の活動に変わらぬご支援を(*^_^*) 広報委員会メンバー一同



支部ぼり

Girl Scouts of Yamanashi

平成20年3月

社団法人 ガールスカウト日本連盟

山梨県支部

〒400-0811 山梨県甲府市川田町506

山梨県立青少年センター内

TEL.FAX. 055-228-6637

E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp

http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/



ジュニア・シニア・レンジャーのつどい／2007.11.11./甲斐市 双葉水辺公園



支部長挨拶 ~1年をふりかえって

この1年間、団運営の充実・会員増強を最重要課題として、成人会員の皆様にはアクションプランの下努力をして頂きました。その甲斐あって、他県支部に比べ当支部は何か減少を食い止めており、成人会員においては増加させることができ、日本連盟からお褒めを頂きました。

プログラムの充実では、本年は【日韓ガールスカウト交流事業】に初めてチャレンジし、多くの方々のご支援の中、年長スカウトの意欲を掻き立てることができ、【ジュニアの集い】では各団のジュニアが去年に引き続き自主企画で個性のある楽しい企画をされました。また【支部バザー】では「もったいない運動」の下たくさんの収益を上げるなどそれぞれみんな頑張っているなという実感です。

これからスカウト活動は、今の社会において必要不可欠であると信じ、今行っていることにもうひとつ上乗せできる努力をひとりひとりが実践したらもっと良い活動につながると思います。みなさん来年度も自分にできる実践を一つでも二つでも行いましょう。社会に役立つことのできる女性を目指して。

ガールスカウト山梨県支部 支部長 佐藤 秀子

Girl Scouts of Yamanashi ha Team Minus 6% &

ガールスカウト山梨県支部は

**「チームマイナス6%」
「MOTTAINAI運動」**

に取り組んでいます。

MOTTAINAI UNDO ni torikundeimasu

* 19年度支部事業 *

5月… 山梨県こども祭り

6月… 「ダメゼッタイ」国連支援募金
リーダー養成講習C

7月… 支部ギャザリング

8月… 日韓ガールスカウト交流事業

9月… ねんりんピックプラカード協力
ぴゅあ総合(甲府)

10月… ぴゅあ総合(富士・東部)

11月… ジュニア・シニア・レンジャーのつどい
支部バザー

1月… ピースパックプロジェクトII

2月… 支部シンキングデー
リーダー養成講習A

3月… リーダー養成講習B

1. 支部長挨拶

2. 日韓ガールスカウト交流事業

3. みどりあつまれ
みどりとあそぼ4. ランチ会員登録
ランチ会員登録5. 全国キャラバン
キャラバン6. 各団の行事
各団の行事7. 団委員長会議
会議8. お知らせ・募集情報
お知らせ・募集情報

日韓ガールスカウト交流事業

2007年7月26日(木)~8月1日(水)



日韓のガールスカウトの友好をはかるため、韓国から12名のスカウトとリーダーが山梨にやってきました。お迎えする私たちは期待以上の緊張感でドキドキしていましたが、成田空港に着くなりのパワフルで明るい韓国スカウトに圧倒されつつも、すぐに親しくなることができました。なんといっても心配だったのは言葉と生活習慣の壁。それは韓国スカウトも一緒でしょうが、その不安を表面に出さず、身振り手振りを交えながら、なんとかコミュニケーションをはかろうとする韓国スカウトの姿勢に、とても助けられました。どんなことにも興味を持って、知ろう、体験しよう、身に付けようという熱心さと向上心はすごいなと感心。また、感情表現が豊かで、素直に尊敬と感謝を表すことが身についていることに感動しました。

滞在期間中は、山中湖での支部ギャザリングに参加し、山梨県支部の同世代のスカウトとふれあったり、甲州民家に宿泊しバーベキューを楽しんだり、県内各所にわかつてホームステイを体験したりと盛りだくさん。山梨の猛暑には本当に参ってしまったようだけれど、暑さを吹き飛ばすパワーで、1週間をめいいっぱい楽しんでくれたと思います。

フェアウェルパーティでは「まだ帰りたくない！」と泣き出してしまう韓国スカウトも。私たち実行委員会にとっては最高の謝辞だったと思います。



韓国スカウトたちとご対面



タイを結んであげました



ギャザリング…真剣!



バーベキュー中。



パーティのウェルカムボード



帰りたくなあ〜い(T_T)

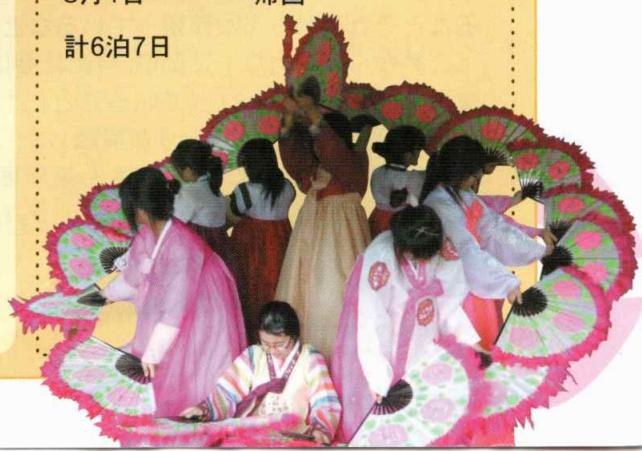
もっとタレ
ちょうどいいいっぱい
食べなさい!

行動表

- 7月26日 ウェルカムパーティ
 - 7月27日~28日 支部ギャザリング
 - 7月29日 甲州民家 BBQ
 - 7月30日~31日 ホームステイ
 - 8月1日 帰国
- 計6泊7日



浴衣とチマチョゴリ♪交換体験



↑飾り旗

↓日韓青少年交流事業表紙



みんな集れ～自然とあそぼ！ ～ジュニア・シニア・レンジャーのつどい～

2007年11月11日(日) 双葉水辺公園

前日までの雨はやんだものの、朝から薄曇の天気に、スタッフはヒヤヒヤしていましたが、県内各地から集まってきたスカウトたちはとても元気いっぱい。何せこの日のためにみんな一生懸命に考え、準備してきたのですから！

各団のブースは、ゲーム、クラフトと趣向を凝らしそれぞれが団のカラーを持って個性豊かでした。また、リーダーたちからは旗揚げや、救急法などの指導。ヤングリーダーとフレンズは餅ピザとサモアのクッキングと盛りだくさん！！スカウトだけでなく、一般のお客様にも楽しんでいただくことができました。

みんなの笑顔がお日様を呼んだのか、午後には美しい虹がかかりました。とても楽しい秋の1日をみんなで過ごすことができました。



↑「ロープ結びクラフト」



↑「いなずま脱出ゲーム」

絡まるよ～

各団ブース♪

- 1 団… ちいさなおかしやさん
- 2 団… 切り絵 松ぼっくりクラフト
- 3 団… ボーリング & 輪投げ
- 4 団… ナチュラルカレンダー
- 6 団… ひっつき虫ダーツ
- 9 団… ロープで遊ぼう♪♪
- 10 団… お茶会・民話の紙芝居
- 12 団… どんぐりころころボーリング
- 13 団… ビンゴでGo！
- 15 団… ビンゴ探検隊
- 17 団… 赤・白・ゴーゴー(手旗)
- 19 団… わたしはだあれ？
- フレンズ1… ハートのキーホルダー
- フレンズ2… いなずま脱出ゲーム
- ギャザリング実行委員会… 折紙でチマチョゴリ
- 南関ギャザリング… ハンドゲーム
- レンジャー… サモア
- 梨姫… 餅ピザ
- トレーナー… 規律訓練
- SCAPP… 救急法



=参加スカウトの感想=

私はシニア・レンジャーの集いにフレンズの一員として参加しました。フレンズでは数種類のブースをし、私は「いなずま脱出ゲーム」を担当しました。このゲームは数本の木の間にロープを縦横無尽に張り巡らし、数人が手をつないだままそのロープに触れないように移動しゴールするというものです。担当者みんなでいろいろ話し合い考えました。当日、午前中は少し暇でしたが午後になるとたくさんの人が来てくれて、忙しいくらいでした。でも、ゲームを企画した私たちも楽しかったし、他団のスカウトとも交流ができ、とても良い経験になりました。またこういう機会があったら参加したいと思います。

第10団 シニア 竹田 翔子

私たち15団はジュニアモデル事業で「ビンゴ探検隊」をしました。ビンゴカードに書かれた質問を双葉水辺公園内を探検しながら探し出すゲームです。15団は公園内の丘の上だったので、他団の様子が良く見えました。みんなで大きな声で「15団のビンゴ探検隊に来てください！」と何回か言うと何人か来てくれました。ゲームでは意外とビンゴになる人がたくさんいました。交代の時間になるとパトロールのみんなでどこに行くか相談しました。たくさんのブースがあったのでどこに行こうか迷いました。午後は少し雨が降ってきましたがすぐにやんだので良かったです。このシニア・レンジャーの集い/ジュニアモデル事業に参加できてよかったです。またこういう機会があったら参加したいです。

第15団 ジュニア 鈴木 葉子



ビンゴ探検隊



旗しっかりと持つて



みんなで仲良くなれる

ダメゼッタイ!!麻薬撲滅キャンペーン

2007年6月23日(土) オキノリバーサイト1団



ダメ。ゼッタイ。

私は以前「麻薬が自分の身近にある」ということをいろいろな人やメディアから知りました。しかし、あまり実感ができていませんでした。麻薬撲滅の為の募金活動に始めて参加させてもらい、麻薬にはたくさんの種類があり、またピンクや水色など様々な色について見て見た目はかわいいものが多いということを知りました。その見た目に騙されて手を出してしまう人もいるのではないか？と私は思いました。この活動を通して麻薬の怖さ、危険などを改めて感じました。「麻薬は自分には関係ないからいい」という思いを抱いている人は決して少なくないと思います。私もそう思っていました。しかし麻薬について手を出してしまった苦しんでいる人が多くなっているのが現状です。もっと麻薬のことを理解し、ちゃんと考えて行動していきたいと思います。また、麻薬がなくなり、多くの人が安心して生活できる世の中になればいいと思いました。

第1団 シニア 有賀 奈緒美

シニア全国キャンプ

2007年8月6日(月)~9日(木) 戸隠ガールスカウトセンター



8月6日~9日の4日間、長野県戸隠のガールスカウトセンターで開催された「シニア全国キャンプ」に、山梨県支部から8名(2団3名、9団2名、10団2名、17団1名)が参加しました。

初日朝10時半の長野駅には、夜行を乗り継いだり、朝一番の新幹線を使ったりして全国からスカウトが集まってきた。360名の中の8名は、緊張気味で言葉も少なげ。でも4日後に同じ場所で再会した彼女たちは、とても元気に帰路に向かう他県のスカウトと声を掛け合っていました。「行ったことがない県の人達と友達になって、方言とか教えてもらったりして、とても楽しかったです(9団平澤さん)」と、収穫はそれぞれに大きかったようです。山梨に向かう電車の中で、「今度はリーダーになって、戸隠に来ない?」聞くと、「まだまだ技術は未熟だけど、頑張ります!」という心強い返事と笑顔が、みんなから返ってきました。

エコキッズに参加して

2007年9月22日(土) 小瀬スポーツ公園

私は初めてフレンズで「エコキッズ」に参加しました。エコキッズはサッカーチーム「ヴァンフォーレ甲府」のホームゲームの際、会場で販売される飲み物を入れたプラスチックのカップを回収して100円を返金する「リユースカップ」のボランティアです。試合が始まっていますはカップを返してくれる観客は2~3人しかいませんでした。でも、だんだん試合が終わりに近づくとカップを返しに来るお客様が増え、試合終了後は大勢のお客さんが返しに来て、休む暇もありませんでした。みんなと力を合わせ、流れ作業でお客様を待たせないようにがんばりました。また、返しに来たお客様にはみんなで「ありがとうございました!」とお礼を言いました。ありがとうございましたの言葉で返しに来たお客様も、返してもらった私たちも気持ちが良くなれたと思うし、また借りたいと思ってもらえるのではないかと感じました。エコキッズでリユースカップの活動に参加してみんな地球のことを考えてくれているんだと思うとなんだか嬉しくなりました。これからもずっとエコに心掛けていきたいです。

フレンズ 第17団 シニア 山本 瞳



観客の皆さんにエコを呼びかけました!

南関東地区ギャザリング

2007年9月15日(土)~17日(月)

今回の南関東地区ギャザリングは、9月15日~17日の2泊3日、千葉県支部が主催で行われました。参加者は南関東地区(東京都・神奈川県・山梨県・千葉県)シニア・レンジャースカウト92名でした。山梨県支部からは、スカウトが6名(1団2名、9団3名、17団1名)が参加しました。その成果は、県支部の2008年ワールドシンキングディーのハンドゲームでも発揮!?



=参加スカウトの感想=

今回のギャザリングは『みんなのしあわせ~限りある命限りない挑戦』をテーマに3日間が進んでいきました。1日目は、ディズニーアカデミーの方の講演を聞き、ディズニーランドで働く人の小さな心遣いや私たちお客様に対する接し方、工夫していることなどを学ぶことができました。2日目は『幸せ』について話し合いました。皆がいろんな意見を出すことで、自分にはなかった見方・考え方を発見できました。他にも『相手を思いやること』や『相手が幸せになるには?』などについて話し合い、自分にも出来ることを見つけることが出来たので、自分の生活に生かせています。3日目では、午前中だけの短い時間でしたが、たくさんの思い出ができました。私は今回がギャザリング初参加でしたが、『3日間一人だったら…』『話し合うことができるかな』とともに不安でしたが、パトロールのメンバーとはすぐに話すことができたし、皆でたくさんの意見を出し、よい話し合いになりました。そして、今でも手紙交換をしている友達ができたことがとても嬉しいです。私は今までにギャザリングに出れなかったことが、悔しくなりました。これからのギャザリングには、できるだけ多く参加していきたいです!

第9団 シニア 保坂 菜津紀



ガールスカウト全国ギャザリング

2007年12月22日(土)~24日(月) 国立オリンピック記念青少年総合センター



私は今回参加した全国ギャザリングにおいて、たくさんのものを得ることができました。同世代の女の子たちとの真剣なエイズの話し合いで自分の意見を伝えることの大切さ、また自分とは異なった意見を持つ人の考えもしっかり聞く柔軟さを養えたと思います。また、名前の通り日本各地から参加しているスカウトと仲良くなり、メールや文通をする友達を得ることもできました。たった一人では立ち向かうことが不可能なことでも、同じ志を持った者たちがつどえばどんな問題も解決まで導けるのではないかと私は思うことができました。今回の全国ギャザリングは私にとってそれほどの大きな収穫となりました。これからもガールスカウトの活動をがんばっていきたいです。

第1団 レンジャー 竹本 夏希

1. 支部長挨拶

2. 日勢ガールスカウト登録案

3. みんなあつまれ!

4. ジュニア定期手帳

5. ガールスカウト牛丼

6. 全国ギャザリング

7. 各団の行事

8. お知らせ・編集部



ガールスカウトの船

2007年12月26日(水)~27日(木)



ガールスカウトの船に参加して

私は2007年12月26日から27日までという短い間でしたが、東京都支部主催の“ふじ丸”的船に参加してきました。とても大きい船だったのでびっくりしました。船の中ではJr.からでも楽しめる10数種類のブースが用意されて2日間楽しめたのでとても良かったです。また、私はこの船に参加する前にガールスカウトギャザリングの全国大会があり、そこで知り合い仲良くなった友達も一緒に船に参加していたのでより楽しい船の旅になりました。2日間という短い期間でしたが、貴重な体験が出来たのでとても良かったです。ありがとうございました。

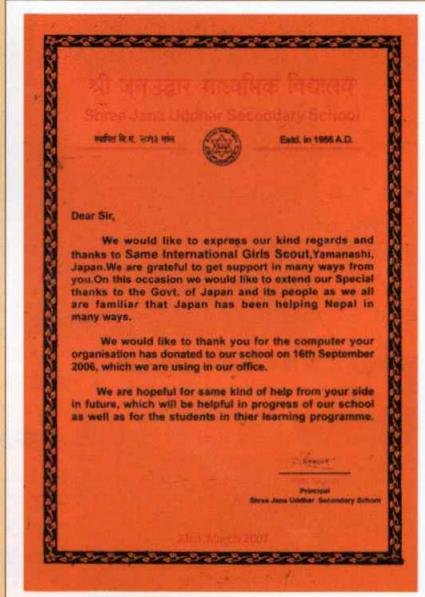
第2団 レンジャー 清水 美加



フレンズの活動が表彰されました

2007年3月、ネパールの首都カトマンズ郊外に「SAME NEPAL山梨ガールスカウト2007KOMINKAN」がオープンしました。1998年、山梨で開催された南関東ギャザリングでの基調講演(講師: SAMEインターナショナル 有泉俊子さん)でネパールの学校や教育の現状が語られ、当時のスカウトが自分たちで資金を集め、ネパールに学校を建てようと立ち上がり、後年、県内各団からの有志スカウトが集まり【フレンズ】として活動を継続してきました。8年の歳月の中で、フリーマーケットや募金活動、古切手、はがきの回収などの活動を行い、その活動が評価され、青少年育成会議で表彰されました。また「フレンズの軌跡」と題し、男女共同参画センターで行われたフェスタで今までの活動について発表し、大変な講評をはくしました。フレンズの活動は、これがゴールではなくまだまだ通過点。これからも【三つのちかい】を胸にがんばって行きたいと思います。

ネパールからの感謝状→



Congratulations!!

上記の他に19年度に表彰された団体・個人を紹介します。表彰された方々、おめでとうございます。

・第12団／児童福祉功労 団体30年継続 表彰

・第2団／小野 加代 姉 青少年育成山梨県民議会 表彰

・第1団／ジュニア 一瀬 百合子 甲府市なでしこ賞

・第1団／シニア 深沢 夏希 國際交流作文コンテスト佳作

・第1団／シニア 塚田 由季穂 Spirit of Community ボランティアスピリット賞



ネパール/KOMINKAN前で。





13団 発団30周年記念旅行 大阪～京都～滋賀

2007年8月、13団は発団30周年記念旅行のため関西地方に行きました。1日目は大阪城や海遊館に、2日目はユニバーサルスタジオ、3日目は京都見学や滋賀1団との交流会をしました。交流会では滋賀1団のスカウトが滋賀県や団について発表してくれました。私たち13団からは『デンデン虫』の歌の替え歌を13団の歌として歌いました。また、方言クイズもしました。みなさんは甲州弁で『わにわにしちょし』の意味が分かりますか？これは【ふざけるな】という意味です。劇でクイズを出してみんなで楽しみました。滋賀1団の方にもウケが良かったです(笑)。短い時間でしたが滋賀1団の方と友好を深めることができました。ガールスカウトという共通点があるだけで他県の団と交流を深めることができ、「おきて」にあるとおりガールスカウトは姉妹だと改めて感じました。また、滋賀1団にはヤングリーダーが多く、うらやましかったです。想い出に残る旅行でした。

第13団 シニア 依田 萌



琵琶湖の前で、集合写真!!



滋賀のスカウトと交流



19団 お米作りに初挑戦!!

お米作りの経緯

H19. 6月／田植えに参加

初めて田植えをする子ばかりで、子供達も大きな田んぼを見てビックリしていました。どうなるかな？と思いつきましたが、途中から慣れた手つきでどんどんスピード倍増。

H19. 10月／稲刈りに参加

金色にたわわに実った稻穂。。こんなに大きくなるんだあ～と不思議に思ったブラウニー達。さっそく稲刈りスタート。さてさて、ちゃんと刈られるのかしら?? 頑張れ19団(^_^)

H20. 1月／食育を兼ねての新年会

インフルエンザで欠席の子が多く、急速お父さんやお母さんにも参加してもらい、みんなで巻き寿司を作りました。実は父母達も初めて作るので、一生懸命に指導して下さったスキャップの方々の話を聞いてました。ご飯も2升炊き、かなりの量になりました。



食育のお勉強中。



みんなで巻き巻き



出来上がり♪



17団 八ヶ岳カンティフェアリサイクルステーション



いろんな種類別に分別



みんなで協力



八ヶ岳の麓、清里で毎年秋の2日間に渡り「八ヶ岳カンティフェア」という大きな収穫祭が行われます。2007年はこのお祭りが20周年。そして私たち17団も発団して20周年ということで、カンティフェアで出るゴミの分別をするリサイクルステーションを2日間お手伝いさせて頂きました。私たち17団の今年度の活動テーマであった「環境」にも沿った内容もあり、細かいゴミの分別の勉強やゴミを捨てに来るお客様との交流の中で、様々な発見があり、よい体験ができました。これを機に毎年協力をさせていただけのこととなり、今後も張り切って活動を続けていきたいです。

自然と遊ぼう!!~木の実や小枝でクラフト

10月27日(土) 都留市宝鏡寺 企画担当:15団ヤングリーダー

山梨県社会教育振興会の依頼で、一般の方たちをお迎えしての体験交流会「自然と遊ぼう!!」を開催しました。天気はあいにくの雨(>_<) クラフトの材料となる小枝を自分たちで拾いに行く予定でしたが、あらかじめ準備していた小枝を使うことにしました。参加人数は50名ほど。3つのグループに分れ【どんぐりトトロ】を作りました。作っている間、大人も子供もみんな時間を忘れて夢中にトトロを描いている姿が見られました。また、クラフトの他【お絵かき伝言ゲーム】、広げた新聞紙1枚分に何人乗ることができるかを競う【マスゲーム】、【長いものゲーム】など大変盛り上がり、一般の方たちとの交流を深めることができ、とても良かったです。

山梨県リーダースクラブ 山梨の昔話とわらべ歌

10月26日(金) 青少年センター わらべ歌

リーダースクラブの前期事業で「山梨昔語りの会」の皆様を講師としてお迎えし【昔語り】【わらべうた】【手遊び】の講習会を開催しました。

山梨の方言を使っての【昔語り】の朗読には、参加した人々が話の中に吸い込まれるように興味深く、気を引くものでした。

会場もそれらしい飾り付けをしてとても良い雰囲気の中での開催でした。

わらべうたは懐かしい唄と手遊び、集団で遊ぶ『おすわりやす』など、昔を思い出しながら歌ったり、教えてもらったり、ゲームをしたり…。なんと楽しいひと時を過ごしたことでしょう!!!集会等にすぐに取り入れられる手ごろな唄と遊びばかりでした。

会場は、笑いと楽しさと熱気で約2時間があつという間に過ぎ、お別れするのが名残惜しいひとときでした。

シャトー勝沼 団委員長会議

12月4日(火) 団委員長13名 支部役員11名参加

第3回の団委員長会議は、交流会も兼ねて昼食を取りながら、勝沼が一望できるレストランで行いました。通常、支部で行う会議とは全くちがう雰囲気のなかで、各団委員長さん達の笑顔も多くはつらつとしていました。意見交換もスムーズに行われ、より多くの収穫もあったと思います。日頃の慰労も兼ねて、今後も年に1度は交流会を行いたいと思います。



団委員長の皆さん



みんなでハイ!チーズ!!

どんぐりトトロの作り方



↑どんぐりにトトロの絵をペン(ポスターカラー用など)で描き、小枝にボンドで貼り付けて完成!

完成!
だよ!!

中国障害者芸術団【千手観音】山梨公演

10月28日(日) 山梨県民文化ホール 2団&フレンズ

2007年夏、テレビで紹介され話題となった【千手観音】の山梨公演に招待を頂き、2団のスカウト親子、リーダー、フレンズ総勢50名が同じ舞台に立つという栄誉を与えられました。1900名あまりのホールは満席。私たちも中盤まではホールで素晴らしい舞踊や歌に酔いしました。

この公演の出演者はすべて障害者。【千手観音】は20数名すべて耳に障害があるにもかかわらず、音楽に合わせて演技します。まったく乱れのない完璧なまでの美しさは、本当に天から降り立った仏様のようでした。この他のみなさんも生まれながらに盲目の方や、事故で両腕を失ってしまった方などそれぞれが大きなハンディキャップを背負われていますが、それをまったく感じさせない素晴らしい舞台に目頭が熱くなる想いでした。

私たちガールスカウトは、フィナーレで出演者のみなさんと一緒に舞台に上がらせて頂き【We Are The World】と一緒に歌いました。英語の歌で難しかったけれども感動的でした。

この舞台を見て、障害を受け止め、乗り越え、前向きに生きる力を持った出演者のみなさんに、どんなことも簡単にあきらめではない。努力することを怠ってはいけないと教えられた気がしました。



花束贈呈

=団委員長さん方からの感想=

私は昨年の春、第3団の団委員長となり、何をするのかも初めての事で、毎日少しづつ勉強しながらあつという間に1年が過ぎようとしています。年4回の団委員長会議に参加してみて他団のお話を聞いてとても勉強になりました。いつもは支部で行われていますが、シャトー勝沼で行われた会議はいつもより力を抜き話し合うことができました。1年に1度くらいはおいしいお食事を頂きながらお話しする型もリフレッシュできて良いと思います。

第3団 藤井 三代子

シャトー勝沼で食事をしながらの会議は、皆、和やかな中にも建設的な意見が交換できました。ガールスカウトの活動をより活性化し、少女スカウトの成長のサポートができればと考えております。

第9団 小池 洋子

私は支部長の隣の席では、はじめは緊張しましたが、和やかな雰囲気の中でいろいろとお話を伺えてよかったです。

第13団 依田 宣子

1. 支部長挨拶

2. 日常ルール

3. お絵かき伝言ゲーム

4. シニア部員キャンプ

5. 全国キャラバン

6. 各団の行事

7. 団委員長会議

8. お知らせ・掲載情報

1. 支部長挨拶

2. 田舎かわいがり

3. おもつね

4. ジニヤ全国キャラクター

5. 読題特集

6. 全国キャラクター

7. 田舎見聞会議

8. お知らせ・編集後記

フレンズ平和提唱活動

フレンズは、それぞれの地区でバザーや募金活動を行なながら、書き損じハガキを集め、計77,256円になりました。なお、Tell Usカードにつきましては128枚作成し、完売いたしました。ご協力ありがとうございました。なお、書き損じハガキは、年間を通して集めています。引き続きご協力お願ひいたします。

郡内地区バザー	9,700円	
河口湖地区バザー	11,130円	
支部バザー	22,440円	
ネバール募金	8,586円	書き損じハガキ
切手販売	12,600円	40円 1枚
テルアスカード販売	12,800円	41円 428枚
切手(未販売)	(7,860円)	50円 333枚

エコバッグ ¥800-

販売



織シール ¥100-

販売



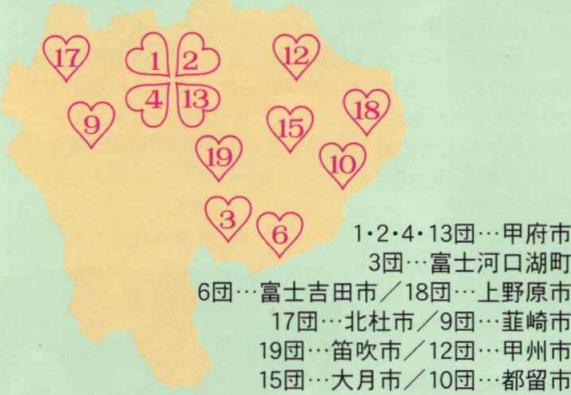
↑デザイン/第4回 レンジャー 小泉 知絵里



↑無料で貸出します。支部へ申し込んで下さい。

山梨県支部～19年度登録者

県内各地に13ヶ団



19年度登録者数…774名 20年2月現在

テンダーフット	3名
プラウニー	77名
ジュニア	138名
シニア	104名
レンジャー	60名
成人会員	392名

各地域、特徴を生かした活動を年間を通して行っています。一緒に活動する新しい仲間を募集しています。学校や学年を超えて私たちと姉妹になりましょう！

ガールスカウト日本連盟 山梨県支部 TEL/FAX. 055-228-6637

募集

- シンボルマーク
- ロゴ
- イラスト(A4程度)
- ポスター
- キャッチフレーズ



第1回締切 4月29日 支部着

支部便りや広報活動用チラシ、展示物、ホームページで使用するため、みなさんからシンボルマークやイラストを募集します。募集する内容は上記の5つ。明るく元気な山梨県支部をイメージして、どんどん応募して下さい。画材など特に指定はありません。PC等グラフィックはCD-Romでデータ化して下さい。作品に団・部門・学年・氏名を記入して下さい(ポスターは裏面)。支部総会の際、集めたいと思います。総会に参加されるリーダーに預けて下さい。リーダーの皆様もご協力お願ひいたします。応募作品は、山梨県こども祭りで展示の予定です。

ピースパックプロジェクトⅡ



ピースパックプロジェクトⅡに協賛し、ミャンマーの難民キャンプの子供たちに文具などを送っています。19年度はピースパック25箱・靴9箱・ピースパック募金30,000円を送ることができました。

編集後記

19年度もまた年度末ぎりぎりの合併号発行となってしまい、大変申し訳なく思っています。この支部便りを読んで「今年も1年間、いろいろがんばったな!私♡」なんて感じてもらえたなら嬉しいです。

来年度は、ガールスカウト日本連盟90周年。山梨県支部だけでなく、全国のスカウトががんばっているんだと意識し、前進と向上を目指したいですね。夏には支部キャンプも開催されます。団を超えて、一緒にスカウティングを楽しむ絶好の機会です。みんなで参加しましょう。

みなさんの活動を内外にアピールできるよう、広報委員会もがんばっていきたいと思います。素敵な情報をたくさん提供して下さい。

広報委員会メンバー一同



支部祭り

Girl Scouts of Yamanashi

No.60号

平成20年11月

社団法人 ガールスカウト日本連盟山梨県支部

〒400-0811 山梨県甲府市川田町506 山梨県立青少年センター内 TEL&FAX 055-228-6637

E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp URL : <http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/>

支部キャンプ

8月17日～20日
国立信州高遠青少年自然の家



高遠の自然は、私たちに大きな思いと力を体験させてくれました。お互いを信じ、励まし、支え合うことがとても大切なスカウティングの原動力になったことを、また4日間がそれぞれに夢や楽しさ、自信や感謝を共有できる空間だったことを・・・。

確かにスカウトの風は吹きました。その風は、今もアドバンストなスカウティングを応援するかのごとく、私たちのまわりに、さわやかに吹いています。

支部キャンプ実行委員長 青木 れい子





<キャンプの感想>

プラウニー編

★キャンプファイアーを楽しみにしていたけれどできなくて残念だった。
★キャンドルファイアーがとっても楽しかった。★ごはんも空気もおいしい！★友達がいっぱいできた。★踊りが上手になった。★タイを作るのがむずかしかったけれど楽しかったマッチで火が点けられた。★もりんとすぎりんに会えて良かった。



ジュニア編

☆カレー作りが楽しかった。うまくできた。練習した甲斐があった。
☆違う団のお友達ができた。☆最初から知らない人で緊張したけれどだんだん仲良くなれた。☆食堂の食事が美味しかった。☆地面が斜めでテントの中で寝るのが大変。☆暗いテントの中で荷物を探すのが大変。☆テントで夜みんなと話すのが楽しかった。怖い話や面白い話をしているとすぐに時間が過ぎてしまう。☆真っ暗になるのがすごいと思った。懐中電灯を使ったことが無いのでふしぎな感じ。☆マッチ1本で火が点けられた。嬉しい！☆風呂で髪が洗えないのがとても苦痛！



<支部キャンプの思い出>

私は、キャンプ中に12才の誕生日をむかえました。2日目の夜、交流ゲームの時にみんながお誕生日の歌をうたってくれました。こんなにたくさんの人にいわってもらったのははじめてだったので、ちょっとびっくり照れくさかったけどとてもうれしかったです。

4日間のキャンプではたくさんの友達とふれ合い、楽しく過ごすことができました。私はキャンプが大好きです。

19団 ジュニア 中村 優里

私は支部キャンプに行って思い出がたくさんできました。3泊4日の出来事全部が私の思い出となっています。開会式・地区ごとプログラム・ガルリンピック・キャンドルファイアーなど、いろいろ楽しいことがありました。雨でキャンプファイアーができず、すごく残念でした。でもキャンドルファイアーもすごく楽しかったです。プラウニー・ジュニア・シニア・レンジャーの出し物や、リーダーの出し物は、とても楽しかったです。

私は、支部キャンプに参加し、友達がたくさん増え、友達との思い出を残せてよかったです。これから支部の行事には参加して、このキャンプで出会った友達と会える時を待ちたいと思います。

15団 シニア 坂本 留海



ガールスカウト ギャザリング

ジュニア 初めてのギャザリングにドキドキ



「自分の可能性を見つけよう」

~自分の意見をみんなに発信しようyo in支部ギャザリンthumb up

7月12日～13日 富士吉田市立青少年センター 習志野市立青年の家

『Say』～自分の意見や言葉を発信しようを合言葉に、今年度はジュニア部門も加わってのギャザリングとなりました。初めて参加するジュニアにとっては「ギャザリングって何？」 「どんなことをするの？」と戸惑いもありました。話し合いの中で、パトロールの仲間一人ひとりから一生懸命意見を引き出そうとするスカウト、頭や心の中にあるものが表現したくても、なかなかうまい言葉が見当たらずにもどかしさを感じるスカウト、中にはうまく意見を出し切れないスカウトもいましたが、パトロールごと真剣に取り組む姿が印象的でした。全体会の発表はお芝居形式や、紙芝居、中にはエンタ風（やっくん）とパフォーマンスを凝らし個性や創造力に大きな可能性を見出せた気がしました。

エジンバラの姉妹に届け 山梨のガールパワー



後期の主な行事

後期
カレンダー

2008年10月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4日／ヴァンフォーレ甲府試合会場でリユースカップ
回収活動(小瀬) 11日～13日／南関東ギャザリング(川崎)
17日～18日／びゅあ富士イベント参加・カンティフェア
リサイクルステーション活動(清里)

2008年11月



日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9日／ジュニア、シニア、レンジャーのつどい(山梨
県考古学博物館) 16日／支部バザー(リバース
和戸) 県民の日イベント参加

2008年12月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5		
7	8	9	10	11	12	
14	15	16	17	18	19	
21	22	23	24	25	26	
28	29	30	31			



三脚 もうちょっとで完成。



慣れないベットメイキングや配膳



タングラム
に挑戦中！

お母さんに感謝！



高校3年生の私にとって、スカウトとしては最後のギャザリングの中で、実行委員長として参加しやすい体験ができました。また、今回からはジュニアも交えてのギャザリングで不安も数々ありましたが、ジュニアもとても良いギャザリングができたと思うので良かったです。今回の参加での貴重な体験をこれから活動に生かして、次はリーダーとしてがんばりたいと思います。

ギャザリング実行委員長 2団 レンジャー 清水 美加

私は、はじめてギャザリングをしました。3つのテーマに沿って意見を発言するので、自分はしっかりパトロールリーダーができるか心配でした。でもそんな心配も明るいメンバーが次々と発言してくれてとても嬉しく助かりました。

発表の時、私たちは【地球温暖化】を紙芝居にまとめ『桜塚やっくん』風に読みました。支部長やリーダー、ジュニアスカウト、清水実行委員長にセリフを言ってもらいみんながとても大うけしてくれたり、まとめ方も良かったといわれて本当に嬉しかったです。

また、同じパトロールや同じ部屋の子達とも仲良しになり友達が増えたと思います。今度の支部キャンプではもっともっと友達を作り楽しく過ごしたいと思いました。

10団 ジュニア 渡辺 幸

支部ギャザリングを通して可能性というテーマのもと色々なことを考えさせられた2日間でした。可能性とは無限のものであり、一人ひとりが考えること、これから何をしたいかと思うことこそが可能性につながるということが解りました。

可能性は人とのつながりにより自分が相手に可能性を与え、かつ相手からも可能性を与えられることがあるのではないでしょうか。これは全世界でも同じことなので、私たちは色々な観点から見ることが大切だと気付きました。

ガールスカウトは活動を通して様々な人と交流があり、その人との交流で自分と違ったものの見方、考え方があり、そこからひとつでもプラスのことが出来れば、それが可能性につながるので、ガールスカウトの活動は私たちに大きな影響を与えてくれていると思いました。私は今回こうして可能性を見つけられたことに感謝しています。

6団 レンジャー 小泉 洋子



みんなで結ぶ五輪の輪



発表準備 がんばらなくちゃ！



2009年1月



日	月	火	水	木	金	土
6				1	2	3
13	4	5	6	7	8	9
20	11	12	13	14	15	16
27	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
	31					

25日/成人会員研修会

2009年2月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

22日/ワールドシンキングデイ
22日/講習A

2009年3月



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1日/講習B 7日/講習B
14日//バッジ申請・登録事務

団運営者のための研修会

5月24日 山梨県立青少年センター

参加者 30名 講師 小野リーダー

内容～組織とその運営の説明／役員とその団委員会の持ち方

委員の役割／広報活動の仕方

各団と支部の活動のビデオ鑑賞

午後 分科会 リーダー 書記会計 スキップ

団委員長に別れ部門別に話し合う。

団委員長部門要望

支部便りにカレンダー載せて欲しい

スキップ部門要望

スキップがリーダーの資格あると、リーダー側も
要請し易い。

団委員長会議とはまた違う他の団役員さんと仲良くなり、新鮮で
良かったです何よりガールスカウトに対して取り組み方が団によって
違い勉強になりました

3団 団委員長 藤井 三代子

成人会員研修会

7月6日(日) 愛宕山少年自然の森

支部キャンプを控え、リーダーのキャンプ技術のための研修会が行われました。今回は高遠青少年自然の森で開催されるドーム型のテントの設営と撤営の練習をしまして建てるというリーダーも割りと多く、またメーカー組み立て方も多少違うのですが、みんなで声を掛けながら40分程度で設営、撤営ができました。

基律訓練では整列や旗揚げ、笛の合図の確認など大人になってから整列することはほとんど無いため、整然とということにどれほど意識が必要かが判りました。

トレーナーの指導のもと、3グループに分かれて火熾しでは「スクート」という新聞の火種の工点火できることを学び、救急法では三角巾等を使つて、キャンプクラフトでは三脚やすじかいしばりに悪戦苦闘してリーダーとしての自身に繋ぐことのできる研修会となりました。

イギリス エдинバラのサブキャンプ



【FESTIVAL】をテーマに世界のお祭りを題材にしたキャンプ。日本のお祭りとして【吉田の火祭り】を紹介して下さいました。山梨のスカウトとして大変光栄ですね。

支部ギャザリングで撮った写真とともにポスターと資料を送りました。吉田の火祭りは夜祭なので富士山黒いのかな？

これを機会にいつか本物の火祭りを見に、世界のスカウトが来県してくれると嬉しいですね。

4団からの報告

集会や野外活動、アメの袋などのち袋を出すのもちょっと恥ずかしい。そんなときには、箱!!お菓子を食べてもポイ捨て防止で、かばんに付けらお供します。

レンジヤーキャンプ（ガールスカウト全国キャンプ）

7月31日～8月5日 戸隠ガールスカウトセンター

今回のレンジヤーキャンプは、7月31日から8月4日の5日間戸隠のガールスカウトセンターで行われました。参加者は全国から138人で、山梨からは、3人参加しました。参加者の中には、USAのスカウトもいました。同じパトロールには、広島、青森などいろいろな県からのスカウトがありました。沖縄米軍キャンプに駐留していて、アメリカンスクールに通うスカウトもいました。言葉や文化などの違いだけでなく、共通点の発見も多かったです。

2日目には、自分の都道府県を写真や名産品、伝統芸能などで紹介するという企画や暗闇探検隊がありました。巨峰と桃のキャラメルと信玄餅で、山梨をアピールしました。3日目は、ミセスウェストン祭で、式典やクラフトなどをしたり、キャンプファイヤーをしました。4日目は、選択プログラムで、登山やカヌー、そば打ちなど、自分の選んだプログラムで、私はカヌーに参加しました。企画がいっぱいの楽しく充実した5日間でした。

9団 レンジャー 上野 由加里

支部キャンプ

3泊4日の支部キャンプで、支那の山で、あぐねるばかりで行動が制限されるところと感謝の気持ちで、今、強く感じたことは無いんだと事前準備で、また、やはり何よりも体験、チャレンジするもん！」と胸を張って語りました。

最初3人でスタートして、相談できる人がいなかったが加わり、地区長・副地区長がキャンプ中には大変でした。

ンプ技術の向上<ドームテント設営の訓練・基律訓練>火熾し 救急法 キャンプクラフト



↑スカート状に広げた部分に小枝を置くと落ちないので着火しやすい



↑すじかいしばりに悪戦苦闘

アイデア発信ぞーす！携帯ECOごみ箱

どで出る、おやつの
っとしたゴミ。ゴミ
と面倒だなあ(ー▲ー)
この『携帯用ECOごみ
後のゴミから作れて、
る！まさにECO☆
るので、どこへでも



●作り方●

- ①食べ終わった「プリングルス」ミニ缶の空き容器を用意する。
- ②容器の表面をデコる。紙に絵を描いて貼る、模様のついた紙を切って貼る、お気に入りのシールを貼る、好きな芸能人の切り抜きを貼る！などなど、自分の好みで飾ってみよう♪
- ③ひもを通す穴を開ける。フタと本体に、2ヶ所ずつ穴を開けます。
- ④穴にひもを通す。フタ1→本体1→本体2→フタ2とひもを通して、輪っかになるようにする。ひもをフタにも通することで、フタが無くなるのを予防できます。ひもは、普通のひも以外にも、リボンや毛糸、刺繍糸を編んだりと、色々楽しめます。
- ⑤かばんに付ける。完成☆彌

表面を綺麗に仕上げたい人は、透明なテープや図書用フィルムを貼ると、貼ったものがはがれず汚れにくくなります。大きさ・強度・形など、プリングルスがオススメNo.1ですが、家にある他の空き容器で作るのも手です。写真の右側は、チップスターの容器を切って、ボタンとゴムでフタを止めてあります。色々工夫して、自分だけのお気に入りのごみ箱を作ってみましょう(≧▽≦)ノ

マネージメントディレクターの感想

普を行なうために、1年以上前から支部役員並びに実行委員が準備を行なっていました。今回、初めて支部キャンプスタッフとして参加
マネージメントディレクターという大役をおおせつかり、しっかりしなければという想いとはうらはらに何をどうすればよいのか考え
ともなわず、ご迷惑をおかけしたことと思います。4日間なんとか無事終了できたのも、スタッフのリーダー方のご協力があった
といっぱいです。

は打ち合わせや下見、作業を重ね整えてきたつもりでも、現場では通用しないことが多々あるということ。「綿密すぎる」という
構の重要性を実感しました。

が体を動かすということ。1度でも体験し実行しているのをしていないのとでは大きな差となることを感じました。どんなこととも
とに意義がある。未知なるものに一歩を踏み出すことが【ガールパワー】の核なのかもしれません。「だって私ガールスカウトだ
れる自分になる為に、一歩先を見つめて進みたいと感じました。

マネージメントディレクター 2団 小林 いずみ

た舍営スタッフでしたが、やむを得ない事情で途中一人になってしまった時期がありました。プログラムを考えても、細かい部分を
部署は小委員会を経て準備委員会に臨んでいるのに、私は一人悶々と悩むだけで、とにかく辛かったです。なので、とし江リーダー
区長が決まり、生活や救急が決まり、舍営小委員会ができたときは本当に嬉しかったです。

こともありましたが、仲間がいたので全く辛くなかったです。一人では何もできない、仲間がいれば何でもできると思ったキャンプ

舍営ディレクター 4団 大澤 智耶

又部やシナリオライターやスキレットの恋恋
(アンケートより抜粋)

○他団との組合せでパトロールになったスカウトは、最初声をかけあうどころか名前も呼びえない雰囲気があり、P付リーダーとして、どう対応して良いのか戸惑った。
事前の顔合せ・準備が必要だったと思う。

○それぞれの役割(パトロールリーダー、副パトロールリーダー、各係など)について理解・把握がでておらず、パトロールシステムが機能しなかった。

○ 5分前行動の実践ができていないスカウトが「自ら考えて行動できる」よう、いかに訓練するかが今後の課題

○スカウトの自主性にまかせていると、まったく進まないので、ついリーダーが口も手も出てしまう。スカウトへの関わり方の距離感やバランスが難しく悩みだった。

○普段の集会・活動をどれだけこなしているかが、如実に出ると実感した。積み重ねが大切。

○Sr. Rr. の年長スカウトにはキャンプに慣れていないJr.スカウトのフォローを自主的にして欲しかった。

○日常のあいさつが自然に出てこないのが残念（リーダーもスカウトも）。慣れない環境では、金裕がないのかもしれないが…

○スキルアップデイ、ガルリンピック、芸術の森など、若いリーダーたちらしい新しいプログラムの体験ができ、子どもたちも大変楽しんでいて良かった。芸術の森が雨で、外でできず残念だった。

○シルバーコンパス、ナイフ、マッチでの火おこしなど、初めて体験したスカウトが多く、大変ながらも達成感を味わえる内容で良かった

○キャンプという特別な環境の中で普段見られないスカウトの新たな一面や成長を目のあたりに
見て良かった

○充実したプログラムで良かったが、Br. には体力的に大変だったと思う。Br. はどんな事も全力で進んでいたので、夜は充分疲れて眠ってくねたが、3泊4日は長い。

○Br. があきてしまわないように森の精、フクロウおばさんなどのキャラクターや物語が、キャンプ会員程を通して設定されていて良かった。とても感動的だった。



ガールスカウト山梨県支部は
[MOTTAINAI運動]
[チームマイナス 6 %]
活動に取り組んでいます。

山梨県支部では、本年度も引き続きチームマイナス6%とMOTTAINAI運動への取り組みを行っています。10月4日には地元サッカーチーム ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム試合会場でのリユースカップ（使い捨てにしないプラカップ）の回収や、10月18・19日には清里のキャンティフェアでリサイクルステーション（ゴミ分別）の活動に取り組みました。

編集後期

いつもとはまったく違う形の支部便り。いかがでしょうか？今回は支部キャンプなど大きな行事があったので、スカウトの生き生きした表情や活動を伝えられるような構成を考えました。後期のカレンダーもついていますので記事を読んだ後は、ぜひ掲示して下さい。また、スカウト会員のみなさんだけでなく、一般の方にも山梨のガールスカウトをもっともっと知ってもらえるよういろいろな方に見て頂けろと幸いです。

不安でした。いかにスカ
しかし、約二ヶ月の間
この支部キャンプにスタ
感謝しています。ありか

Br.のプログラムを担当
からも“もりりん”的
準備段階から関わられな
ました。

私は、今回の支部キャラ中で自分の仕事が明確にいくごとに安心感と寂しいよい閉会式。今まで地区長はとても大変なアウトのみんなもありがと



G.S.Y♪4コマ/その1 キャンプのル



トに楽しんでもらえたか、こうしたら円滑にヤマノが進のられるかなと、ヤマノの当日まで不安はなくなりませんでした。先輩リーダーや他のスタッフに励まされ、なんとか当日を迎える事ができました。キャンプ中に、楽しそうなスカウトの姿を見て、ソフの一人として皆様と一緒に参加できること、本当に嬉しく思いました。リーダーとして未熟な私を支えてくれた皆様には本当にありがとうございました。

野営ディレクター 15団 横野 香澄

するのは初めてで戸惑う事もありましたが、先輩リーダー方に助けられながら無事に地区長を務めることができました。スカウト隊ですぐに打ち解けてもらいましたし、ふくろうおばさんや森の妖精などストーリー性のあるプログラムで私自身も楽しかったです。かったことで、他のスタッフの皆様にはご迷惑をおかけしましたが、学びの多い充実したキャンプになりました。ありがとうございました

舎営もり地区長 2団 森川 佳央里

ンで野営「げんき地区」の地区長をしました。最初は何が何だかわかりませんでした。しかし、会議に出席したり打合せをするなっていきました。いざ当日！！何度も確認したはずだったのにその通りにうまく進まなかったこともあります。1日が終わってさがありました。一番思い出に残っているのは参加者全員で盛り上がったキャンドルファイヤーです。自分で企画したものも終わり、の事、キャンプの4日間の事で思わず涙が出てきました。たけれど最後まで出来たのは周りでリーダー達が支えてくれたからです。本当にありがとうございました。参加してくれたスカウト♡

野営げんき地区長 10団 青木 優実



得

キャンプはその4日間だけのことではなくそれ以前から準備が大切。特に体調管理は自己責任！





Girl Scouts of Yamanashi

支部祭り

〒400-0811 山梨県甲府市川田町506 山梨県立青少年センター内 TEL&FAX 055-228-6637
E-mail : gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp URL : http://www.eps1.comlink.ne.jp/~gs-ymnsi/

No.61号 平成21年3月

社団法人ガールスカウト
日本連盟山梨県支部

一年をふり返って

ガールスカウト山梨県支部 支部長 佐藤 秀子

今年度はどの様な一年であったでしょうか。楽しい活動が出来たでしょうか。スカウトもリーダーも団運営者も、それぞれの活動を通して心から「楽しい」と感じる集会が出来たでしょうか。

体験を通して自信を付けたこと、仲間の輪が広がったこと、お腹のそこから笑ったこと、一年をふり返って見ると、いろいろな事が思い出されますね。スカウト活動とは、何気ないことの積み重ねです。そして、気がついた時、自分で育てに役立っていた。これがスカウト活動でしょう。支部も各団もアクションプランで会員増強に努力しました。努力の成果が少しずつですが出てきている状況になりました。しかし、スカウト活動の要であるパトロールシステムが出来ない部門が多くある状況の中パトロールシステムの体験を支部キャンプ等で補う努力をしました。スカウト技術の向上に向けてリーダーの研修にも力を入れました。また、成人会員は団組織の充実にパトロールシステムを生かす努力をしました。それぞれの活動が、自分高めに役立つと信じ最大限の積み重ねをして欲しいと願っています。そしてそれが輝いていられるようにスカウト一人ひとりが気持ちの「チェンジ」をして新年度を迎えて欲しいと思います。



2009年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



2009年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
	31					



2009年6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



Especially 2010!! 90周年記念シンボルマーク



2010年、ガールガイドガールスカウト運動100周年、日本のガールスカウト活動が90周年を迎えます。日本連盟では90周年記念バッジを作りました。日本のガールスカウト運動の歴史を調べたり、国際的な活動をしたり、90周年を記念した自分で考えたチャレンジをしてバッジ取得に取り組んでください。スカウトだけでなく一般の方もチャレンジしてバッジ発行が可能です。詳細は日本連盟のホームページをご覧ください。

(社)ガールスカウト日本連盟 <http://www.girlscout.or.jp/>



↑90周年記念シンボルマーク

■ ジュニア・シニア・レンジャーのつどい

— 2008年11月9日(日) 山梨県立考古博物館 甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園 —

開催地となった山梨県立考古博物館は、4世紀後半に作られた県内最大の前方後円墳である『銚子塚古墳』を中心とした甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内にあります。今回のジュニア・シニア・レンジャーのつどいは「むか~し むかし 繩文人がおったとさ」をテーマに縄文人になりきって各団のジュニアやフレンズ、リーダー達が楽しいブースを企画しました。



～各団のブース～

- 1団 人間すごろく
- 2団 火おこしチャンピオンはだれ?
- 3団 たのしい狩り
- 4団 古代の迷路
- 6団 「縄文時代にタイムスリップ」
～土器を探そう～
- 9団 「縄文時代にタイムスリップ」
- 10団 縄文時代の測定法
- 12団 なぞなぞ宝探し
- 13団 海に落ちたらサメに食われるぞー
- 15団 紀元前版記憶ゲーム
- 17団 縄文時代のファッショショーンショー
- 19団 じょうもんさがしに「行ってQ!」

レンジャー 食べるってたいへんだあ

フレンズ1 そうだ 釣りに行こう!

フレンズ2 猛獣なんてへっちゃらだい!

梨姫 じょうもんのペンダント

トレーナー むすんでしばってエイエイヤー!

SCAPP じょうもんじんの救急法

2009年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



2009年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



2009年9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



2009年10月
日 月 火 水 木 金 土



1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

2009年11月
日 月 火 水 木 金 土



1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

2009年12月
日 月 火 水 木 金 土



1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

■ フレンズ自主企画 Let's Play! Play!! Play!!!

— 2008年12月27日(土)～28日(日) 県立青少年センター —

2008年7月の支部ギャザリング、8月の高遠での支部キャンプ、11月のジュニア・シニア・レンジャーのつどいと大きな支部事業が重なった今年。それらに参加し、自分自身の持っているスカウティングの力量や知識の未熟さを実感したと考えたレンジャーが立ち上がり、この企画を立案しました。スカウト自身によって、同じスカウトと一緒に励ましあいながら、学び、スキルを身につけ、向上していこうという真摯な姿勢に山梨のガールスカウトの未来への光が見えた2日間でした。

ちょっと緊張☆シニアの発表



以外とおさかしい火あこし

アルミ缶でごはんを炊いちゃおう!

野外料理でごはんを炊く時は、たいてい飯ごうやお釜などを使います。アルミ缶でごはん?なんとなく聞いたことはあるけど、やったことないよね。国中リーダースクラブで挑戦してみました。

<準備するもの>アルミ缶(350ml)2本／牛乳パック(適宜)／お水／アルミホイル／マッチ／缶きり／カッター／軍手／お米(1合)

(注意) リーダースクラブでは、調理室をお借りしてやってみましたが、団するときは、野外活動の中で行ってくれ

- ① 1つのアルミ缶を炊飯用 もう1つをかまどとして使います。
かまど用の缶には火焚き口と空気穴をカッターで開けます。
- ② お米1合をといで、水を入れます。(通常の炊飯と同じくらい)
- ③ 2つの缶をかさね、上の缶にはアルミホイルでしっかりふたを
パックを1.5cmくらいの幅に切ったものを火種にして炊いてい
気をつけて!空気穴から火が出るようだと火加減が強すぎます。
- ④ 炊き上がったらかまどからおろし、しばらく逆さにして蒸らし
- ⑤ 完成! \(^o^)/ 炊飯器で炊いたのと変わらないくらいツヤツ

2010年1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2				
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



2010年2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						



2010年3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



1
日
目

- 13:30 開会式
南関東ギャザリング報告会
14:00 オリエンテーション
15:00 規律訓練
あいさつ・歌・ロープ・合図
18:30 お楽しみ会
ドッジボール・スタンツなど
21:30 パトリ会議・実行委員会
22:30 タップス

2
日
目

- 6:30 起床・スカウツオン
7:30 朝のつどい
9:30 火おこし訓練
11:00 片付け
12:00 閉会式
ふりかえり

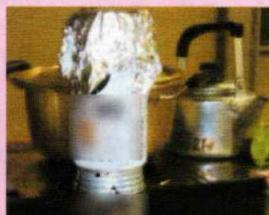


シニアもレンジャーもみんな仲良し



カンガルートーストを作ります

は飲み口側を缶切りで切り取ります。
ガをしないように注意!!)
水の量でOK)
ます。かまどの火焚き口から牛乳
ます。水が吹きこぼれないように
目安はおよそ20分。
す。熱いので扱いには要注意!
で美味しくできました!



い。また、スカウトだけで挑戦しないこと!!! かならずリーダーや保護者など、大人の方と一緒にして下さい。



REPORT No.01 がんばっています！フレンズ！

ジュニア・シニア・レンジャーのつどい
Let's Play! Play!! Play!!!
南関東ギャザリング

□ジュニア・シニア・レンジャーのつどい

初めてフレンズとして参加した「ジュニア・シニア・レンジャーのつどい」。自分から積極的に仕事を見つけられなかったことは悔やまれます。しかし、本部の前のブースに就いて、どんぐりを食べたり、石でくるみを割ったり、普段では滅多に出来ない貴重な経験をすることが出来ました。また、ブースに遊びに来てくれたたくさんのスカウトや、一般の方々とも触れ合うことが出来ました。今後もこのような企画が継続できれば良いと思います。

4団 レンジャー 小泉 知絵里

私は「ジュニア・シニア・レンジャーのつどい」に、フレンズとして『猛獣狩り』のブースでハンドゲームを担当しました。前半ではあまり人が来なかったけれど後半に近づくにつれて人が来てくれたので良かったのですが、ハンドゲームがぜんぜん盛り上がらなかったので、次のつどいではそこを意識して色々な場面で盛り上げていきたいです。

10団 レンジャー 竹田 翔子

□Let's Play! Play!! Play!!!

各団の代表として集まっているフレンズですが、様々な活動を通して、みんなのお手本になるようにしたり、自分自身、自覚を持って行動することはとても大切だと思いました。フレンズの仲間と共に協力し、活動を成功させたときには、とても大きな喜びを持つことができました。私はフレンズに関わらせてもらっていることにとても感謝しています。今後も活動を通して学び、多くの人に少しでも伝えていけたらよいと思っています。

6団 レンジャー 小泉 洋子

私は今年度からフレンズとして支部の活動に参加してきました。普段の話しゃいや、ジュニア・シニア・レンジャーのつどいなど、様々な活動を通すなかで、団の活動では経験できないようなことがたくさんあり、とても勉強になりました。また、フレンズの活動をきっかけに支部の行事に参加する機会が増え、支部ギャザリングや南関東ギャザリングにも参加させて頂きました。そのなかで、自分の中の目標もできました。自分自身としても成長が実感できた1年でした。

3団 レンジャー 渡辺 希

□南関東ギャザリングに参加して

南関東ギャザリングに、初めて参加しました。他の県のスカウトと一緒に活動するのも初めてなので、とても緊張しました。ギャザリングに山梨から一緒に参加する9人で、事前に集まって電車の乗り方や、切符の代金など調べたり、テーマについて自分の意見を出せる用に準備したり、ギャザリングの日だけが活動ではないとわかりました。私は「薬物・煙草」をテーマにしたパトロールになりました。思っていることがうまく言葉にできなくて、あまり意見は出せなかったけど、色々な人の意見が聞けて勉強になりました。2日目の横浜散策はとても楽しかったですが、帰りに駅を乗り越してしまいました。それも思い出になりました。

2団 シニア 小林 彩花

←ギャザリングでの発表

知っていますか？

ガールスカウト日本連盟ホームページ
→<http://www.girlscout.or.jp/index.html>

【ガールスカウトメールマガジン】

「ガールスカウトメールマガジン」は、日本連盟本部から毎月2回(第1、第3火曜日)に発行しているメールマガジンです。全国の登録者にガールスカウト内外のイベントやコンクールなどの情報をお届けしています。日本連盟のホームページの【ガールスカウトメールマガジン】のバナーから登録することができます。



amazon ネットで買い物するなら「amazon」で。本やCD・DVDなどから家電製品まで幅広い買い物ができます。ガールスカウト日本連盟では「amazon」とリンクしており、ホームページのバナーからサイトにアクセスしてもらうと、お買い物3%が日本連盟の収益となります。ぜひご利用下さい。



REPORT No.02 地域と共に～

こうふタウンファンタジー2008
親子しクリエーション



□ こうふタウンファンタジー2008 / 2008年12月13日(土)

甲府商工会議所主催のクリスマスツリーの飾付イベントに甲府市内の4ヶ団(1団、2団、4団、13団)が参加しました。自分たちでツリーのデコレーションをデザインし、色紙やモール、フェルトなどを使って飾付けました。各団とも個性的なできばえで、道行く人たちも楽しんてくれました。

クリスマスツリーの飾り付けでの工夫は、らっかせいでサンタクロースを作つてつけるところです。大きいらっかせいだと作るのが大変で工夫しました。となりは1団でした。4団は全体的に明るい感じだったけれど、1団はヴァンフォーレがかざってあって豪華ですごいなあとと思いました。4団ではみんなの願い事もかざりました。わたしは世界での平和のことを書きました。現実に戦争をなくしてほしいなあと思います。

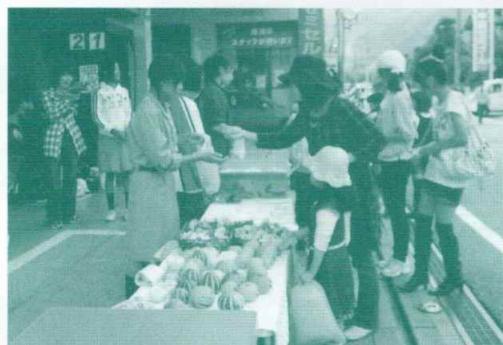
4団 ジュニア 秋田 冬美



□ 9団 秋のイベント

9団は、活動の拠点である韮崎市の行事に参加しています。特に毎年恒例の武田の里祭り「武田勝頼公新府入城祭り」(市制祭)や、「福祉の日記念まつり」が大きなイベントです。プラカード持ちは、とても貴重な体験です。

市制祭ではプラカードだけでなく、独自のブースを設けて、体験コーナー、募金活動、バザーなど、スカウトも保護者もはりきって活動します。毎年好評のパウンドケーキに加え、今年はSrRrの「落書きせんべい」でも賑わいました。



←「落書きせんべい」大好評！



←プラカード持ち頑張ります。

□ 2団保護者発 親子レクリエーションに参加して

2008年10月25日(土) 山梨県立考古博物館

子供がガールスカウトに入団して3年。親子で一緒に活動する機会はなかなか取れないので今回のレクリエーションをとても楽しみにしていました。子供が成長するにつれ、公園に出かけたり、一緒に歩いたりすることが少なくなつて、博物館から風土記の丘公園までの約30分の散策はとても良い運動になりました。公園ではヤングリーダーを中心に、参加した親子、リーダーみんなで手をつないだり、輪になって楽しいゲームを教えてもらったり、みんな笑顔で楽しめました。『勾玉つくり』も初めて体験させてもらい、いろんな種類のやすりを使い分け、あの独特な曲線を作り出せたことに感動しました。作り手一人ひとりでみんな形が違う手作りの良さを実感しました。普段はリーダーにお任せてしまっていますが、今回親子レクリエーションに参加して、子供と一緒に体験し、活動することはとても大切だと強く感じた1日でした。

2団 ジュニア保護者 石橋 小百合



□ 13団保護者発 ガールスカウトと出会った娘たち

長女が小学校1年生の時に友達に誘われたことがきっかけで、ガールスカウトの虜になり、次女も当然のように入団し、現在はシニアとジュニアでお世話になっています。ガールの魅力は学校の枠を超えた仲間との多彩な活動にあるようです。便利な生活から離れてのキャンプは苦労も多いようですが、自然を満喫しスカウトと寝食を共にする時間は本当に楽しいらしく、キャンプを毎年心待ちにしています。単に楽しいというだけでなく、募金活動や老人施設への訪問などボランティアを通して他者と共に生きることの喜びを実感し、自分も誰かの役に立っているという自信のもつながっています。家庭では学ぶことの出来ない貴重な体験によって子供たちが成長していることに感謝しています。一人でも多くのお子さんがスカウトの輪に加わってくださることを期待しています。

13団 ジュニア、シニア保護者 三井 貴子





REPORT No.03 20年度をふいかえって ~各委員会~

□教育活動委員会

20年度のスカウト活動ではレンジャースカウト自主企画“Let's Play! Play!! Play!!!”が特出していた。なぜかというとこれは『支部ギャザリングや高遠支部キャンプで、シニア・レンジャーの行動と規律の不徹底さがわかつたため、自らスキルアップを図らなければ自分達が駄目になる。』というレンジャースカウト有志の切迫した気持ちから生まれ、実現したものだからだ。1泊2日で行われ、企画者らの強い目的意識と責任意識が伝わってくるしっかりしたプログラムであった。ただ、参加者が少なかったことが非常に残念だ。次に印象的だったのはジュニアの支部ギャザリングである。ジュニアは初めてのギャザリング参加だったが、全体会でのパトロール発表は独創的で、ジュニアにもジュニアなりの力があることを知らしめるものとなった。パトロール付リーダーのサポートの塩梅が良かったことも否めない。

6月の赤い羽根共同募金会公募プレゼンテーションにフレンズが参加、さらに9月ぴゅあ総合フェスタでも平和提唱活動発表を行う。どちらも“Girls World wide say”的実践の場だったが、思いがけず他の参加者からエールを頂き、活動を語り広めることの意味、意義を実感した。

プラウニー部門が高遠支部キャンプでヤングリーダー企画のストーリー性に富むプログラムを大いに楽しんだことも印象深い。年があけてもそのときの様子がまだ語り草になっていると聞く。これらのように、最後にはスカウト達が達成感や幸福感を持てるようなプログラムがいろんなところから生まれてくるよう、支援していかなければと思っている。

□指導者委員会

成人研修の新たな試みとして11月にキープ自然学校での宿泊研修を行った。歌あり、語らいありの楽しい「成人の集会」になった。次回も乞うご期待。1月には栗田先生(山梨大学)による「コミュニケーション」についての講演、およびリーダー、運営の部に分れての研修を行った。現代の子供たちへの理解を深め、活動の具体的なヒントになったと思う。

リーダースクラブは郡内、国中ともに順調に行われたが、参加者の固定化が見られた。ヤングリーダー会「梨姫」はメンバーが変わる中、楽しい語らいの場を持ち、来年は独自の活動をもつ予定。

残念なことに講習Cは開催人数に達せず中止となったが、大切な講習であり来年はより多くの方の参加が望まれる。トレーナー関連では、大幅なトレーナーシステムの変更など大きな変化があった。

□財務委員会

ガールスカウト活動に必要な支部財源確保を目指している財務委員会は20年度はスカウト数減少に歯止めをかけるためにも宣伝効果のあるガールスカウトロゴ入りのタオルマフラー2色(各750円)とマグネット(150円)を支部需品として作成した。

バザーでは各団の関係各位の皆様のご協力のおかげで、厳しい社会情勢の真っ只中にもかかわらず、目標額の50万円を上回る売り上げを上げることができた。

特別賛助会費も各団委員長方の努力のおかげで例年並みの会員のご賛同を得ることができた。この貴重な財源を次年度も有効に使っていただけるよう、財務委員一同見守っていきたいと思う。一年間のご協力 ありがとうございました。

□組織委員会

第3回委員長会議は、毎年恒例のレクリエーションを兼ねて大月の「桂ウェルネスパーク」で行った。眼下に見える大月の町を一望し富士山も甲府からとは違った角度で見ることができた。

午前中会議を行い、その後の1時間で役員会。昼過ぎからは食事を取りながら懇親会を行った。情報交換の中で、特に盛り上がったのが食育について。運ばれてくる料理、一品ごとに参加された団委員長や役員の家庭での料理方法について話題が挙がったり、「これは、工夫すると野外料理でも美味しくできそうね」と楽しい会話が弾んだ。

やはり、年に一度はこういった楽しい会議も必要。団委員長同士の楽しい交流を通して刺激を受けあい、団に帰ってからまた会員増強にも力を入れてもらえるのでは…とひそかに思った。

団委員長さん方、支部役員のみなさんも今回の企画を楽しんでいただけたでしょうか? クラフトもを利用して頂きたい。

□庶務委員会

年間を通して日本連盟から事務局、事務局から多数の事務連絡事項、資料配布、他団体からの連絡等の業務を行った。支部備品の管理、バッジ注文と受渡しも担当している。インターネットの利用により事務局の事務処理がスムーズに運営されている。青少年団体連絡協議会の一員として多くの団体と協力しながらガールスカウト活動をPRし認知してもらうことができた。主な活動は下記。

ねんりんピック、県民の日の模擬店出展の協力、ドリームミッション21やまなしち子育成、ぴゅあ総合・ぴゅあ富士総合フェスタ、社会教育振興ファーラム、女性団体連絡協議会、合同森林学習会、ウィークエンドスクール、青少年センター祭りなど。年3回会館清掃。

□広報委員会

今年度は支部便りをカレンダー形式にし、年2回の発行を行った。初めての試みで編集などに苦労したが、大きな支部事業となった高遠の支部キャンプや支部ギャザリングの写真をたくさん掲載し、スカウトの生き生きとした活動の様子を見ていただくことができた。ぜひ掲示して色々な方に見ていただければ幸いである。また、事業に参加したスカウトの声を紹介したいと考え、写真撮影と共にインタビューをしたり、原稿を依頼するなどスカウト参加型の支部便り作りを心掛けた。

9月に行われたぴゅあ総合フェスタでは、一般の方を対象にクラフト作りをしているが、今年度は4団のスカウトに協力頂き、クラフト作成の手ほどきをしてもらった。参加者が少なかったのが残念だが、大人も子供もとても楽しんでもらえ、ガールスカウトパワーをアピールできた。

昨年度から展示資料をラミネートで作成している。展示や持ち運びもしやすくなったので、各団でもご利用いただければと考える。ホームページについては常に課題となっている。来年度は3ヶ月を目処にした更新方法を考えている。情報提供など、皆様のご協力を賜りたい。



REPORT No.04 支部バザー/WAGGGS発表/編集後記

□支部バザー／2008年11月16日(日)

バザーはお祭り！財務委員は楽しく元気に準備を進めます。贈り物事情も変わり、献品も少なくなっていますが、皆様がご用意下さった品物を少しでも高く買って頂けるように、ラッピング、品並べと、おばさんパワー全快で売れる会場を目指しました。

品物の一つ一つにガールスカウト活動へのエールがこめられている事に心から感謝！お客様、お手伝いくださった皆様に感謝！と満ち足りた気持ちでバザー祭りは終わりました。本当にありがとうございました。

財務委員 今井 妙子

支部バザーでは、フレンズも手作りコロッケや野菜おこわやクッキーなどを販売し約2万円の収益をあげました。バザーに参加のリーダーの皆様がたが募金にもご協力していただいたおかげでネパール募金が2007年度と2008年度あわせて合計121,148円になりました。

2年間でみんなの協力で集まった12万円を青年海外協力隊として、ネパールへ行く17団の藤居牧子リーダーに託しました。ネパール連盟に連絡をしたところ現地でパソコンを買って届けるかまたは現金の方が都合が良いとのことで現金を届けることにしました。今後もネパール募金は継続します。ご協力お願いします。

バザー収益／¥501,270-

ご協力ありがとうございました！



↑バザーの様子。

WAGGGS発表

8つの新たなキーメッセージ

第33回WAGGGS世界会議において2009年から2011年までの3年間のガールガイドガールスカウト運動の要となる8つの新たなキーメッセージが発表されました。

合言葉は「一緒になら、この世界を変えられる(together we can change our world)」です。

girls worldwide say

- “一緒になら、極度の貧困と飢餓をなくせる”
- “教育はすべての少女と少年の未来への扉を開く”
- “少女が力をつければ、世界を変えられる”
- “一緒になら、子どもたちの命を救える”
- “すべての母親の命と健康は尊い”
- “私たちはエイズ・マラリアなどの病気の広がりを止められる”
- “私たちは地球を救える”
- “私たちはパートナーシップによって平和を築ける”

～ガールスカウト推進議員連盟に加入してくださっている山梨県の国会議員 御芳名～

衆議院／赤池 誠章 氏・小沢 錢仁 氏・小野 次郎 氏

後藤 斎 氏・長崎 幸太郎 氏

参議院／米長 晴信 氏

(50音順)

3区の衆議院議員だった保坂武氏は甲斐市長になりました。
長い間ご支援ありがとうございました。

～編集後記～

20年度も終わり、来年度への登録やフライアップと希望あふれる季節となりました。進級するスカウト、環境が変わるスカウトも少なくないと思います。

スカウティングによって培われた経験と自信が、必ず味方になってくれることでしょう。

1年間を振り返って、どんな活動が想い起こされますか。楽しかったこと、がんばったこと、大変だったこと。。。そんな思い出をいっぱいに詰め込んだ支部便りになつていれば嬉しいです。

広報委員会

